

取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

基本編

応用編

ネットワーク編

技術情報編

液晶プロジェクター

形名

CP-X10000J

CP-WX11000J

CP-SX12000J



このたびは弊社の液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

最初に

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は大切に保管してください。

この製品には保証書が別添付されています。内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。


《本機の特長》

本品は、限られたスペースで大画面を表示できる液晶プロジェクターです。本機には以下のような特長を備えており、幅広い用途でご活用いただけます。

- レンズユニットは、選んでご購入いただける別売りです。
- メモリ機能（レンズメモリ）付きレンズシフト機構が優れた設置性を発揮します。
- プレゼンテーションに便利なレンズシャッターを搭載しています。
- お掃除不要（※1）の4層式のフィルターユニットを採用しています。
- メーカー間を超えた高い相互接続性を実現する、PJLink™（※2）対応です。
 - （※1）フィルターユニットは一定期間毎の交換が必要です。交換の頻度は、ご使用になる環境や頻度によって異なります。
 - （※2）PJLink™ はデータプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。詳しくはPJLink™ のweb サイトをご参照ください。

《本書について》

以下をご参考に本書をご活用ください。

- ① 見出し：奇数ページの右端に記載されています。
- ② ：このマークのあとに、ご参照いただきたい記事のページや場所を記載しています。
- ③ **お知らせ**：本機や接続する機器などに関する参考情報を記載しています。

お知らせ

- 本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複製、転載しないでください。

《本書の構成》

本機の取扱説明書は、基本編、応用編、ネットワーク編、および技術情報編の4編に分かれています。

【基本編】 1 - 1 ~ 40

【基本編】では、本機の基本的な設定や調節、お手入れ方法などについて説明します。

【応用編】 2 - 1 ~ 42

【応用編】では、本機の詳細な設定や調節を行うメニュー機能についてご説明します。

【ネットワーク編】 3 - 1 ~ 44

【ネットワーク編】では、本製品のネットワーク機能について説明します。

【技術情報編】 4 - 1 ~ 41

【技術情報編】では、本機の仕様や、通信機能、またエラーメッセージや故障と思われる現象への対処法についてご説明します。保証やアフターサービスについては巻末をご覧ください。

取扱説明書

液晶プロジェクター

形名 **CP-X10000J**
CP-WX11000J
CP-SX12000J

【基本編】

この基本編では、基本的な設定や調節、お手入れ方法などについて説明します。



警告

ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

はじめに……………1 - 2

正しくお使いいただくために	
《必ずお読みください》……………	1 - 2
絵表示について……………	1 - 2
使用上のご注意……………	1 - 3
付属品の確認……………	1 - 11
レンズユニットを取り付ける……………	1 - 11
各部の名称……………	1 - 12
プロジェクター（本機）……………	1 - 12
接続パネル……………	1 - 13
操作パネル……………	1 - 13
インジケータ……………	1 - 13
リモコン……………	1 - 14

準備……………1 - 15

配置する……………	1 - 15
他の機器と接続する……………	1 - 16
セキュリティ・スロット／バーを使う……………	1 - 19
電源に接続する……………	1 - 20
リモコンを準備する……………	1 - 21
電池を入れる……………	1 - 21
レーザーポインタについて……………	1 - 21
リモコン信号について……………	1 - 22
リモコン信号の周波数を切り替える……………	1 - 22
複数のプロジェクターを	
操作する（リモコンID）……………	1 - 22
有線リモコンとして使用する……………	1 - 23

基本操作……………1 - 24

電源を入れる……………	1 - 24
電源を切る……………	1 - 25
傾きを調節する……………	1 - 26
投写位置を調節する……………	1 - 26
表示倍率（ズーム）、	
焦点（フォーカス）を調節する……………	1 - 27
レンズメモリ機能を使う……………	1 - 28
表示信号を選ぶ……………	1 - 30
画面の自動調整機能を使う……………	1 - 31
画面の縦横比（アスペクト）を選ぶ……………	1 - 32
画面の位置を調節する……………	1 - 32
台形歪み（キーストン）を調節する……………	1 - 33
画面を拡大する……………	1 - 33
映像を静止させる……………	1 - 34
映像を一時的に消す（ブランク）……………	1 - 34
表示を隠す（シャッター）……………	1 - 34
2画面で表示する……………	1 - 35

点検とお手入れ……………1 - 36

ランプユニットを交換する……………	1 - 36
フィルターユニットを交換する……………	1 - 38
内蔵時計電池の交換……………	1 - 39
その他のお手入れ……………	1 - 39
内部の点検とお手入れ……………	1 - 39
レンズのお手入れ……………	1 - 39
キャビネットやリモコンのお手入れ……………	1 - 40

はじめに

正しくお使いいただくために《必ずお読みください》

この製品をご使用になる前に、必ずこの「正しくお使いいただくために」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。誤ったご使用や通常の範囲を超える取扱いによる危害や損害については、いかなる場合も弊社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

絵表示について

本書ではこの製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。



「注意」を示します。

この記号の後に続けて「気をつけなければなりません」ことを記載しています。



「破裂注意」



「感電注意」



「高温注意」



「禁止」を示します。

この記号の後に続けて「してはいけない」ことを記載しています。



「分解禁止」



「水ぬれ禁止」



「ぬれ手禁止」



「強制」を示します。

この記号の後に続けて「必ず行わなければならない」ことを記載しています。



「電源プラグをコンセントから抜け」



「アース線を必ず接続せよ」

お守りください

本機、およびその他の周辺機器を快適にご使用いただくため、この表示に従ってください。

警告

異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

- ▶ 煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする。
 - ▶ 内部に異物や液体（金属や水）が入った。
 - ▶ 落とした、強い衝撃をあたえた。
 - ▶ 本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある。
- 電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

子供やペットに注意する



誤った取扱いは、火災、感電、けが、やけど、視力障害などの原因となります。
お子様やペットのいる場所でのご使用や保管には十分ご注意ください。

異物や液体を入れない

火災や感電の原因となります。

万一、異物や液体が入ってしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

- ▶ 花瓶、コップ、化粧品、薬品などの液体の入ったものや、ぬれた雑きんなどを、本機の上や近くに置かないでください。
- ▶ クリップやピンなどの金属の小物や、紙片などの燃え易いものを本機の上や近くに置かないでください。
- ▶ 付属品、信号ケーブル、信号アダプタ以外のものを、本機と一緒に箱やケースに入れないでください。

分解しない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。

▶ 本機のキャビネットや付属品のケースは、本書に記載のある場合を除き、開けないでください。

▶ 本機や付属品を加工しないでください。

▶ 内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。

▶ ランプ、ランプカバー、フィルターユニットなどの部品を外した状態で使用しないでください。



分解禁止

衝撃をあたえない

ぶついたり落としたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのままご使用になると火災や感電の原因となります。

万一、衝撃をあたえてしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

▶ 移動するときは電源コードや信号ケーブルの接続を外し、必ず二人以上で、底面の取っ手部分（1-12）をしっかりと持って運んでください。


▶ アジャスタ脚は本体を落とさないようにしっかりと支えた状態で操作してください。

▶ 修理や引越などで輸送するときは、レンズユニットやその他の取付け部品を全て外し、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用ください。レンズユニットの取付け、取外しは、必ず販売店にご依頼ください。

警告

不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない

本機を落としたり倒したりするとけがや破損、故障の原因となり、そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

- ▶ プロジェクターや取り付けたレンズが突き出さないように、十分に広い場所に置いてください。
- ▶ キャスター（車）付きの台に載せる場合は必ずキャスター（車）止めをしてください。
- ▶ アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。（ 1-26）
- ▶ 設置には指定の取付け器具やサービスマンによる作業が必要となる場合がありますので、あらかじめ販売店にご相談ください。天井設置などの特殊な設置は、必ず販売店にご依頼ください。
- ▶ セキュリティ・スロット（盗難防止ロック用穴）やセキュリティ・バー（盗難防止チェーン／ワイヤー用バー）を落下防止用には使用しないでください



高温に注意する

本機の使用時、排気口や排気口から出る空気、ランプカバーは高温になり、やけどや火災の原因となります。

- ▶ 使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、ランプカバーに触れたりしないでください。
- ▶ 排気口の近くにリモコンなどの物を置かないでください。
- ▶ 金属の台など、熱の伝わり易いものや燃え易いもの、熱に弱いものの上や近くで本機を使用しないでください。
- ▶ 使用後に本機を移動する場合は、本機を十分冷ましてから行ってください。



高温注意

ぬらさない

本機や電源コードなどがぬれると火災や感電の原因となります。

水を掛けたり、水や雨の掛かる場所に置いたりしないでください。

- ▶ 風呂場やシャワー室、台所などに置かないでください。
- ▶ 海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。
- ▶ 水槽や植木鉢の近くに置かないでください。



水ぬれ禁止

レンズユニットは指定品を正しく使用する

誤ったご使用は火災や感電の原因となります

レンズユニットは必ず指定品を、付属の説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

- ▶ レンズユニットを装着せずに電源に接続しないでください。
- ▶ レンズユニットの取付け、取外しは、必ず販売店にご依頼ください。



レンズをのぞかない

本機の使用時は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。



指定の電源電圧で使用する

指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。

必ず、本体に表示されている指定電圧、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。



警告

電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する



仕様の合わない電源コードや信号ケーブルを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。

傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機に同梱されているものは必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外の接続ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。

電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタを傷つけない



損傷のある電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルなどを使用すると、火災や感電の原因となります。

傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

- ▶ 本機など、重い物を載せないでください。
- ▶ ヒーターや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。
- ▶ コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。
- ▶ 投げたり、ひきずったりしないでください。
- ▶ 加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。

ぬれた手で電源を接続したり外したりしない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

ぬれた手で電源コードや電源アダプタを取り扱わないでください。

電源プラグは付着物をふき取ってから使用する



本機の電源端子や電源コード、電源アダプタのプラグ (刃) 部分やその周辺に、ほこりや金属類などが付着していると、火災や感電の原因となります。

必ず接続の前に、取り除いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



電源の接続が不完全の場合、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。

電源コードや電源アダプタを接続するときは、根元まで確実に差し込んでください。

- ▶ ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。

アース線を必ず接続する



アース線を必ず接続せよ

アース線を接地しないと、火災や感電、電波妨害の原因となります。

本書の「電源に接続する」(1-20)に従って、正しく接続してください。

- ▶ 2つ穴コンセントを使用する場合は、付属の電源アダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。
- ▶ アース線を接続するときは、電源アダプタをコンセントに差し込む前に、アース線をアース端子に接続してください。
- ▶ アース線を外すときは、先に電源アダプタをコンセントから抜いてから外してください。

アース線をコンセントに差し込まない



アース線をコンセントに差し込むと、火災や感電の原因となります。

アース線はアース端子以外には接続しないでください

警告

お手入れするときは電源プラグを抜く



電源プラグを
コンセント
から抜く

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。
お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

必ず本書の「点検とお手入れ」(1-36 ~ 40) をお読みになり、正しくお手入れしてください。

ランプユニットの取扱いに注意する



破裂注意



高温注意

本機は、寿命のあるガラス製の高圧水銀ランプを使用しています。ランプユニットの取扱いを誤ると、やけどの原因となったり、破裂してけがなどの原因となります。

万一、破裂した場合は、破裂音がしますは、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。排気口などから出るガスを吸い込んだり、目や口に入らないように十分換気し、販売店にご連絡ください。内部にガラス片が散乱しているおそれがありますので、ランプカバーを開けないでください。

本書の「ランプユニットを交換する」(1-36, 37) に従い、指定のランプユニットを正しくご使用ください。

- ▶使用中や使用後、ランプとその周辺は高温となります。ランプユニットの交換は、電源を切ってプラグを抜き、45分以上放置して冷ましてから行ってください。
- ▶ランプユニットに衝撃をあたえたり、傷つけたりしないように、丁寧に取扱いってください。
- ▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則(条例など)に従ってください。

電池の取扱いに注意する

電池の取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

▶本書(1-21, 1-39) に従い、指定のタイプの新しい(未使用の)電池を正しくご使用ください。損傷のある電池は使用しないでください。リモコンに、種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い(使用した)電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。

▶電池ケースの極性表示(⊕, ⊖)に従って正しく入れてください。

▶リモコンを長時間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出して保管してください。

▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

▶子供やペットが届かないところに保管してください。

▶衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。

▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則(条例など)に従ってください。



破裂注意

レーザー光を目にあてない、スクリーン以外には向けない



レーザー光は目に当たると視覚障害の原因となるなど、有害となる可能性がありますので、スクリーンに向けて指し棒の代わりにご使用になる以外には用いないでください。

▶レーザー光を直接見たり、他の人やペットに向けたりしないでください。

▶お子様にはリモコンを使わせないでください。

⚠ 注意

重い物を載せたりぶら下げたりしない



不安定になって落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。

- ▶ 本機の上に乗ったり、重い物を載せたりしないでください。
- ▶ 本書に指定のある場合や所定の別売品（販売店にお尋ねください）以外は、本機に取り付けたりぶら下げたりしないでください。

湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や油煙、湯気などの当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない



内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。

湿気やほこりの多いところには置かないでください。

- ▶ 海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。
- ▶ 調理台、加湿器、植木鉢の近くなど、湿気の多いところに置かないでください。
- ▶ 喫煙所や人通りの多い場所に置かないでください。

高温になるところに置かない



内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。また熱や温風を当てるとキャビネットなどが傷む原因となることがあります。

温度が高くなるところには置かないでください。

- ▶ 直射日光の当たるところ、ヒーターやエアコンの噴出し口の近くなど、熱源の近くや温風が当たるところには置かないでください。
- ▶ 本機や付属品を電子レンジに入れしないでください。

吸気口、排気口をふさがない



通風が正常に行われないと内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

- ▶ 風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。
- ▶ 吸気口、排気口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
- ▶ 布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。
- ▶ 布や紙などの吸い付く物を、吸気口の近くに置かないでください。

フィルターユニットを定期的に交換する



フィルターユニットがほこりなどで詰まったり正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。

- ▶ 必ず本書の「フィルターユニットを交換する」(1-38)をお読みになり、指定のフィルターユニットを正しくご使用ください。
- ▶ フィルターユニットは定期的に交換してください。
- ▶ フィルターユニットやフィルターカバーを外した状態では使用しないでください。

注意

磁気を発生するものを近づけない



本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

▶ 付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

使用しないときは電源プラグを抜く



電源プラグを
コンセント
から抜け

本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

長時間ご使用にならない場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。電源プラグを接続したまま放置すると、火災などの原因となることがあります。

電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

落雷のおそれがあるときは使用しない



電源プラグを
コンセント
から抜け

火災や感電の原因となることがあります。

落雷のおそれがあるときは、使用を中止し、電源プラグを抜いてください

年に一度は内部のお手入れを販売店に依頼する



内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。

年に一度は、内部の点検と掃除を販売店にご依頼ください。

▶ お客様による内部のお手入れは危険ですので絶対におやめください。

▶ 内部のお手入れは、湿気の多くなる梅雨期の前が効果的です。

お守りください

リモコンに衝撃をあたえないでください
破損や故障の原因となることがあります。

- ▶ リモコンを投げたり落としたりしないでください。
- ▶ 上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。

リモコンをぬらさないでください

故障したり、電池が液漏れする原因となることがあります。

- ▶ 水を掛けたり、ぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。

リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください

リモコン送信の障害となって、リモコンが利かなくなることがあります。

レンズを傷つけないでください

破損や故障の原因となったり、映像不良の原因となることがあります。

- ▶ レンズに硬いものを当てたり、こすったりしないでください。お手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラや眼鏡の清掃用）をご使用ください。

レンズに直接手を触れないでください

レンズがくもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となることがあります。

光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください

リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

電波を発生するものを避けてください

本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、映像が乱れる原因となることがあります。携帯電話やトランシーバなどは本機から離れて使用ください。

本機使用中に電源プラグ、電源コードを抜かないでください

正しい手順をふまずに電源プラグを抜いたりすると、故障の原因となることがあります。また、冷却が正常に行われないと投写ランプがつきにくくなることがあります。電源は決められた手順（[1-25](#)）で切ってください。

- ▶ 停電やシャットダウンスイッチ、電源スイッチ、ブレーカー、テーブルタップのスイッチなどを使用して、冷却完了前に電源を切った（切れた）場合は、電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。

電源を入れるときは他の機器より先に、切るときは他の機器より後に行ってください

接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源プラグおよび電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

キャビネット（本機外装）やリモコンの取扱い、お手入れについて

取扱いやお手入れの方法を誤ると、表面が変質したり塗装がはがれることがあります。お手入れは正しい方法（[1-40](#)）で行ってください。

- ▶ ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。
- ▶ ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤などは使用しないでください。
- ▶ スプレーは使用しないでください。ガスや霧が本機の内部に入って、故障などの原因となることがあります。
- ▶ 化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

長時間見るときは、ときどき目を休めてください

長時間連続して画面を見ると目が疲れます。ときどき画面から離れて目を休めてください。

梱包材は大切に保管してください

修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。

お知らせ

●寿命部品について

光学部品 (ランプ、液晶パネル、偏光板、PBS (Polarized Beam Splitter)、コントラストアップフィルム) および冷却ファンは寿命部品です。長時間お使いになると修理交換が必要になります。

▶本機は長時間連続使用を想定して設計されたものではありません。毎日 5 時間以上ご使用になる場合は、3 年未満でも寿命部品の交換が必要になることがあります。また 5 時間以上連続してご使用になったり、短時間でも繰り返しご使用になったりすると、寿命部品の交換サイクルは早くなります。

▶本機を傾けて使用すると、部品の寿命を縮めることがあります。アジャスタ脚の調節範囲以外は傾けて使用しないでください。

▶電源を頻繁に入れたり切ったりすると、部品の寿命を縮めることがあります。

●映像特性について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。投写面 (スクリーンや壁面など) の特性により、映像の色あいやコントラストが、テレビやパソコンのモニタとは異なることがあります。故障ではありません。偏光スクリーンでは画面が赤味を帯びて見える場合があります。ご使用にならないでください。

●液晶パネルの焼きつきについて

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。静止画像や動きの少ない映像、液晶パネルの仕様 (図4-2) と縦横比が異なる映像などを、長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

●輝点、黒点について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。画面上に輝点 (光ったままの点) や黒点 (光らない点) が見られることがあります。液晶特有の現象であり、故障ではありません。

●不要輻射について

この製品はクラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させるおそれがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

●結露にご注意ください

本機を、低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機の内部の投写レンズやミラーに結露が生じ、映像がぼやけたり、見えなくなったりすることがありますが、故障ではありません。本機が周囲の温度に慣れるに従って露が消え、映像は正常にもどります。

●冷却ファンの騒音について

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの回転速度を制御する機能を備えています。周囲の温度が高いと冷却ファンの回転速度も速くなり、騒音も大きくなります。

●ノートパソコンとの接続について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンの RGB 外部映像出力を有効 (LCD と CRT の同時表示または CRT の設定) にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。

●セキュリティ・スロット／バーについて

本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

●この製品 (付属品を含む) は日本国内でのみ、ご使用になれます。

日本国外ではご使用にならないでください。また、この製品の保証書は日本国内でのみ、有効です。This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan.

●電源高調波について

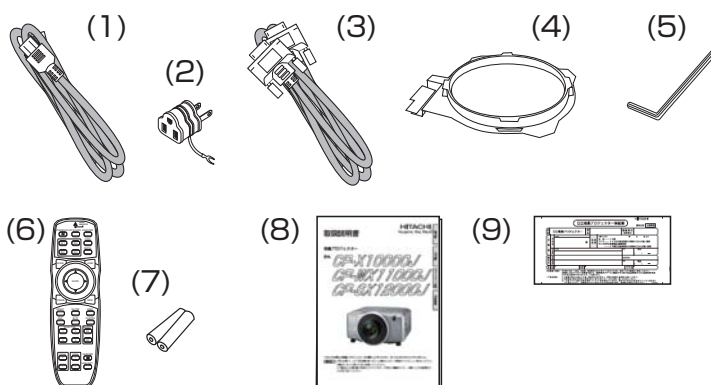
高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

「電磁両立性 - 第 3-2 部: 限度値 - 高調波電流発生限度値 (1 相当りの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

付属品の確認

初めに付属品をご確認ください。この製品にはプロジェクター本体（本機）の他に、以下のものが含まれています。万一不足しているものがあれば、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

- (1) 電源コード
- (2) 電源アダプタ
- (3) コンピュータ信号ケーブル
- (4) レンズアダプタ
- (5) 六角レンチ
- (6) リモコン
- (7) 単3型乾電池×2個（リモコン用）
- (8) 取扱説明書（本書）
- (9) 保証書



お知らせ

- 本機のレンズユニットは別売りとなっており、指定品（ 4-2）から、用途に合わせお選びいただけます。詳しくは販売店にお尋ねください。
- 用途や設置条件によっては、別売りの付属品やサービスマンによる作業が必要となる場合があります。あらかじめめ販売店にご相談されることをお勧めします。

警告



- 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない
- 電源コードや信号ケーブルを傷つけない
本機など、重い物を載せないでください。



- 電池の取扱いに注意する
子供やペットが届くところに放置しないでください。

お守りください

- 梱包材は大切に保管してください。レンズユニットを外すときはダストプロテクタ（ 1-12）が必要となります。また、保管や輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。

レンズユニットを取り付ける

用途に合わせレンズユニットをお選びになり、販売店へ取付けをご依頼ください。

警告

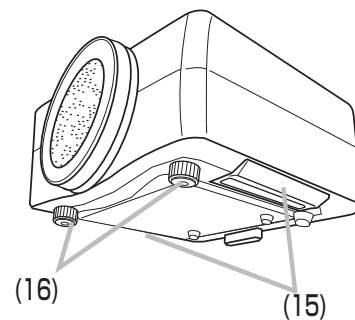
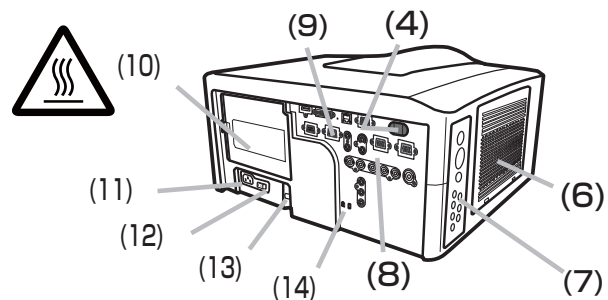
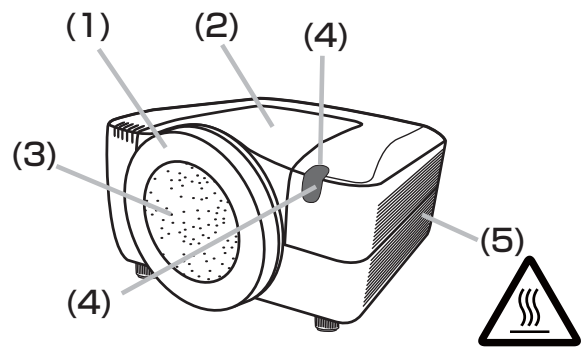


- 指定のレンズユニットを正しく取り付けて使用する
レンズユニットを装着せずに電源に接続しないでください。レンズユニットは必ず指定品を、付属の説明書に従って正しくご使用ください。レンズユニットの取付け、取外しは、必ず販売店にご依頼ください。

各部の名称

プロジェクター（本機）

- (1) フロントリング
- (2) フロントカバー
- (3) ダストプロテクタ
- (4) リモコン受光部（× 3）
- (5) 排気口
- (6) フィルターカバー（[図1-38](#)）
この奥に、フィルターユニットと、
本機の主要吸気口があります。
- (7) 操作パネル（[図1-13](#)）
- (8) 接続パネル（[図1-13, 16](#)）
- (9) シャットダウンスイッチ
- (10) ランプカバー（[図1-36](#)）
- (11) 電源端子（[図1-20](#)）
- (12) 電源スイッチ（[図1-24](#)）
- (13) セキュリティ・バー（[図1-19](#)）
盗難防止ワイヤー／チェーン用の取付けバーです。
- (14) セキュリティ・スロット
盗難防止ロック用の取付け穴です。
- (15) 取っ手（× 2）
- (16) アジャスタ脚（× 2）



警告



●衝撃をあたえない

移動するときは、必ず二人以上で、**取っ手部分**をしっかりと持って運んでください。
フロントリング (1) や**フロントカバー (2)** をつかんで持ち上げたり引っ張ったり
しないでください。
アジャスタ脚 (16) は、本体が不安定にならないように支えながら操作してください。



高温注意

●高温に注意する

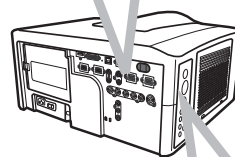
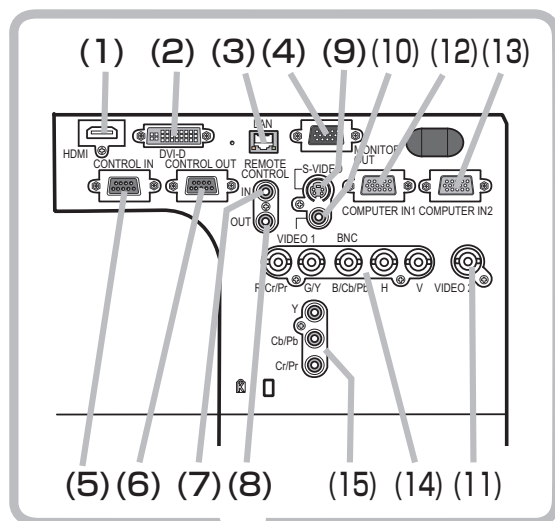
使用中や使用後しばらく、**排気口 (5)** に近づいたり、**ランプカバー (10)** に触れたり
しないでください。

お守りください

- シャットダウンスイッチ (9)** は、正しい手順で電源を切れない場合にだけご使用ください。シャットダウンスイッチで電源を切ったときは、**電源スイッチ (12)** の「○」側を押し、放置して十分冷ましてください。

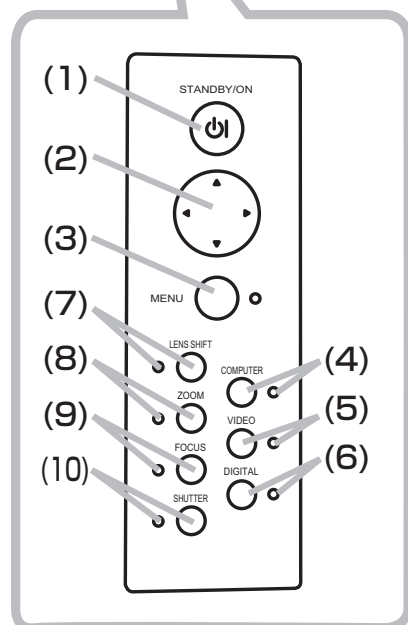
接続パネル (1-16 ~ 18)

- (1) HDMI 端子
- (2) DVI-D 端子
- (3) LAN 端子
- (4) MONITOR OUT 端子
- (5) CONTROL IN 端子
- (6) CONTROL OUT 端子
- (7) REMOTE CONTROL IN 端子
- (8) REMOTE CONTROL OUT 端子
- (9) S-VIDEO 端子
- (10) VIDEO 1 端子
- (11) VIDEO 2 端子
- (12) COMPUTER IN1 端子
- (13) COMPUTER IN2 端子
- (14) BNC (G/Y, B/Cb/Pb, R/Cr/Pr, H, V) 端子
- (15) COMPONENT (Y, Cb/Pb, Cr/Pr) 端子



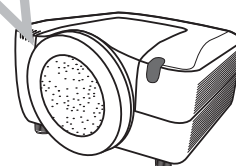
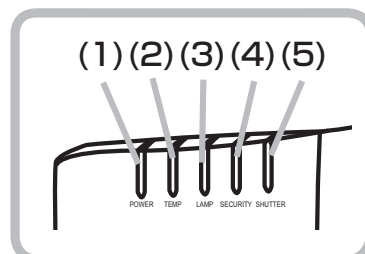
操作パネル

- (1) STANDBY/ON ボタン (1-24, 25)
- (2) カーソルボタン ▲/▼/◀/▶
- (3) MENU ボタン (2-2)
- (4) COMPUTER ボタン/インジケータ (1-30)
- (5) VIDEO ボタン/インジケータ (1-30)
- (6) DIGITAL ボタン/インジケータ (1-30)
選択されている入力端子のインジケータが点灯します。
- (7) LENS SHIFT ボタン/インジケータ (1-26)
- (8) ZOOM ボタン/インジケータ (1-27)
- (9) FOCUS ボタン/インジケータ (1-27)
調節中の項目にインジケータが点灯します。
- (10) SHUTTER ボタン/インジケータ (1-34)
レンズシャッターが閉じている間、SHUTTER インジケータが点滅します。



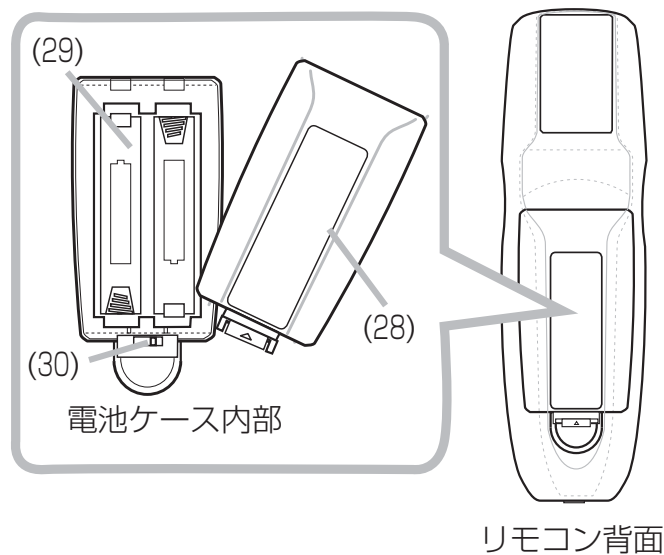
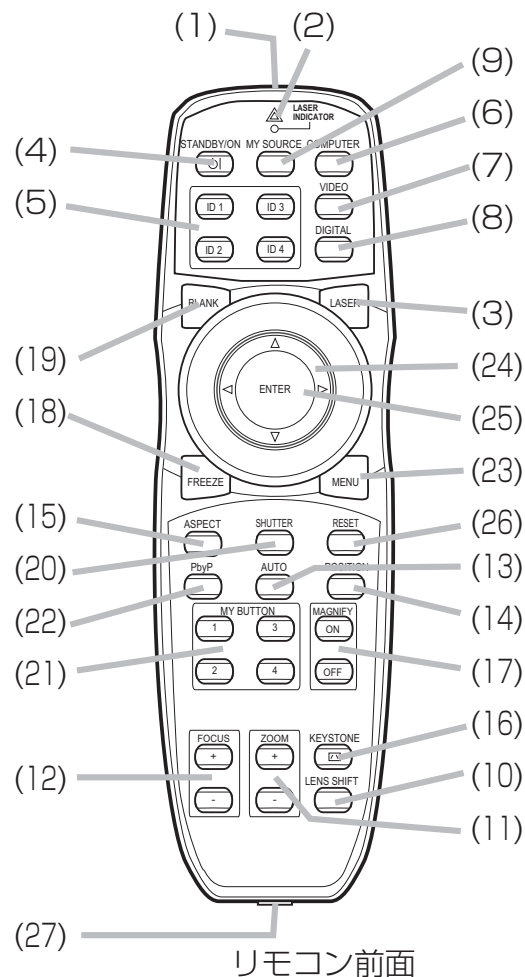
インジケータ (4-36)

- (1) POWER インジケータ
通常動作状態では緑色に、スタンバイ状態では橙色に、点灯または点滅します。
- (2) TEMP インジケータ
- (3) LAMP インジケータ
内部温度やランプの異常をお知らせします。
- (4) SECURITY インジケータ
「暗証コードロック」または「状態監視」が有効のときに点滅します。
- (5) SHUTTER インジケータ
レンズシャッターが閉じている間、インジケータが点滅します。



リモコン

- (1) レーザー射出口 (📖1-21)
- (2) LASER インジケータ
- (3) LASER ボタン
LASER ボタンを押すと、射出口からレーザー光が発光され、LASER インジケータが点灯します。
- (4) STANDBY/ON ボタン (📖1-24、 25)
- (5) リモコン ID ボタン ID1/ID2/ID3/ID4 (📖1-22)
- (6) COMPUTER ボタン (📖1-30)
- (7) VIDEO ボタン (📖1-30)
- (8) DIGITAL ボタン (📖1-30)
- (9) MY SOURCE ボタン (📖1-30、 2-25)
- (10) LENS SHIFT ボタン (📖1-26)
- (11) ZOOM+/- ボタン (📖1-27)
- (12) FOCUS+/- ボタン (📖1-27)
- (13) AUTO ボタン (📖1-31)
- (14) POSITION ボタン (📖1-32、 33)
- (15) ASPECT ボタン (📖1-32)
- (16) KEYSTONE ボタン (📖1-33)
- (17) MAGNIFY - ON / OFF ボタン (📖1-33)
- (18) FREEZE ボタン (📖1-34)
- (19) BLANK ボタン (📖1-34)
- (20) SHUTTER ボタン (📖1-34)
- (21) MY BUTTON ボタン (📖2-24)
- (22) PbyP ボタン (📖1-35)
- (23) MENU ボタン (📖2-2)
- (24) カーソルボタン ▲/▼/◀/▶ (📖2-2)
- (25) ENTER ボタン (📖2-2)
- (26) RESET ボタン (📖2-2)
- (27) 有線リモコン端子 (📖1-23)
- (28) 電池カバー (📖1-21)
- (29) 電池ケース (📖1-21)
- (30) 周波数切替スイッチ (📖1-22)



⚠️ 警告



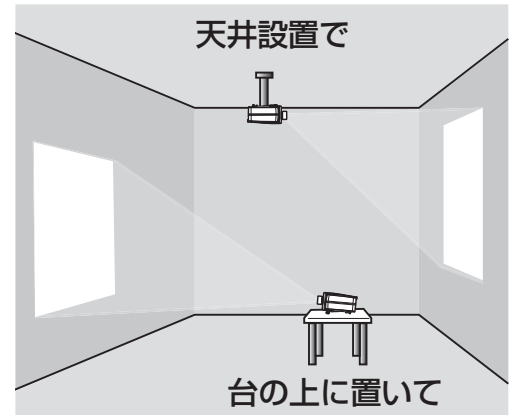
●レーザー光を目にあてない、スクリーン以外には向けない

レーザー光はスクリーンに向けて指し棒の代わりにご使用になる以外には用いないでください。レーザー光を直接見たり、他の人やペットに向けたりしないでください。お子様にはリモコンを使わせないでください。

配置する

本機は、高温、湿気、ほこりや直射日光を避け、安定した涼しい場所に設置してください。ご使用環境に合わせ、設置の方法と位置をきめてください。

設置には、指定の取付け器具 (M4-2) やサービスマンによる作業が必要となる場合がありますので、あらかじめ販売店にご相談ください。天井設置などの特殊な設置は、必ず販売店にご依頼ください。



お知らせ

● 投写画面の大きさは、概ねプロジェクターとスクリーンの距離によって決まりますが、プロジェクターとレンズユニットの組み合わせや、レンズシフトの調節状態によっても異なります。詳しくは下記をご覧ください。販売店にご相談ください。

日立ホームページ URL: <http://www.hitachi.co.jp/proj/>

警告



電源プラグを
コンセント
から抜け

- 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。



高温注意

- 高温に注意する
熱の伝わり易いものや燃え易いもの、熱に弱いものの上や近くで本機を使用しないでください。



分解禁止

- 分解しない、改造しない
本機や付属品を加工しないでください。



- 衝撃をあたえない
アジャスタ脚は本体を落とさないようにしっかり支えた状態で操作してください。
- 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない
ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください。キャスター（車）付きの台に載せる場合は必ずキャスター（車）止めをしてください。アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。設置の際はあらかじめ販売店にご相談ください。設置器具は指定品をご使用になり、天井設置などの特殊な設置は、必ず販売店にご依頼ください。セキュリティ・スロット（盗難防止ロック用穴）やセキュリティ・バー（盗難防止チェーン／ワイヤー用バー）を落下防止用に使用しないでください。
- めらさない、ぬれる場所に置かない
風呂場やシャワー室、台所などに置かないでください。海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。水槽や植木鉢の近くに置かないでください。

⚠ 注意



- **湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や油煙、湯気などの当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない**
調理台、加湿器、植木鉢の近くなど、湿気の多いところに置かないでください。喫煙所や人通りの多い場所に置かないでください。
- **高温になるところに置かない**
直射日光の当たるところ、ヒーターやエアコンの噴出し口の近くなど、熱源の近くや温風が当たるところには置かないでください。
- **通風口をふさがない**
風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。通風口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。布や紙、テーブルクロスなどの吸い付く物を、吸気口の近くに置かないでください。
- **磁気が発生するものを近づけない**
付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

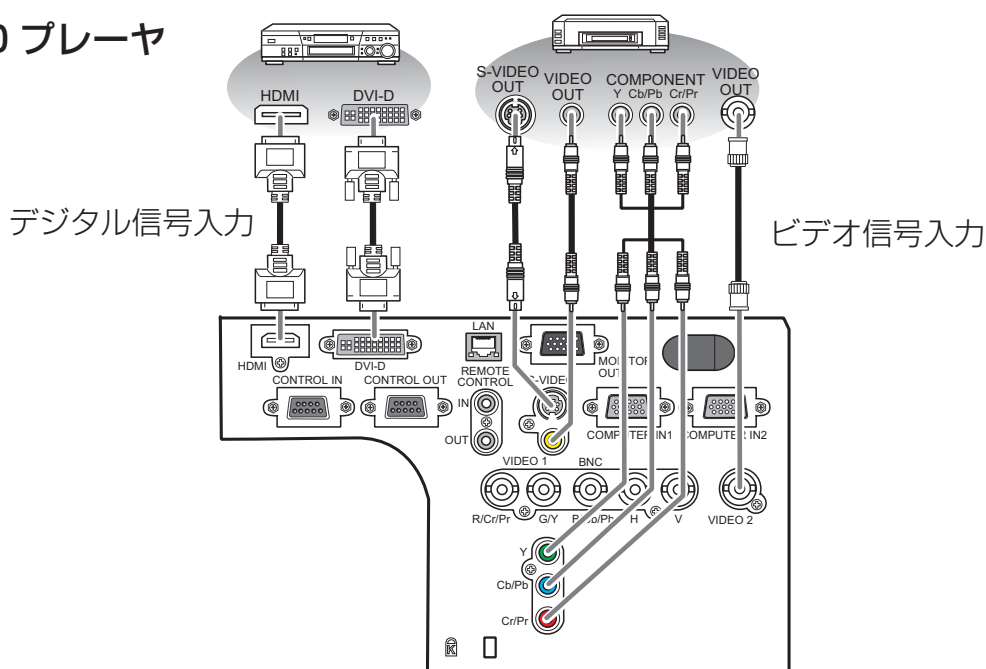
お守りください

- 設置の際は、本機とスクリーンとの間に障害物がないことをよく確認してください。
- 光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。
- 電波が発生するものを避けてください。

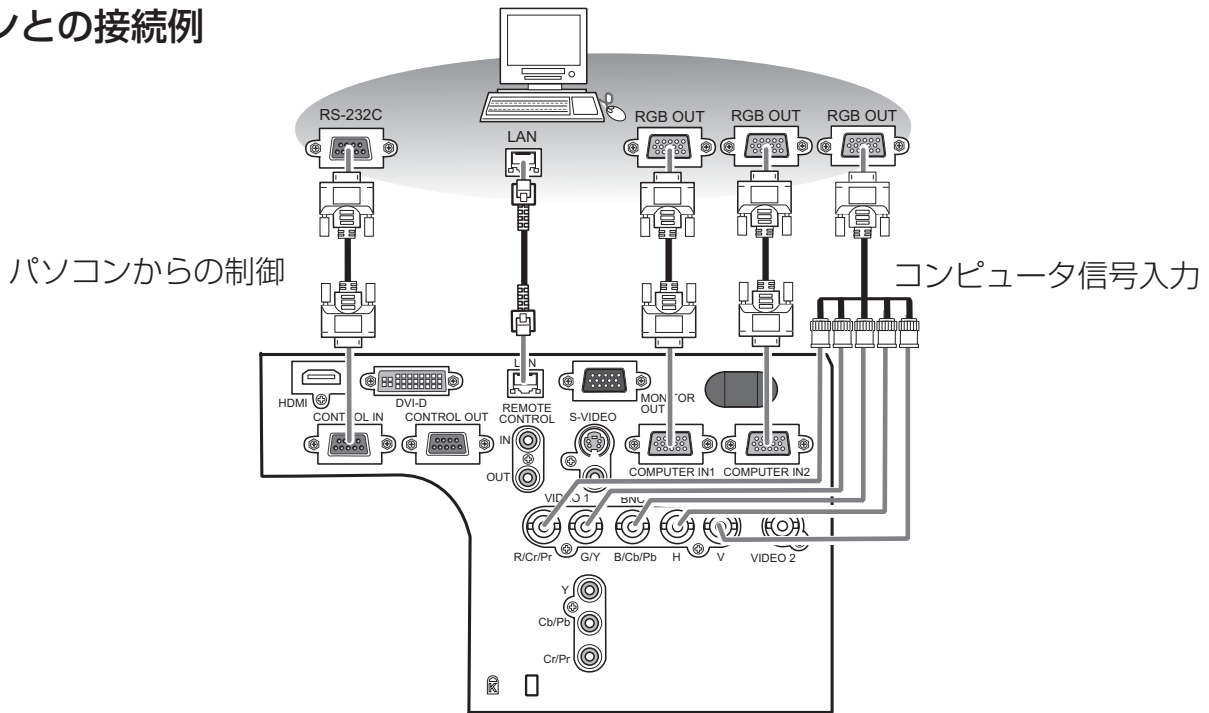
他の機器と接続する

接続の前に、本機と接続してご使用になる機器の説明書をよくお読みください。信号によっては、特定のアダプタが必要な場合や、本機では正しく表示できない場合があります。解像度などの仕様が本機に合うことを確認し、必要な信号ケーブルやアダプタを準備してください。本機の端子形状は「入出力信号端子について」(P4-6～9)をご覧ください。本機および接続する機器の電源が切れていることを確認し、以下の図をご参考に接続を行ってください。

ビデオや DVD プレーヤーとの接続例



パソコンとの接続例



お知らせ

- ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンの RGB 外部映像出力を有効 (LCD と CRT の同時表示または CRT の設定) にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。
- 入力信号によっては、本機の自動調整機能 (1-31) が正しく働かなかったり、映像を表示できなかつたりすることがあります。また複数の表示モードを持っているパソコンでは、本機が対応していないモードを含む場合があります。あらかじめご確認ください。
- パソコン上で解像度を切り替えるとき、本機の自動調整機能が正常に動作しなかつたり通常より時間が掛かたりすると、解像度切替えのための画面表示が確認できず、もとの解像度に戻ってしまうことがあります。このような場合は、別の表示装置を使って解像度を切り替えてください。
- 本機は VESA DDC 2B に対応しています。本機を VESA DDC (Display Data Channel) 対応のパソコンに接続してご使用になると、プラグ & プレイを実現できます。本機の RGB1 端子とパソコンを付属の RGB 信号ケーブルで接続してご使用ください。本機は「プラグ & プレイ・モニタ」として認識されます。このとき、ディスプレイドライバは標準のものをご使用ください。

接続するパソコンによってはプラグ & プレイが動作しない場合があります。

※プラグ & プレイは、パソコンと、表示装置などの周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。

●本機の HDMI 端子は HDCP (High-bandwidth Digital Content protection) に対応しています。HDCP 対応の DVD プレーヤなどのビデオ信号を表示することができます。

●本機は、以下の HDMI 信号に対応しています。

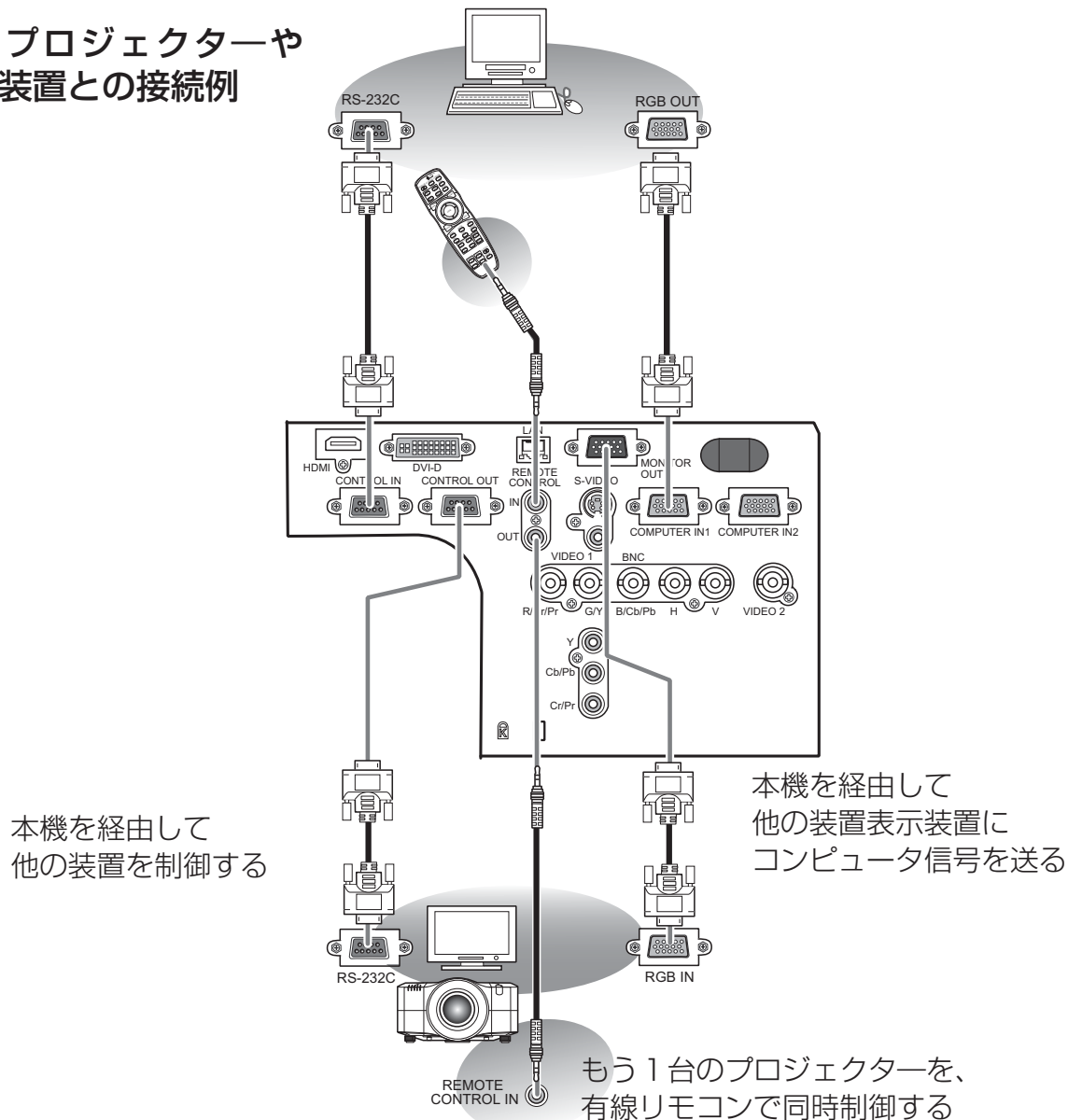
- ・ビデオ信号 : 480i@60, 480p@60, 576i@50, 720p@50/60, 1080i@50/60, 1080p@50/60
- ・コンピュータ信号: 「コンピュータ信号について」 (4-4, 5) をご参照ください

●本機は、HDMI および DVI 対応機器に接続することができますが、機器によっては映像が映らない、音声が出力されないなど、正常に動作しない場合があります。

●HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ付きのものをご使用ください。

他の機器と接続する (つづき)

他のプロジェクターや表示装置との接続例



警告



分解禁止

●分解しない、改造しない

本機や付属品を加工しないでください。



●信号ケーブルやコネクタを傷つけない

傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機など、重い物を載せないでください。ヒーターや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。投げたり、ひきずったりしないでください。加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。



●信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する

本機に同梱されているものは必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外の信号ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ、適切なものをご使用ください。

(次ページにつづく)

⚠ 注意



電源プラグを
コンセント
から抜け

●接続するときは電源プラグを抜く

接続作業は、本機や接続する機器の電源を切って行ってください。本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

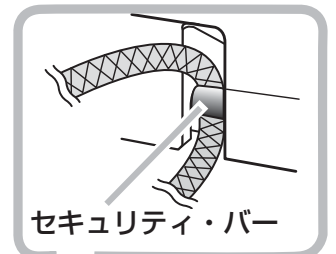
お守りください

- 接続はコネクタの形状や向きを確かめながら、正しく行ってください。固定ネジがあるものはネジをきちんと締めて固定してください。
- ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、LAN端子に接続しないでください。LAN端子への接続は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

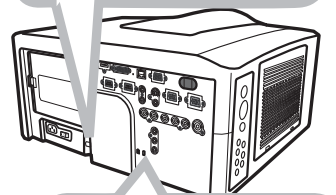
セキュリティ・スロット／バーを使う

本機は、市販の盗難防止用ロックをご使用になるためのセキュリティ・スロットと、盗難防止用ワイヤーやチェーンをご使用になるためのセキュリティ・バーを備えています。セキュリティ・バーには直径 10mm までのワイヤーまたはチェーンを取り付けることができます。

詳細はご使用になる盗難防止用ロック、盗難防止用チェーン／ワイヤーの説明書をご覧ください。



セキュリティ・バー



セキュリティ・スロット

お知らせ

- 本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

⚠ 警告



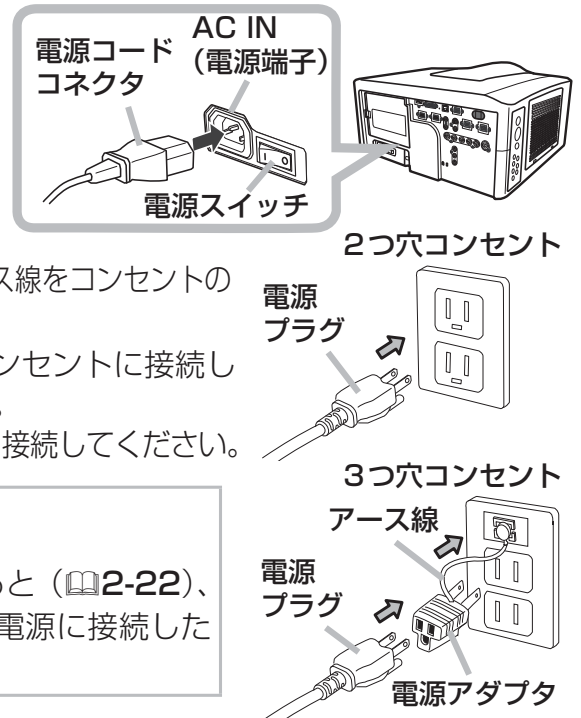
●不安定な場所に置かない、不安定な置き方をしない

セキュリティ・スロットやセキュリティ・バーは、転倒・落下防止用などの本機を支える目的で使用しないでください。

電源に接続する

本機の電源端子と AC（交流）100V の電源コンセントを、付属の電源コードと必要に応じて電源アダプタで接続してください。

1. 電源コードのコネクタ側を本機の電源端子に接続してください。
2. 2つ穴コンセントをご使用のときは、電源アダプタのアース線をコンセントのアース端子に接続してください。
3. 2つ穴コンセントをご使用のときは、電源アダプタをコンセントに接続してから、電源プラグを電源アダプタに接続してください。
3つ穴コンセントご使用のときは、電源プラグをコンセントに接続してください。



お知らせ

- 「その他」メニューで「ダイレクトオン」を「有効」にすると（[2-22](#)）、電源スイッチを入れた（「I」表示側が押されている）まま電源に接続したとき、自動的に本機の電源が入ることがあります。

警告



電源プラグをコンセントから抜く

- 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。



- 指定の電源電圧で使用する
必ず、本体に表示されている指定電圧、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。
- 電源コードや電源アダプタは同梱品を使用する
電源コードや電源アダプタは本機に付属のものをご使用ください。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。
- 電源プラグは付着物をふき取ってから使用する
必ず接続の前に、接続部やその周辺に付着しているほこりや金属類など取り除いてください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。



アース線を必ず接続せよ

- アース線を必ず接地する
2つ穴コンセントを使用する場合、付属の電源アダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。アース線の接続は電源アダプタをコンセントに差し込む前に、アース線を外すときは電源アダプタをコンセントから抜いてから、行ってください。



- 電源コードや電源アダプタを傷つけない
傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機など、重い物を載せないでください。ヒーターや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。投げたり、ひきずったりしないでください。加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。
- めれた手で電源を接続したり外したりしない
めれた手で電源コードや電源アダプタを取り扱わないでください。
- アース線をコンセントに差し込まない
アース線はアース端子以外には接続しないでください。

お守りください

- 接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。電源コードを接続する前に、本機の電源スイッチが切れている（「O」と表示されている側が押されている）ことを確認してください。

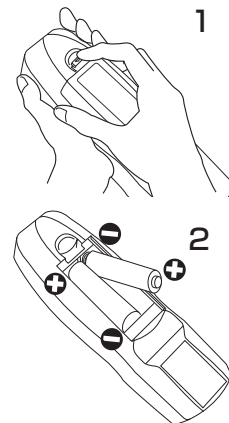
リモコンを準備する

電池を入れる

付属のリモコンは単3型乾電池2本を使用します。ご使用前に電池をリモコンに入れてください。電池は必ず下記のものをご使用ください。

付属リモコン用電池：日立マクセル製、型名 LR6 または R6P

1. 電池カバーのつまみを軽く手前に引きながら電池カバーを外してください。
2. リモコンの中に表示された極性表示（⊕、⊖）を確認し、電池の向きを合わせて入れてください。
3. 電池カバーをもとのように閉じてください。



警告

●電池の取扱いに注意する

取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。**万一、電池を飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。**

液漏れしたときは、**すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。**漏れ液が皮膚や衣類に付着した場合は、**すぐにきれいな水で洗い流してください。**目などに入った場合は、**すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。**

- ▶電池は、必ず指定のタイプ（上記）の新しい電池を使用してください。損傷のある電池は使用しないでください。種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い（使用した）電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。
- ▶電池ケースの極性表示（⊕、⊖）に従って正しく入れてください。
- ▶リモコンを長時間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出して保管してください。
- ▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
- ▶子供やペットが届かないところに保管してください。
- ▶衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。
- ▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。
- ▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

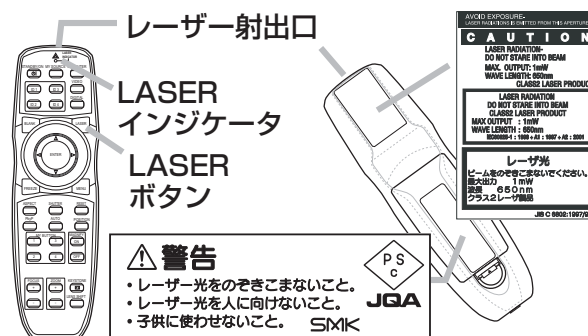


破裂注意

レーザーポインタについて

リモコンのLASER ボタンを押すと、リモコンの先端にある射出口からレーザー光が出ます。スクリーンに向けて指し棒の代わりにご使用ください。

レーザー光はLASER ボタンを押している間放射され、ボタンを放すと消えます。レーザー光が出ているあいだはLASER インジケータが点灯します。



警告

●レーザー光を目にあてない、スクリーン以外には向けない

レーザー光は目に当たると視覚障害の原因となるなど、有害となる可能性がありますので、スクリーンに向けて指し棒の代わりにご使用になる以外には用いないでください。レーザー光を直接見たり、他の人やペットに向けたりしないでください。お子様にはリモコンを使わせないでください。



リモコン信号について

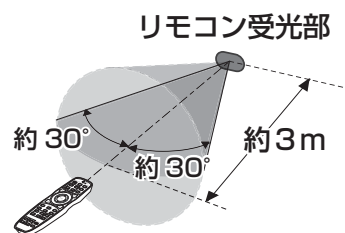
付属のリモコンは、本機のリモコン受光部へ信号を送って機能します。リモコン信号は、受光部への入射角度約 30°、距離約 3 m の範囲で有効です。

リモコン信号は、スクリーンなどに反射させて操作できる場合もあります。(反射面によっては反射できない場合もあります。)

また、受光部に蛍光灯などの不要な光が入ると、リモコンが正常に動作しないことがあります。この場合は、「その他」メニューの「特別な設定」-「リモコン受光部」(☞2-27) でリモコン受光部の有効/無効を切り替えると改善される場合があります。



リモコン受光部



リモコン受光部

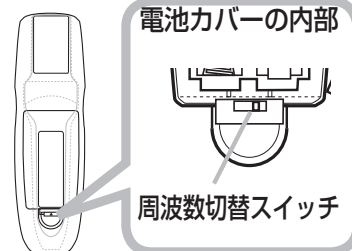
リモコン信号の周波数を切り替える

付属のリモコンは、2種類の信号周波数を切り替えてご使用になれます。リモコンが利きにくいときや正常に動作しないとき、周波数を切り替えると改善される場合があります。

周波数を変更するには、リモコンと本機の受光部、両方の設定変更が必要です。設定が一致していないとリモコンが正常に動作しませんのでご注意ください。

1. リモコンの周波数切替スイッチを切り替えてください。
リモコンの表示「1」は標準周波数モード、「2」は高周波数モードです。
2. リモコン受光部の、受信周波数モードを設定してください。
「その他」メニューの「特別な設定」-「リモコン周波数」(☞2-27) で、リモコンの設定に合ったモードを有効にしてください。

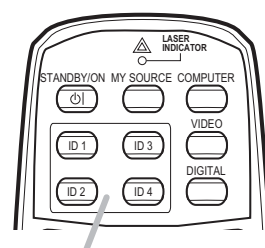
リモコン背面



複数のプロジェクターを操作する (リモコン ID)

リモコン信号の到達範囲内に本機が複数ある場合など、プロジェクターにリモコン ID を設定しておくことで、リモコンの ID ボタンでプロジェクターを指定して制御することができます。

1. プロジェクターの ID を設定します。
「その他」メニューの「特別な設定」-「リモコン ID」(☞2-27) を操作して、1 から 4 の ID 番号を選んでください。「全 ID」を選ぶと、1 から 4 の全ての ID 指定が有効となります。
2. リモコンから ID を指定します。
制御したいプロジェクターのリモコン ID と同じ番号の ID ボタンを押してください。以降、他の ID ボタンが押されるまで、このリモコンの操作は、押されたボタンと同じ番号、または「全 ID」がリモコン ID に設定されているプロジェクターにだけ有効となります。



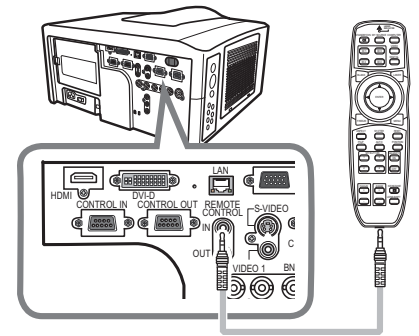
ID ボタン

お知らせ

- リモコンの ID ボタンは押されると数秒間点灯して消えます。または ID ボタン以外のボタンを押すと、そのとき設定されている ID のボタンが 1 回点滅します。
- リモコンの ID ボタンのいずれかを 3 秒以上押し続けると、本機に設定されている ID が画面に表示されます。

有線リモコンとして使用する

本機の REMOTE CONTROL 端子とリモコンの有線リモコン端子を ϕ 3.5 ステレオミニプラグ付ケーブルで接続すると、有線リモコンとしてもご使用になれます。



警告



高温注意

●高温に注意する

排気口の近くにリモコンを置かないでください。



分解禁止

●分解しない、改造しない

リモコンを加工しないでください。

お守りください

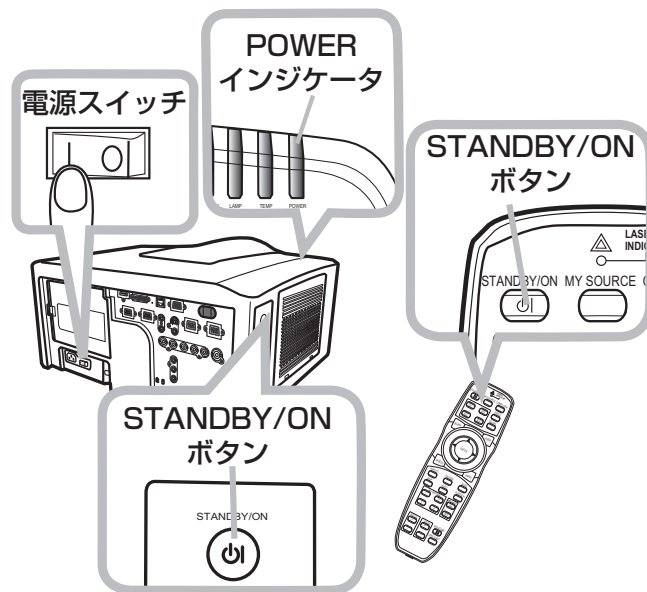
- リモコンに衝撃をあたえないでください。リモコンを投げたり落としたり、上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。
- リモコンに水を掛けたり、リモコンをぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。
- リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください。リモコンは赤外線でお本機に信号を送っています。(クラス1 LED 製品) リモコンと本機の受光部の間に障害物があると、リモコンが利かないことがあります。
- 光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

基本操作

電源を入れる

1. 電源コードが正しく接続されているのを確認してください。
2. 電源スイッチの「I」と表示されている側を押してください。本機がスタンバイ状態となり、POWER インジケータが橙色に点灯します。この直後は、リモコンや操作パネルのボタンが利かないことがありますので、数秒お待ちください。
3. リモコンまたは操作パネルの STANDBY/ON ボタンを押してください。ランプが点灯、ウォームアップを開始し、POWER インジケータが緑色に点滅を始めます。

投写ランプが点灯すると、POWER インジケータは点滅をやめ、緑色に点灯します。



お知らせ

- 「その他」メニューの「ダイレクトオン」(2-22)を「有効」に設定している場合、電源を入れる操作を行わなくても自動的に本機の電源が入ることがあります。

警告



●レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。



高温注意

●高温に注意する

使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズやランプカバーに触れたりしないでください。

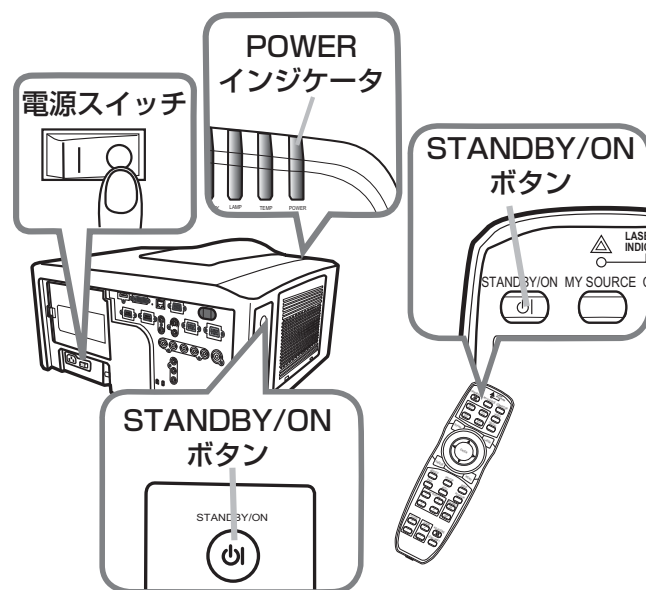
お守りください

- 本機の電源は他の機器より先に入れてください。接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

電源を切る

本機は、以下の手順を踏まなくても、電源スイッチやテーブルタップのスイッチ、ブレーカーをご使用になって電源を切ることができます。

ただし、**使用中に電源プラグ、電源コードを抜くと故障の原因となります**ので以下に従い、冷却中または冷却完了後に抜いてください。



1. リモコンまたは操作パネルの STANDBY/ON ボタンを押してください。「電源を切りますか？」のメッセージが約5秒間表示されます。
2. メッセージが表示されている間に、もう一度 STANDBY/ON ボタンを押してください。ランプが消灯し、冷却動作を開始します。冷却動作中は POWER インジケータが橙色に点滅します。
3. 冷却が終わると POWER インジケータは点滅をやめ、橙色に点灯します。電源スイッチの「○」と表示されている側を押してください。電源が切れて、POWER インジケータが消灯します。

電源を切った後 10 分以上は、電源を入れないでください。本機の温度が十分に下がっていない状態で電源を頻繁に入れたり切ったりすると、ランプの寿命を縮めることがあります。

お知らせ

- 「その他」メニューの「オートオフ」(P.2-22)を「有効」に設定している場合、電源を切る操作を行わなくても自動的に本機の電源が切れることがあります。
- シャットダウンスイッチは、正しい手順で電源を切れない場合にだけご使用ください。(P.4-38)

警告



●レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。



高温注意

●高温に注意する

使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズやランプカバーに触れたりしないでください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

●使用しないときは電源プラグを抜く

本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

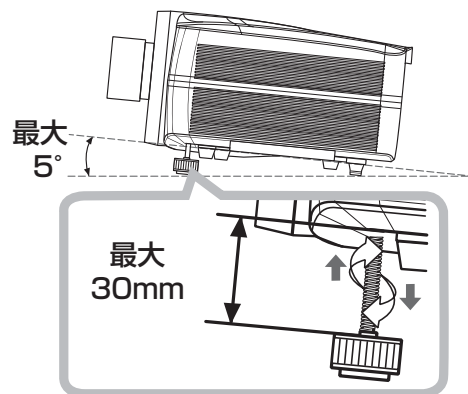
お守りください

- 本機の電源は他の機器より後に切ってください。接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

傾きを調節する

スクリーンなどの投写面に傾きがある場合は、アジャスタ脚を使って本機のレンズ面と投写面をできるだけ平行にしてください。本機のアジャスタ脚では、水平な設置面に対し、前上がり最大5°まで傾けることができます。

アジャスタ脚は本機の底面前よりの左右に一つずつあり、各々、ねじのように回すと長さを調節できます。アジャスタ脚は伸ばしすぎると外れますので、30mm以上には伸ばさないでください。



警告



●衝撃をあたえない

アジャスタ脚は本体が不安定にならにように、しっかり支えた状態で操作してください。

●不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない

アジャスタ脚は伸ばしすぎると外れますので、30mm以上には伸ばさないでください。本機が落ちたり倒れたりすると、けがや故障の原因となります。

●傾けて使用しない

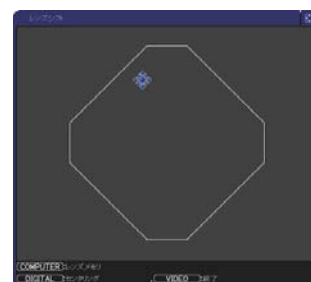
傾けての使用は、前後方向（前上がり）5°以内で設置してください。5°以上の角度に傾けた状態での使用は故障や寿命を縮める原因となります。アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。

投写位置を調節する

レンズシフト機能を使ってレンズの位置を調節すると、投写画面の位置も調節することができます。初めに、LENS SHIFT ボタンを押して、「レンズシフト」ダイアログを表示してください。

■レンズの位置を調節する（レンズシフト）

「レンズシフト」ダイアログの表示中に、カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶を操作すると、レンズが移動して投写画面の位置を調節することができます。投写画面を見ながら操作してください。



■レンズを中央に移動する（センタリング）

センタリング機能をご使用になると、レンズを可動範囲の中央に、自動的に移動することができます。

1. 「レンズシフト」ダイアログの表示中に DIGITAL ボタンを押してください。「レンズシフトのセンタリングを実行しますか？」の確認ダイアログが表示されます。
2. 確認ダイアログの表示中に ▶ ボタンを押すと、レンズが移動し始めます。レンズの移動中は砂時計アイコンが表示され、LENS SHIFT インジケータが点滅します。移動が完了すると砂時計アイコンが消えてレンズシフト・ダイアログに戻り、LENS SHIFT インジケータも点滅を終わめます。

スタンバイモードでレンズをセンタリングする場合

スタンバイモード（ 4-36）で LENS SHIFT ボタンと DIGITAL ボタンを同時に 3 秒以上を押し続けるとセンタリングが開始されます。センタリングの動作中は LENS SHIFT インジケータが点滅し、完了すると、LENS SHIFT インジケータは点滅を終えて、数秒間点灯した後消灯します。

（次ページにつづく）

お知らせ

- レンズの移動には、場合により 1 分程度の時間が掛ることがあります。
- 「レンズシフト」ダイアログは、VIDEO ボタンを押すとダイアログを終了し、COMPUTER ボタンを押すと「レンズメモリ」メニュー (1-28) に移行します。「レンズシフト」ダイアログの表示中は、VIDEO ボタンや COMPUTER ボタンを押しても信号は切り替わりません。
- 「レンズシフト」ダイアログや確認ダイアログは一定時間操作しないと自動的に終了します。

表示倍率 (ズーム)、焦点 (フォーカス) を調節する

ズームで表示倍率を、フォーカスで焦点を、調節することができます。

■ 操作パネルで操作する場合

1. ZOOM ボタンを押してください。「ズーム」ダイアログが表示されます。
2. 「ズーム」ダイアログの表示中に、カーソルボタン◀ / ▶を操作すると、表示倍率を調節することができます。投写画面を見ながら調節してください。
3. FOCUS ボタンを押してください。「フォーカス」ダイアログが表示されます。
4. 「フォーカス」ダイアログの表示中にカーソルボタン◀ / ▶を操作すると、焦点を調節することができます。投写画面を見ながら調節してください。

**■ リモコンで操作する場合**

1. ZOOM+ または ZOOM- ボタンを押してください。「ズーム」ダイアログが表示されます。
2. 「ズーム」ダイアログの表示中に、ZOOM+ / ZOOM- ボタン、またはカーソルボタン◀ / ▶を操作すると、表示倍率を調節することができます。投写画面を見ながら調節してください。
3. FOCUS+ または FOCUS- ボタンを押してください。「フォーカス」ダイアログが表示されます。
4. 「フォーカス」ダイアログの表示中に、FOCUS+ / FOCUS- ボタン、またはカーソルボタン◀ / ▶ボタンを操作すると、焦点を調節することができます。投写画面を見ながら調節してください。

お知らせ

- 一定の映像品質を維持するため、ズームおよびフォーカスの調節範囲には、ご使用のレンズユニットによって異なる制限を設けています。このため、調節が上限または下限に達しても、「ズーム」ダイアログおよび「フォーカス」ダイアログの調節バーは上限または下限を示さないことがあります。故障ではありません。
- 「ズーム」ダイアログ、「フォーカス」ダイアログは、一定時間操作しないと自動的に終了します。

レンズメモリ機能を使う

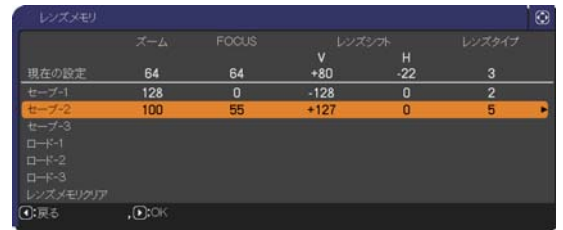
レンズメモリ機能をご使用になると、レンズの位置やズーム、フォーカスの調節状態を本機に記憶させたり、記憶させた情報で本機を自動調整したりすることができます。

初めに、以下のいずれかの方法で、「レンズメモリ」メニューを表示してください。

(1) 「レンズシフト」ダイアログ (📖1-26) の表示中に COMPUTER ボタンを押す。

(2) 「ズーム」ダイアログ (📖1-27) の表示中にカーソルボタン▲を押す。

(3) 「フォーカス」ダイアログ (📖1-27) の表示中にカーソルボタン▲を押す。



	ズーム	FOCUS	レンズシフト		レンズタイプ
			V	H	
現在の設定	64	64	+80	-22	3
セーブ-1	128	0	-128	0	2
セーブ-2	100	55	+127	0	5
セーブ-3					
ロード-1					
ロード-2					
ロード-3					
レンズメモリクリア					

■ 調節状態を記憶する (レンズメモリセーブ)

ズーム、フォーカス、レンズシフトの調節状態と、レンズタイプ情報 (📖1-29 「お知らせ」) を一組に、最大3組まで、記憶 (セーブ) できます。

1. 「レンズメモリ」メニューの表示中にカーソルボタン▲ / ▼を操作し、「セーブ-1」「セーブ-2」「セーブ-3」のいずれかを選んで、▶ボタンを押してください。

「レンズメモリに記憶しますか？」の確認ダイアログが表示されます。

「セーブ-1」はメモリ-1、「セーブ-2」はメモリ-2、「セーブ-3」はメモリ-3を、情報の保存先に指定します。既に情報が保存されているメモリを指定してセーブ機能を実行すると、情報は上書きされ、以前の情報は失われますのでご注意ください。

メモリを選び直したい場合は、確認ダイアログの表示中に◀ボタンを押すと、「レンズメモリ」メニューに戻ることができます。

2. 確認ダイアログの表示中にカーソルボタン▶を押すと、指定されたメモリに、その時の調整状態とレンズタイプ情報が記憶されます。

このとき、「レンズメモリセーブ-＊」(＊はメモリ番号) のメッセージが数秒間表示されます。

■ 記憶情報で自動調整する (レンズメモリロード)

セーブ機能で記憶したメモリのうち、レンズタイプが使用中のものと一致するメモリは、読み出し (ロード) て、自動的に再現することができます。

1. 「レンズメモリ」メニューの表示中にカーソルボタン▲ / ▼を操作し、「ロード-1」「ロード-2」「ロード-3」のいずれかを選んで▶ボタンを押してください。

「レンズメモリの読み出しを行いますか？」の確認ダイアログが表示されます。

メモリを選び直したい場合は、確認ダイアログの表示中に◀ボタンを押すと、「レンズメモリ」メニューに戻ることができます。

2. 確認ダイアログの表示中にカーソルボタン▶を押すと、指定されたメモリの情報に従って、ズーム、フォーカスおよびレンズシフトが自動的に調整されます。

このとき、「レンズメモリロード-＊」(＊はメモリ番号) のメッセージが数秒間表示されます。

マイボタンに定義して実行する場合

ロード機能は、「その他」メニューの「マイボタン」(📖2-24) で、リモコンの MY BUTTON に設定することもできます。「レンズメモリ-1」を設定した MY BUTTON を押すと、「レンズメモリ」メニューで「ロード-1」を選択したときと同じ確認ダイアログが表示されます。同様に、「レンズメモリ-2」は「ロード-2」、「レンズメモリ-3」は「ロード-3」を選択したときと同様です。

(次ページにつづく)

■ レンズメモリの記憶を消去する (レンズメモリクリア)

セーブ機能で記憶した情報はクリア (消去) することもできます。

1. レンズメモリ・メニューの表示中にカーソルボタン▲ / ▼を操作し、「レンズメモリクリア」を選んで▶ボタン押してください。
「レンズメモリクリア」メニューが表示されます。

情報が記憶されたメモリが無いと、「レンズメモリクリア」メニューが表示されません。

2. 「レンズメモリクリア」メニューの表示中にカーソルボタン▲ / ▼を操作し、クリアしたいメモリの番号を選んで▶をボタン押すと、「レンズメモリを消去しますか？」の確認ダイアログが表示されます。

クリア機能を実行すると、そのメモリに記憶されていた情報は失われますのでご注意ください。

メモリを選び直したい場合は、確認ダイアログの表示中に◀ボタンを押すと、「レンズメモリクリア」メニューに戻ることができます。

3. 確認ダイアログの表示中にカーソルボタン▶を押すと、指定されたレンズメモリに記憶された情報が消去されます。
このとき、「レンズメモリクリア - *」 (*はメモリ番号) のメッセージが数秒間表示されます。

お知らせ

●レンズユニットは指定品 (📖 4-2) をご使用ください。本機は取り付けられたレンズユニットの型式を、1～6の番号で、レンズタイプ情報として認識します。

レンズユニットの型式	レンズタイプ情報
USL-801 (超短焦点レンズユニット)	1
SL-802 (短焦点レンズユニット)	2
SL-803 (短焦点レンズユニット)	3
SD-804 (標準レンズユニット)	4
LL-805 (長焦点レンズユニット)	5
UL-806 (超長焦点レンズユニット)	6

本機が認識できないレンズユニットが取り付けられていると、レンズメモリ機能はご使用になれません。

●情報が記憶されていないメモリのロード機能は、「レンズメモリ」メニューで選択できません。MY BUTTON で実行しようとする、エラーメッセージが数秒間表示されます。

●レンズタイプが使用中のレンズユニットと一致しないメモリのロード機能は、実行しようするとエラーメッセージが数秒間表示されます。

●「レンズメモリ」メニューや確認ダイアログは一定時間操作しないと自動的に終了します。

表示信号を選ぶ

表示信号の選択は、操作パネルとリモコンのどちらからでも同様に行うことができます。

初めに、パソコンやビデオなど、表示したい映像信号の信号源が正常に稼働しており、本機の入力端子に適切に接続されていることをご確認ください。

■ **コンピュータ信号（パソコンからのアナログ映像信号）を選ぶ**
COMPUTER ボタンを押すたびに、以下の順で表示信号が切り替わります。

COMPUTER IN1 → COMPUTER IN2 → BNC



ボタンを押したときに選ばれていた端子が上記の端子以外なら、COMPUTER IN1 端子が選択されます。

■ **ビデオ信号（DVD やビデオなどからの映像信号）を選ぶ**

VIDEO ボタンを押すたびに、以下の順で表示信号が切り替わります。

COMPONENT (Y, Cb/Pb, Cr/Pr) → S-VIDEO → VIDEO 1 → VIDEO 2



VIDEO ボタンを押したときに選ばれていた端子が上記の端子以外なら、COMPONENT (Y, Cb/Pb, Cr/Pr) 端子が選択されます。

■ **デジタル信号（パソコンなどからのデジタル映像信号）を選ぶ**

DIGITAL ボタンを押すたびに、HDMI 端子と DVI-D 端子が交互に選択されます。

HDMI ↔ DVI-D

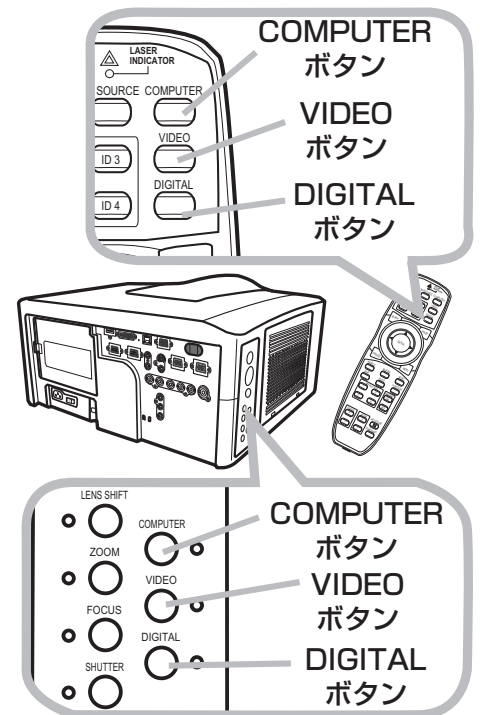
ボタンを押したときに選ばれていた端子が上記の端子以外なら、HDMI 端子が選択されます。

■ **あらかじめ指定した信号を選ぶ（MY SOURCE ボタンを使う）**

リモコンの MY SOURCE ボタンを押すと、「その他」メニューの「マイソース」(2-25) で指定された端子が選択されます。

お知らせ

- 「その他」メニューの「オートサーチ」(2-21) が「有効」に設定されているとき、COMPUTER ボタン、VIDEO ボタン、DIGITAL ボタンのいずれかを押し、映像信号の自動検索が実行されます。COMPUTER ボタンを押すとコンピュータ入力端子から、VIDEO ボタンを押すとビデオ入力端子から、DIGITAL ボタンを押すとデジタル入力端子から順に、各映像信号入力端子を、正常な入力信号を検出するまで検索します。
- マイソース機能で指定する端子にドキュメントカメラからの信号を入力すると、MY SOURCE ボタンをドキュメントカメラ用としてご活用いただけます。
- PAL 信号などの垂直周波数 50Hz の映像信号を表示すると、ちらつきなどの現象が現れますが故障ではありません。



画面の自動調整機能を使う

リモコンの AUTO ボタンを押すと画面の設定が自動的に調整されます。自動調整機能によって調整される項目は、表示中の映像信号により異なります。

より細かく調節したい場合は、「表示」メニュー (📖2-9, 10) をご参照ください。

■ コンピュータ信号を表示しているとき

画面の垂直位置、水平位置、クロック位相が自動的に調整されます。

パソコンで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。

■ ビデオ信号、S-ビデオ信号を表示しているとき

画面の垂直位置、水平位置、クロック位相（コンポーネントビデオ信号の 480i@60、576i@50、SCART RGB を除く）が初期設定に戻ります。

また、「入力」メニューの「ビデオフォーマット」が「オート」に設定されていると (📖2-12)、表示中の信号に最適な信号方式が自動的に選択されます。

■ コンポーネントビデオ信号を表示しているとき

画面の垂直位置、水平位置、クロック位相（480i@60、576i@50、SCART RGB を除く）が初期設定に戻ります。

お知らせ

●デジタル信号を表示しているとき、AUTO ボタンを押すと、画面は一瞬消えて再表示されますが、アスペクトなどの自動調整は行われません。

●自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。

●「その他」メニューの「特別な設定」-「オートアジャスト」で、「詳細」または「無効」が設定されていると (📖2-25)、自動調整される項目が変わります。

●表示中の映像信号やお客様のご使用環境（ケーブルの長さや種類、分配器の使用等）によっては、表示画面の位置やサイズがうまく合わない場合があります。この場合は、手動で操作、調節してください。対応信号については「パソコン信号について」(📖4-4, 5) を参照してください。

●ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を表示している時に画面の自動調整を実行すると、画面の端に線などが映る場合があります。修正には、「画面の位置を調節する」(📖1-32) や「オーバースキャン (表示率)」(📖2-9) を調節してください。

画面の縦横比（アスペクト）を選ぶ

リモコンの ASPECT ボタンを押すたびに、以下の順序で表示画面のアスペクト（縦横比）が切り替わります。選択できるアスペクトは表示中の信号によって異なります。

（✓：対応／－：非対応）

	ノーマル	4:3	16:9	16:10	14:9	スモール	リアル	フル
CP-X10000J	✓	✓	✓	－	✓	✓	－	－
CP-WX11000J	✓	✓	✓	✓	✓	－	✓	✓
CP-SX12000J	✓	✓	✓	－	✓	✓	✓	－

■ コンピュータ信号を表示しているとき

ノーマル → 4:3 → 16:9 → スモール → リアル → フル
↑

■ ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を表示しているとき

4:3 → 16:9 → 16:10 → 14:9 → スモール → リアル → フル
↑

■ HDMI 信号または DVI-D 信号を表示しているとき

ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 → スモール → リアル → フル
↑


お知らせ

- 「ノーマル」モードを選ぶと、表示信号のアスペクトに従って表示されます。
- 本機が正常な入力信号を検出できないと ASPECT ボタンは無効となり、CP-X10000J および CP-SX12000J では「4:3」、CP-WX11000J では「フル」が自動的に選択されます。

画面の位置を調節する

1. リモコンの POSITION ボタンを押してください。「位置」ダイアログが表示されます。
 2. ダイアログが表示されている間に、カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で画面位置を調節してください。
- 画面の位置調節を取り消すにはダイアログが表示されている間にリモコンの RESET ボタンを押してください。画面をもとの位置（信号を受信した時点の表示位置）に戻すことができます。数秒間調節を行わないか、もう一度 POSITION ボタンを押すと、ダイアログが消えて画面位置の調節を終了します。

お知らせ

- ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を表示しているとき、画面位置を調節すると画面の外側の線などが映ることがあります。
- ビデオ信号、S-ビデオ信号、480i@60 または 576i@50 コンポーネントビデオ信号を表示している時は、画面位置の調節範囲は、「表示」メニューの「オーバースキャン」（ 2-8）の設定によって異なります。「オーバースキャン」が 10 に設定されていると、画面の位置は調節できません。
- メニューが表示されているときに POSITION ボタンを押すと、メニューの表示位置を調節することができます。ただし、このときには画面の位置は調節できません。

台形歪み（キーストン）を調節する

1. リモコンのKEYSTONE ボタンを押してください。「キーストン」メニューが表示されます。
2. カーソルボタン▲/▼で「オート」または「マニュアル」を選択してください。
「オート」は垂直方向のキーストン(台形歪み)を自動補正します。カーソルボタン▶で実行してください。
「マニュアル」はキーストン(台形歪み)を手動で補正できます。カーソルボタン▶を押すと「キーストン」ダイアログが表示されますので、カーソルボタン▲/▼で垂直、水平を選択し、◀/▶で補正量を調節してください。
数秒間なにも操作を行わないか、もう一度KEYSTONE ボタンを押すと、ダイアログが消えてキーストンの調節を終了します。



お知らせ

- キーストン補正の調節範囲は表示信号によって異なります。また、表示信号によっては正しく動作しないことがあります。
- 反転表示モード (📖2-5) が「通常表示」以外に設定されているときに、スクリーンが傾いていたり、本機を下向きに投映させたりすると、正しく補正できないことがあります。
- ズーム調節が TELE(小さく表示) 側に調節されていると、過補正となることがあります。この機能は、できるだけズーム調節を WIDE(大きく表示) に調節してお使いください。
- 本機の傾きが(前後方向)約±3°以下に設置されているとき、オートキーストンは動作しません。
- この機能は、レンズの位置 (📖1-26) が以下の場合にご使用いただくことを想定しています。その他の場合では正しく動作しないことがあります。

ご使用のレンズユニット	レンズの位置 (レンズシフトの調節状態)
USL-801	中央
SL-802, SL-803, SD-804, LL805, UL806	水平方向に中央、 垂直方向に上限 (本機の天面方向の限界位置)

- この機能は状態監視機能が有効のときは選択できません。(📖2-39「状態監視」)

画面を拡大する

1. リモコンのMAGNIFY-ON ボタンを押すと、画面が拡大表示され、「拡大」ダイアログが表示されます。
2. 「拡大」ダイアログが表示されている間に POSITION ボタンを押すと、「位置」ダイアログが表示されます。このときカーソルボタン▲/▼/◀/▶を操作すると、拡大位置を選ぶことができます。もう一度 POSITION ボタンを押すと拡大位置が確定し、「位置」ダイアログが消えます。
3. カーソルボタン▲/▼を操作すると、指定した拡大位置の拡大率を調節できます。画面をみながら調節してください。

各ダイアログが表示されている時に、数秒間なにも操作をしないとダイアログは消えますが、拡大表示は解除されません。画面の拡大表示を解除するには、リモコンのMAGNIFY-OFF ボタンを押してください。

お知らせ

- 表示信号が変化したときや表示状態を変更する操作 (自動調整やアスペクトの切替えなど) を実行したときにも画面の拡大は終了します。
- 拡大機能を有効にすると、キーストン補正の状態が正しく表示されないことがありますが、拡大表示を解除すると、もとの状態に戻ります。
- 2画面表示 (📖1-35) 中や、テンプレート画面 (📖2-20) 表示中は画面を拡大表示できません。

映像を静止させる

リモコンの FREEZE ボタンを押すと「静止」ダイアログが表示され、映像が静止します。映像の静止を解除するには、もう一度 FREEZE ボタンを押してください。

お知らせ

- 「スクリーン」メニューの「メッセージ」(☞2-19) を「表示しない」に設定していると、「静止」ダイアログは表示はされません。
- 操作パネルのボタンを押したときにも、映像の静止を終了します。また、リモコンの他のボタンを押したときや、ネットワーク、コントロール端子からコマンドを受けた場合にも映像の静止を終了することがありますのでご注意ください。
- 本機は同じ映像を長時間表示し続けると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがあります。映像を静止させたまま放置したり、終了するのを忘れてたりしないようご注意ください。

映像を一時的に消す（ブランク）

リモコンの BLANK ボタンを押すと、映像が消えてブランク画面が表示されます。ブランク画面は「スクリーン」メニューの「ブランク」(☞2-17) で設定できます。

もう一度 BLANK ボタンを押すともとの映像表示に戻ります。

お知らせ

- 操作パネルのボタンを押したときにもブランク画面の表示を終了します。また、リモコンの他のボタンを押した時や、ネットワーク、コントロール端子からコマンドを受けた場合にもブランク画面の表示を終了することがありますのでご注意ください。

表示を隠す（シャッター）

SHUTTER ボタンを押すたびに、本機に内蔵されているレンズシャッターが開／閉します。

レンズシャッターが閉じると投写光が遮断され、画面は表示されなくなります。またレンズシャッターが閉じているときは、本機前面および操作パネルの SHUTTER インジケータが点滅します。

レンズシャッターにはタイマーが連動しており、閉じた状態で一定時間が経過すると本機の電源が自動的に切れます。電源が切れるまでの時間は、「その他」メニューの「シャッタータイマー」(☞2-22) で設定することができます。

お知らせ

- レンズシャッターが閉じていたり、開閉の途中で本機の電源を切る（STANDBY/ON ボタンを押す）と、レンズシャッターは自動的に開きます。STANDBY/ON ボタンを押さずに電源を切ったり停電などで電源が切れたりすると、レンズシャッターはそのままの状態になりますが、電源を入れると、レンズシャッターは自動的に開きます。

2画面で表示する

リモコンのPbyP ボタンを押すたびに、2画面表示を開始/終了します。

2画面表示の開始から数秒の間、各々の画面の下には表示信号の情報（信号情報）が、また2つの画面のうち一方には主画面を示す黄色いフレーム（主画面フレーム）が表示されます。これらの表示は、一定時間なにも操作を行わないと自動的に消えますが、MENU ボタンを押したり、表示信号を切り換えたりすると、すぐに消えます。

2画面表示では、一部を除き、多くの機能を通常表示の場合と同様にご使用になれます。またPOSITION ボタンによる画面位置の調節（[図1-32](#)）やメニュー操作は、2つの画面の各々で個別にご使用になれます。

■表示信号を切り換える

（ \checkmark ：対応／－：非対応）

2つの画面は各々に表示信号を切り換えることができます。ただし、同時に表示できる信号の組み合わせは右表の通りです。

- 2画面表示中に、MY SOURCE ボタン、COMPUTER ボタンなどの信号切り換えボタンを押してください。
信号情報、主画面フレームとともに信号切り換えメニューが表示されます。
- 信号切り換えメニューの表示中に、 \blacktriangleleft / \blacktriangleright ボタンで画面を指定し、 \blacktriangleup / \blacktriangledown ボタンで表示したい信号の入力端子を指定してください。
表示信号が切り換ります。

副画面 主画面	COMPUTER IN1	COMPUTER IN2	BNC	HDMI	DVI-D	COMPONENT (COMPONENT 選択時)	COMPONENT (SCART RGB 選択時)	S-VIDEO	VIDEO 1	VIDEO 2
COMPUTER IN1	－	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark
COMPUTER IN2	\checkmark	－	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark
BNC	\checkmark	\checkmark	－	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark
HDMI	\checkmark	\checkmark	\checkmark	－	－	\checkmark	－	－	－	－
DVI-D	\checkmark	\checkmark	\checkmark	－	－	\checkmark	－	－	－	－
COMPONENT	\checkmark	\checkmark	\checkmark	－	－	－	－	－	－	－
S-VIDEO	\checkmark	\checkmark	\checkmark	－	－	\checkmark	－	－	－	－
VIDEO 1	\checkmark	\checkmark	\checkmark	－	－	\checkmark	－	－	－	－
VIDEO 2	\checkmark	\checkmark	\checkmark	－	－	\checkmark	－	－	－	－

■メニュー機能を使う

メニュー機能は主画面でご使用になれます。

- 主画面を確認するには、2画面表示中に、 \blacktriangleup / \blacktriangledown / \blacktriangleleft / \blacktriangleright ボタンを押して主画面フレームを表示してください。主画面フレームの表示中に \blacktriangleleft / \blacktriangleright ボタンを操作すると、主画面を切り換えることもできます。
- MENU ボタンを押すと、簡単メニューまたは詳細メニューが、副画面上に表示されます。
通常表示の場合と同様に、メニューを操作してください。（[図2-2](#)）

お知らせ

- COMPONENT (Y, Cb/Pb, Cr/Pr) 端子は、コンポーネントビデオ信号の入力と、SCART RGB 信号の入力の2つの機能を選択してご使用いただけます。（[図2-12](#)「COMPONENT」）
- 「その他」メニューの「マイボタン」（[図2-24](#)）でMY BUTTONに「2画面左右入れ換え」機能を設定すると、2画面表示中にそのボタンを押すだけで、左右画面の表示信号を入れ換えることができます。
- 2画面表示では、拡大機能（[図1-33](#)）はご使用になれません。
- メニュー操作で選択できない機能はご使用になれません。2画面表示では、「映像」メニューや、「簡単メニュー」の「映像モード」、「入力」メニューの「プログレッシブ」などがご使用になれません。

点検とお手入れ

ランプユニットを交換する

ランプは寿命部品です。使用時間の経過に伴い、徐々に映像が暗くなったり、色合いが悪くなったりすることがあります。また、ランプの寿命は個体差や使用条件によって大きなばらつきがあり、ご使用開始から比較的短時間で破裂したり、不点灯となったりすることがあります。あらかじめ交換用のランプユニットをご用意いただき、お早めに交換いただくことをお勧めします。

ランプユニットの取扱いについては、あらかじめ次ページをよくお読みください。

■ランプユニットを準備する

交換用のランプユニットは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

型名 CP-X10000J 001 (DT01001)

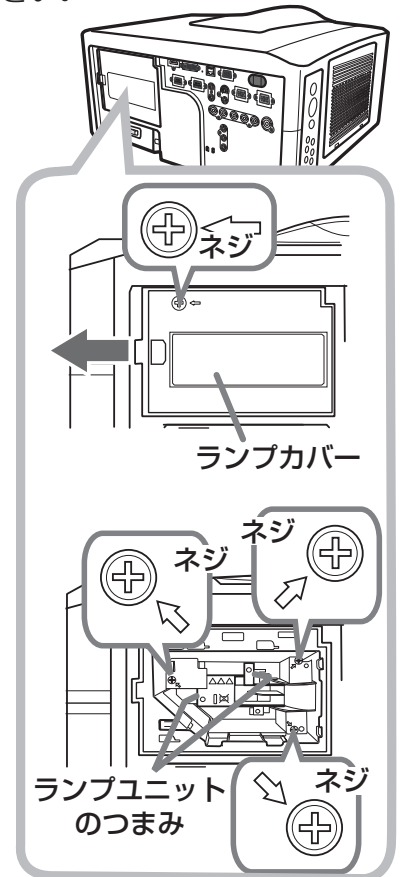
■ランプユニットを交換する

次のような場合は、ランプユニットの交換を必ず販売店へご依頼ください。

- ・ランプが破裂した、あるいは破裂したおそれがある場合
- ・プロジェクターが天井や高所に設置されている場合
- ・その他、ランプユニットの交換作業が危険となる可能性がある場合

これ以外の場合は、以下の手順に従って交換してください。

1. 本機の電源を切って (1-25) 電源プラグを抜き、45 分程度放置して冷ましてください。
2. 右図を参考に、ランプカバーのネジ (そばに矢印が表示されています) を緩め、ランプカバーをプロジェクターから外してください。
3. 右図を参考に、ランプユニットを固定している 3 か所のネジ (そばに矢印が表示されています) を緩めてください。次に、ランプユニットのつまみを持ち、まっすぐ引き出します。
4. 新しいランプユニットのつまみを持ち、もとのように入れてください。次に、3 か所のネジ (そばに矢印が表示されています) を締めて固定してください。
5. ランプカバーをもとのようにプロジェクターに取り付けてください。ネジは必ず締めて固定してください。
6. 本機の電源を入れ (1-20、24)、「その他」メニューの「ランプ時間」 (2-23) をメニュー表示に従って操作し、ランプ時間を初期化してください。



お守りください

- ランプユニットを取り出したり取り付けたりする際、本機の内部に触れないでください。故障、映像不良の原因となることがあります。
- ランプ時間の初期化は正しく行ってください。ランプユニットを交換したら必ずランプ時間を初期化してください。ランプユニットを交換せずにランプ時間を初期化しないでください。ランプ時間は、初期または前回ランプ時間を初期化した時から現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。ランプ時間の初期化を正しく行わないと実際のランプユニットの使用時間とランプ時間の値が一致しません。



警告



感電注意



高温注意



破裂注意

本機のランプは、ガラス製で内部圧力の高い水銀ランプです

このランプは、衝撃や傷、高温状態での取扱い、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になって寿命が尽きたりする特性があります。寿命の長さはランプによって大きな差があり、使用後まもなく破裂したり不点灯になったりすることもあります。

ランプが破裂すると、本機の内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部の水銀を含むガスが本機の通風口から出たりすることがあります。ご使用のまえに、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。

●ランプが破裂したら、使用を中止して電源プラグを抜き、販売店に連絡する

飛び散ったガラス片によって、けがや本機の内部を傷つける原因となることがあります。

- ▶ランプが破裂した、または破裂したおそれのある場合は、必ず電源を切って電源プラグを抜き、ランプカバーを開けずに販売店へご連絡ください。
- ▶ランプの破裂によって排出されるガスは水銀を含むことがあります。排気を十分に、目や鼻、口から入らないようご注意ください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

●ランプユニットの交換は、電源プラグを抜き、十分冷ましてから行う

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。また、高温状態でランプユニットを取り扱っていると、やけどやランプが破裂する原因となります。

- ▶ランプユニットの交換は、初めに本機の電源を切り、電源プラグを抜いて放置し、ランプユニットや本機内部を十分冷ましてください。

●天井設置や高所設置では、ランプユニットの交換は販売店に依頼する

万一、ランプが破裂していると、破片が落下して危険です。また高所での作業には転落などの危険が伴います。

- ▶ランプが破裂していない場合でも、ランプユニットの交換は必ず販売店にご依頼ください。ランプカバーは開けないでください。

●ランプユニットは指定品を使用する

ランプユニットを交換するときは、本書に指定された型名とご使用になるランプユニットの型名が一致することを事前にご確認ください。

●ランプユニットやランプカバーは正しく取り付け使用する

正しく取り付けられていなかったりネジがゆるんでいたりすると、ランプカバーやランプユニットが外れて、けがや故障の原因となることがあります。

- ▶ランプユニットを交換した後は、固定用のネジがしっかり締められ、ランプカバーがきちんと閉じられていることを確認してください。

●ランプユニットは取扱いに注意し、正しく使用する

ランプは衝撃を加えたり傷つけたり、寿命を超えてご使用になったりすると、破裂したり、不点灯となることがあります。ランプユニットは丁寧に取扱ってください。

- ▶古いランプユニット(中古品)は破裂し易いのでご使用にならないでください。
- ▶映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりしたら、お早めに交換してください。

●使用済みのランプユニットは正しく廃棄する

本機は水銀ランプを使用しています。廃棄は、廃棄を行う地域の規則(条例など)に従って正しく行ってください。



フィルターユニットを交換する

本機のフィルターユニットはお掃除することなく長くご使用いただけますが、本機の正常な動作を維持するため、交換用フィルターユニットのご用意と定期的な交換をお願いします。

■フィルターユニットを準備する

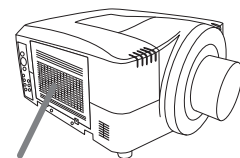
交換用のフィルターユニットは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

型名 CP-X10000J 002 (MU06351)

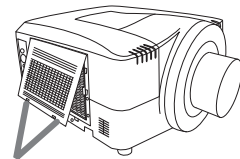
■フィルターユニットを交換する

以下の手順に従って交換してください。

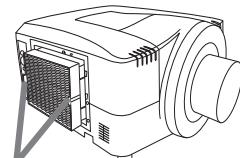
1. 本機の電源を切って (📖1-25) 電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
2. 掃除機を使って、フィルターカバーとその周辺のほこりをお掃除してください。
3. フィルターカバーのつまみを持ち上げるようにして、外してください。
4. フィルターユニットのつまみを持って水平に引き出してください。
5. 掃除機を使って、本機の吸気口(フィルターユニットが取り付けられていた奥)をお掃除してください。
6. 新しいフィルターユニットを、前のフィルターユニットと同様に取り付けてください。
7. フィルターカバーをもとのように取り付けてください。
8. 本機の電源を入れ (📖1-20、24)、「簡単メニュー」の「フィルター時間」(📖2-23)をメニュー表示に従って操作し、フィルター時間を初期化してください。



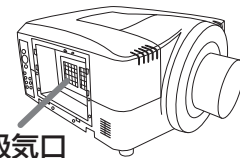
フィルターカバー



フィルターカバー
のつまみ



フィルターユニット
のつまみ



吸気口

お知らせ

●本機の「その他」メニューの「フィルター掃除通知」(📖2-26)機能をご使用になると、交換時期をお知らせするメッセージを表示することができます。

警告



電源プラグを
コンセント
から抜け

●フィルターユニットを交換する前に、電源プラグを抜き、十分冷ます

フィルターユニットを交換する前に、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機内部を十分に冷ましてください。電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因になります。また、高温状態での取扱いはやけどの原因となります。



●フィルターユニットは正しく使用し、定期的に交換する

フィルターユニットがほこりや汚れで詰まったり、正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて本機の電源が自動的に切れたり、火災、故障の原因となることがあります。

- ▶ フィルターカバーやフィルターユニットを外した状態では使用しないでください。
- ▶ フィルターユニットは必ず指定のフィルターユニットを正しくご使用ください。

お守りください

- フィルター時間の初期化は正しく行ってください。フィルターユニットを交換したら必ずフィルター時間を初期化してください。フィルターユニットを交換せずにフィルター時間を初期化しないでください。フィルター時間は、初期または前回フィルター時間を初期化した時から現在までの本機の稼働時間を1時間単位で表示します。フィルター時間の初期化を正しく行わないと実際のフィルターユニットの使用時間とフィルター時間の値が一致しません。

内蔵時計用電池の交換

本機は電池式内蔵時計を備えています。電池が消耗すると、時計がずれたり止まったりすることがあります。この場合は、販売店に交換を依頼してください。

本機に使用する電池は市販されておりますが、販売店でもご用意することができます。販売店からのご購入を希望される場合は、下記のメーカーおよび型名を販売店に指定してご購入ください。

内蔵時計用電池： 日立マクセル製、型名 CR2032 または CR2032H

警告

●電池の取扱いに注意する

取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

- ▶ 交換は必ず販売店へご依頼ください。
- ▶ 交換するときは、新しい（未使用の）日立マクセル製、型名 CR2032 または CR2032H のボタン型電池を使用してください。
- ▶ 傷のある電池は使用しないでください。
- ▶ 火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
- ▶ 子供やペットが届かないところに保管してください。
- ▶ 衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。
- ▶ 充電、短絡、分解、加工、はんだづけなどしないでください。
- ▶ 電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

その他のお手入れ

内部の点検とお手入れ

内部にホコリがたまった状態で本機を使用し続けると、火災や感電、故障や映像不良の原因となることがあります。安全なご使用のため、1年に1度を目安に、販売店に内部の清掃・点検をご依頼ください。内部のお手入れは湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。お手入れの費用などについては販売店にご相談ください。

レンズのお手入れ

レンズが傷ついたり、くもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となります。

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。
2. 本機が十分に冷えていることを確認し、市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）でレンズを軽く拭いてください。レンズを傷つけないように、また、素手で触らないようにご注意ください。

その他のお手入れ (つづき)

キャビネットやリモコンのお手入れ

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。
2. 本機が十分に冷えていることを確認し、ガーゼなどのやわらかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、やわらかい布を、水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞り、軽く拭いた後、別の乾いたやわらかい布で軽く拭いて仕上げてください。

警告



●お手入れの前に、電源プラグを抜き、十分冷ます

お手入れのまえに、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機を十分に冷ましてください。使用中や使用後しばらくは、レンズやその周辺は高温になります。電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。また、高温状態での取扱いはやけどの原因となります。



●ランプ点灯中はレンズをのぞかない

ランプの点灯中はレンズから強い光が出ます。視力障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

注意

●本書に指定されているもの以外の洗剤、薬品は使用しない

表面が変質したり、塗装がはがれることがあります。また、水、水で薄めた中性洗剤はキャビネットとリモコンのお手入れ以外には使用しないでください。

▶スプレーはご使用にならないでください。ガスや霧が本機の内部に入って、故障などの原因となることがあります。

▶化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。



●本機内部に水や洗剤を入れない

万一、水や洗剤が入ってしまったら、販売店にご連絡ください。

●本機（キャビネット、レンズ）およびリモコンを傷つけない

硬いものを当てたり、こすったりして傷つけないようにご注意ください。破損や故障、映像不良の原因となることがあります。



●内部の点検とお手入れは、販売店に依頼する

お客様による内部のお手入れは危険ですので、絶対におやめください。

取扱説明書

液晶プロジェクター

形名 CP-X10000J
CP-WX11000J
CP-SX12000J

【応用編】

この応用編では、詳細な設定や調節を行うメニューおよびその他技術情報について説明します。



ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

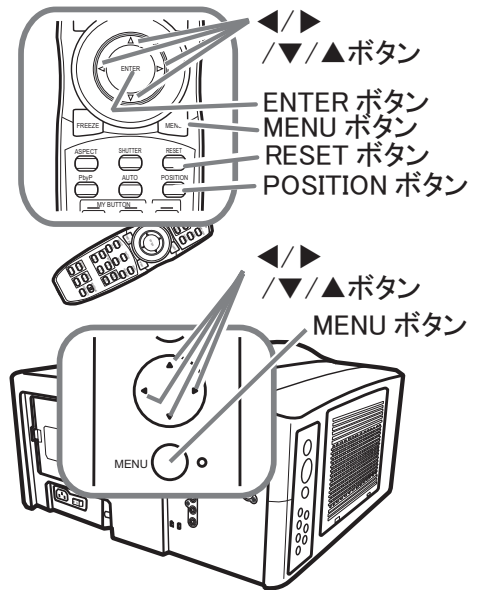
設定・調節	2 - 2
メニュー機能の使い方	2 - 2
簡単メニュー	2 - 4
映像メニュー	2 - 6
表示メニュー	2 - 9
入力メニュー	2 - 11
設置メニュー	2 - 15
スクリーンメニュー	2 - 17
その他メニュー	2 - 21
ネットワークメニュー	2 - 31
セキュリティメニュー	2 - 36

設定・調節

メニュー機能の使いかた

詳細な設定や複雑な調節には、メニュー機能をご使用ください。

本機には、よく使われる機能をまとめた「簡単メニュー」と、「詳細メニュー」があります。詳細メニューは、「映像」「表示」「入力」「設置」「スクリーン」「その他」「ネットワーク」「セキュリティ」の8つの機能別メニューに分かれています。どのメニューも基本操作は同様です。メニュー機能の操作には、主に右図のボタンを使用します。



■メニューを開始／選択／終了する

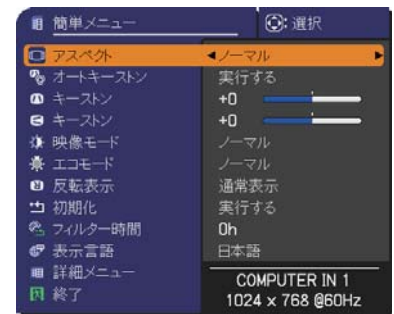
メニューを表示するには、MENU ボタンを押してください。

簡単メニューまたは詳細メニューが表示されます。

簡単メニューを詳細メニューに切り換えるには、カーソルボタン▲/▼で「詳細メニュー」を選び、▶ボタンを押してください。

詳細メニューを簡単メニューに切り換えるには、メニューの左欄から▲/▼ボタンで「簡単メニュー」を選び、▶ボタンを押してください。

メニューを終了するには、MENU ボタンを押すか、または各メニューで「終了」を選んで▶ボタンを押してください。



簡単メニュー

■メニューを操作する

「簡単メニュー」では、カーソルボタン▲/▼で機能項目を選び、◀/▶ボタンで操作してください。

調節または選択する機能では、◀/▶ボタンで調節または選択することができます。

実行する機能では、▶ボタンを押すと、実行のためのダイアログが表示されます。ダイアログに従って、▶ボタンを押すと機能を実行することができます。◀ボタンを押すと機能を実行せず、簡単メニューに戻ることができます。

「詳細メニュー」の左欄でカーソルボタン▲/▼を操作すると、選ばれた機能別メニューの内容（操作できる機能項目）が右欄に表示されます。操作したい項目がある機能別メニューを選び、▶ボタンを押してください。


機能別メニューでは、カーソルボタン▲/▼で機能項目を選び、▶ボタンを押すと、調節、選択または実行のためのダイアログが表示されます。基本的には◀/▶/▲/▼ボタンで操作できますが、メニューやダイアログによっては、その他のボタンを使用する場合があります。ダイアログの表示に従って操作してください。



詳細メニュー

■メニューの表示位置を調節する

メニューが表示されているとき、POSITION ボタンを押すと、カーソルボタン◀ / ▶ / ▲ / ▼でメニューの表示位置を調節することができます。

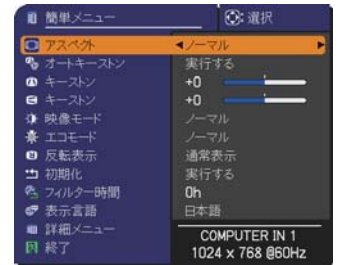
メニューの表示位置は「スクリーン」メニューの「メニュー位置」を使って調節することもできます。
(2-17)

お知らせ

- 本機の電源を入れてから最初に MENU ボタンを押したときは、簡単メニューが表示されます。メニューを一度終了し、再び表示した場合は、前回表示されていた方のメニューを表示します。
- メニューやダイアログは、なにも操作しない状態がしばらく継続すると自動的に終了します。オートアジャスト機能を実行したとき、表示信号が切り換ったときなどにも、自動的に終了します。
- メニューや項目を選ぶときや、実行のためのダイアログ表示をするとき、および実行するとき、▶ボタンの代わりに ENTER ボタンを押しても同様に操作できます。
- 操作の途中で RESET ボタンを押すと操作中の項目を、また詳細メニューの左蘭でメニュー名を選んで RESET ボタンを押すと選択したメニューの操作項目を一括で、初期化することができます。RESET ボタンを押すと確認ダイアログが表示されますので、初期化するときは▶ボタンで「OK」を選んでください。
- 本機のメニュー機能は、表示信号の種類や受信状態によっては、正常に機能しなかったり、線やちらつきなどの画像ノイズを発生したり、映像品質が劣化したりする場合があります。あらかじめご了承ください。

簡単メニュー

「メニュー機能の使い方」(2-2, 3)に従い、簡単メニューを表示してください。
簡単メニューでは、下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容																																
アスペクト (画面の縦横比)	<p>カーソルボタン◀/▶で、アスペクト(画面の縦横比)を選択できます。「表示」メニューの「アスペクト」(2-9)をご参照ください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●選択できるアスペクトは、受信中の映像信号によって異なります。 																																
<input type="checkbox"/> オートキーストン	<p>カーソルボタン▶を押すと、垂直キーストン(⏏方向の台形歪み)補正を自動調整します。「設置」メニューの「<input type="checkbox"/> オートキーストン」(2-15)をご参照ください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目は、「セキュリティ」メニュー(2-36)の「状態監視」(2-39)を「有効」に設定しているときは選択できません。 																																
<input type="checkbox"/> キーストン	<p>カーソルボタン◀/▶で、垂直キーストンの補正量を調節できます。「設置」メニューの「<input type="checkbox"/> キーストン」(2-15)をご参照ください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目は、「セキュリティ」メニューの「状態監視」(2-39)を「有効」に設定しているときは選択できません。 																																
<input type="checkbox"/> キーストン	<p>カーソルボタン◀/▶で、水平キーストン(⏏方向の台形歪み)の補正量を調節できます。「設置」メニューの「<input type="checkbox"/> キーストン」(2-15)をご参照ください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目は、「セキュリティ」メニューの「状態監視」(2-39)を「有効」に設定しているときは選択できません。 																																
映像モード	<p>カーソルボタン◀/▶で、映像モードを選択できます。</p> <p> <input type="checkbox"/> ノーマル ↔ <input type="checkbox"/> シネマ ↔ <input type="checkbox"/> ダイナミック ↔ <input type="checkbox"/> 黒板(黒) ← <input type="checkbox"/> デイタイム ↔ <input type="checkbox"/> ホワイトボード ↔ <input type="checkbox"/> 黒板(緑) ← </p> <p>映像モードは、ガンマモードと色温度モードの組み合わせです。下表をご参考に、映像に合わせてお選びください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>映像モード</th> <th>ガンマ</th> <th>色温度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ノーマル</td> <td>デフォルト-1</td> <td>中</td> <td>標準的な画質で、幅広くお楽しみ頂けます。</td> </tr> <tr> <td>シネマ</td> <td>デフォルト-2</td> <td>低</td> <td>フィルムライクな階調表現を重視した映像、映画コンテンツをご覧になる場合に適切です。</td> </tr> <tr> <td>ダイナミック</td> <td>デフォルト-3</td> <td>高</td> <td>明るさを重視した映像です。</td> </tr> <tr> <td>黒板(黒)</td> <td>デフォルト-4</td> <td>ハイブライト-1</td> <td>黒板(黒)に投映された映像や文字を、通常のスクリーンに投映した色に近づけます。</td> </tr> <tr> <td>黒板(緑)</td> <td>デフォルト-4</td> <td>ハイブライト-2</td> <td>黒板(緑)に投映された映像や文字を、通常のスクリーンに投映した色に近づけます。</td> </tr> <tr> <td>ホワイトボード</td> <td>デフォルト-5</td> <td>中</td> <td>スクリーンからの光の反射を低減するため、明るさを抑えた映像です。</td> </tr> <tr> <td>デイタイム</td> <td>デフォルト-6</td> <td>ハイブライト-3</td> <td>明るい室内でのご利用に適しています。</td> </tr> </tbody> </table> <p>「映像」メニューの「ガンマ」および「色温度」(2-6)をご参照ください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ガンマモードと色温度モードの組み合わせが上記の映像モードと異なる場合、メニュー上の表示は「カスタム」と表示されます。 ●選択した瞬間に、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。 	映像モード	ガンマ	色温度	内容	ノーマル	デフォルト-1	中	標準的な画質で、幅広くお楽しみ頂けます。	シネマ	デフォルト-2	低	フィルムライクな階調表現を重視した映像、映画コンテンツをご覧になる場合に適切です。	ダイナミック	デフォルト-3	高	明るさを重視した映像です。	黒板(黒)	デフォルト-4	ハイブライト-1	黒板(黒)に投映された映像や文字を、通常のスクリーンに投映した色に近づけます。	黒板(緑)	デフォルト-4	ハイブライト-2	黒板(緑)に投映された映像や文字を、通常のスクリーンに投映した色に近づけます。	ホワイトボード	デフォルト-5	中	スクリーンからの光の反射を低減するため、明るさを抑えた映像です。	デイタイム	デフォルト-6	ハイブライト-3	明るい室内でのご利用に適しています。
映像モード	ガンマ	色温度	内容																														
ノーマル	デフォルト-1	中	標準的な画質で、幅広くお楽しみ頂けます。																														
シネマ	デフォルト-2	低	フィルムライクな階調表現を重視した映像、映画コンテンツをご覧になる場合に適切です。																														
ダイナミック	デフォルト-3	高	明るさを重視した映像です。																														
黒板(黒)	デフォルト-4	ハイブライト-1	黒板(黒)に投映された映像や文字を、通常のスクリーンに投映した色に近づけます。																														
黒板(緑)	デフォルト-4	ハイブライト-2	黒板(緑)に投映された映像や文字を、通常のスクリーンに投映した色に近づけます。																														
ホワイトボード	デフォルト-5	中	スクリーンからの光の反射を低減するため、明るさを抑えた映像です。																														
デイタイム	デフォルト-6	ハイブライト-3	明るい室内でのご利用に適しています。																														

設定項目	操作内容
エコモード	カーソルボタン◀ / ▶で、ノーマル / エコを選択できます。 「設置」メニューの「エコモード」(図2-16)をご参照ください。
反転表示	カーソルボタン◀ / ▶で、映像を上下左右に反転させることができます。 「設置」メニューの「反転表示」(図2-16)をご参照ください。 お知らせ ●この項目は、「セキュリティ」メニューの一「状態監視」(図2-39)を「有効」に設定しているときは選択できません。
初期化	「簡単メニュー」の設定を一括して初期化できます。 カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、確認のためのダイアログが表示されます。 初期化しない → OK 初期化を実行するときは、カーソルボタン▶を押して「OK」を選択してください。 お知らせ ●「フィルター時間」と「表示言語」は初期化されません。
フィルター時間	フィルター時間を初期化します。 メニューに表示された数字は、エアフィルターの使用時間です。 フィルター時間の初期化については、「その他」メニューの「フィルター時間」(図2-23)をご参照ください。
表示言語	カーソルボタン◀ / ▶で、メニューなどのオンスクリーン表示の表示言語を選択できます。 「スクリーン」メニューの「表示言語」(図2-17)をご参照ください。
詳細メニュー	この機能は、「詳細メニュー」を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押した時点で実行されます。 カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、「簡単メニュー」を詳細メニュー（「映像」、「表示」、「入力」、「設置」、「スクリーン」、「その他」、「ネットワーク」、「セキュリティ」メニュー）に切り替えられます。 詳細メニューには、より多彩な機能を備えております。お好みに合わせた調節や設定にして、ご活用ください。(図2-6 ~ 42)
終了	カーソルボタン◀（または ENTER ボタン）で OSD メニューを終了できます。

表示メニュー

「メニュー機能の使い方」(2-2, 3)に従い「表示」メニューを表示してください。「表示」メニューでは下表の項目を操作することができます。

カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶(またはENTERボタン)を押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
アスペクト (画面の縦横比)	<p>カーソルボタン▲/▼で、アスペクト(画面の縦横比)を選択できます。</p> <p>コンピュータ信号を受信している場合 ノーマル ↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10 ←————→ スモール ↔ リアル ↔ フル ↑—————↑</p> <p>HDMI 信号、DVI-D 信号を受信している場合 ノーマル ↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10 ↔ 14:9 ↔ スモール ↔ リアル ↔ フル ↑—————↑</p> <p>ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を受信している場合 → 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10 ↔ 14:9 ↔ スモール ↔ リアル ↔ フル ↑</p> <p>映像信号が入力されていない、または正常な入力信号を検出できない場合 4:3 (固定、CP-X10000、CP-SX12000) / フル (固定、CP-WX11000)</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機種によっては、一部のアスペクトを選択できません。「16:10」/「フル」は、CP-WX11000のみ、「リアル」はCP-WX11000、CP-SX12000のみ、「スモール」はCP-X10000、CP-SX12000のみ選択できます。 ●「ノーマル」は入力信号そのままの縦横比です。
オーバースキャン	<p>カーソルボタン◀/▶で、オーバースキャン(表示率)を調節できます。 小さく(画像は大きくなります) ↔ 大きく(画像は小さくなります)</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンピュータ信号を受信中には選択できません。HDMI 信号、DVI-D 信号は「入力」メニューの「デジタルフォーマット」(2-11)を「ビデオ」にした場合に有効となります。 ●表示率を大きくしすぎると、画面のふちにノイズが現れる場合があります。この場合には表示率を小さくしてください。
垂直位置	<p>カーソルボタン◀/▶で、画面の位置を上下に調節できます。 下へ ↔ 上へ</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●位置を動かすすぎると、画像のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、RESET ボタンを押して「垂直位置」を初期設定に戻してください。 ●ビデオ信号、S-ビデオ信号、およびコンポーネントビデオ信号のうち 480i@60、576i@50 を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(上記)の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合、調節できません。 ●HDMI 信号、DVI-D 信号を受信しているときは調節できません。

表示メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
水平位置	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を左右に調節できます。 右へ ↔ 左へ</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●位置を動かし過ぎると画面のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、RESET ボタンを押して「水平位置」を初期設定に戻してください。 ●ビデオ信号、S-ビデオ信号、およびコンポーネントビデオ信号のうち 480i@60、576i@50 を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(☞2-9) の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合、調節できません。 ●HDMI 信号、DVI-D 信号を受信しているときは調節できません。
クロック位相	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、クロック位相を調節し、画面のちらつきを低減できます。 右へ（-側） ↔ 左へ（+側）</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号（480i@60、576i@50、SCART RGB 信号を除く）を受信しているときのみ、調節が可能です。
水平サイズ	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の横幅を調節できます。 小さく ↔ 大きく</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大きくしすぎたり小さくしすぎたりすると、映像が正しく表示されない場合があります。このような場合には、RESET ボタンを押して「水平サイズ」を初期設定に戻してください。 ●コンピュータ信号を受信しているときのみ調節が可能です。
オートアジャスト実行	<p>この機能は「表示」メニュー上で「オートアジャスト実行」を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押した時点で実行されます。カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、画面の自動調整を実行できます。調整される項目は、受信中の信号により異なります。</p> <p>■コンピュータ信号を受信している場合 「垂直位置」(☞2-9)、「水平位置」(☞上記)、「クロック位相」(☞上記) が自動的に調整されます。また、「水平サイズ」(☞上記) は初期設定に戻ります。コンピュータ信号を受信している場合は、「入力」メニュー (☞2-11) の「解像度」(☞2-14) が「オート」に設定され、入力信号に応じた解像度が自動的に設定されます。パソコンで、アプリケーションのウィンドウを最大表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。</p> <p>■ビデオ信号、S-ビデオ信号を受信している場合 「垂直位置」、「水平位置」が初期設定に戻ります。また、「入力」メニューの「ビデオフォーマット」(☞2-12) が「オート」に設定されていれば、受信している信号に最適な信号方式が自動的に選択されます。</p> <p>■コンポーネントビデオ信号を受信している場合 「垂直位置」、「水平位置」、「クロック位相」が初期設定に戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「その他」メニューの「特別な設定」—「オートアジャスト」(☞2-25) で、「詳細」または「無効」が設定されていると、自動調整される項目が変わります。 ●自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。 ●ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、画面の端に線などが映る場合があります。お好みで、画面の「垂直位置」、「水平位置」、「オーバースキャン」を調節してください。

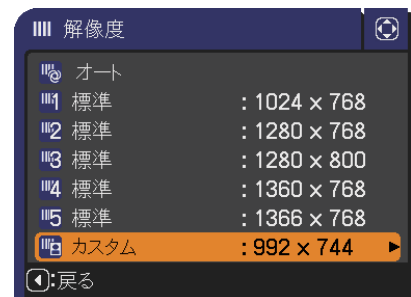
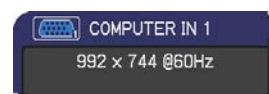
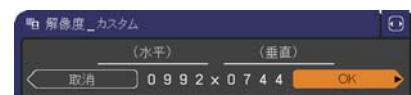
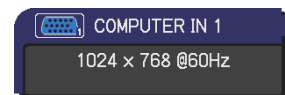
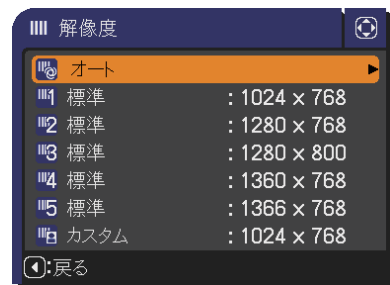
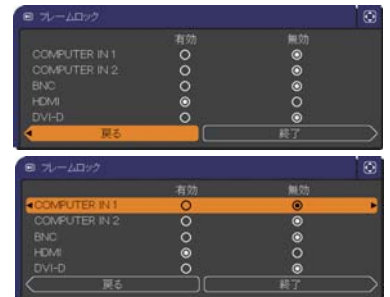
入力メニュー

「メニュー機能の使い方」(2-2, 3) に従い「入力」メニューを表示してください。「入力」メニューでは、下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
プログレッシブ	<p>カーソルボタン▲/▼で、プログレッシブモードを選択できます。</p> <p>TV ↔ フィルム ↔ オフ</p> <p>↑ ↑</p> <p>プログレッシブモードは、インターレース信号の補間方法を決めるためのモードです。「TV」モード、「フィルム」モードを選択すると、より鮮明な映像になります。映像をご覧になりながら設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「TV」モード：通常のテレビ番組や家庭用ビデオカメラで撮影したビデオ、DVD などをご覧になるのに向いています。 ■ 「フィルム」モード：映画番組や映画のビデオ、DVD など、フィルムで撮影されたものをご覧になるのに向いています。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この機能は、ビデオ信号、S-ビデオ信号、およびコンポーネントビデオ信号と HDMI 信号、DVI-D 信号のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60 を受信しているときに動作します。 ● 「TV」、「フィルム」を選択すると、物体がすばやく移動するシーンで線がギザギザになるなど、表示に不具合があることがあります。このような場合には「オフ」を選択してください。
VIDEO NR	<p>カーソルボタン▲/▼で、映像ノイズの低減レベルを選択できます。</p> <p>強 ↔ 中 ↔ 弱</p> <p>↑ ↑</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この機能は、ビデオ信号、S-ビデオ信号、およびコンポーネントビデオ信号と HDMI 信号、DVI-D 信号のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60 を受信している場合に動作します。 ●この機能により画質が劣化することがあります。その場合は「中」、「弱」を選択してください。
三次元 YC 分離	<p>カーソルボタン▲/▼で、ビデオ信号の 3 次元 YC 分離の設定を選択できます。</p> <p>静止画 ↔ 映画 ↔ オフ</p> <p>↑ ↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「静止画」モード：スライドのように、動きの少ない映像に向いています。 ■ 「映画」モード：映画のように動きの多い映像に向いています。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この機能は、NTSC または PAL 方式のビデオ信号を受信している場合に動作します。

設定項目	操作内容
<p>フレームロック</p>	<p>COMPUTER IN1 / 2、BNC 端子、HDMI 端子、DVI-D 端子から入力される映像信号の、フレームロック機能の有効 / 無効が設定できます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する入力端子を選択します。 COMPUTER IN1 ↔ COMPUTER IN2 ↔ BNC ↔ HDMI ↔ DVI-D</p> <p>(2) カーソルボタン◀ / ▶で、フレームロック機能の有効 / 無効を選択してください。 有効 ↔ 無効</p> <p>フレームロック機能は、動画をよりスムーズに表示する為の機能です。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この機能は、垂直周波数が 50 ~ 60Hz の信号を受信しているときのみ有効です。 ●この機能により画質が劣化することがあります。この場合には「無効」にしてください。
<p>解像度</p>	<p>受信中の、コンピュータ信号の解像度を設定できます。カーソルボタン▲ / ▼で設定したい解像度を選択してください。</p> <p>■「オート」モード 入力信号に応じた解像度が自動的に設定されます。</p> <p>■「標準」モード カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、設定された解像度に合わせて「垂直位置」、「水平位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。</p> <p>■「カスタム」モード</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で「カスタムモード」を設定すると、「解像度カスタム設定」ダイアログが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼ / ▶ / ◀で、「水平」と「垂直」の解像度を入力してください。</p> <p>(2) 入力が終わりましたら、カーソルを「OK」に置き、▶ボタンを押してください。「解像度設定を変更しますか？」というメッセージが表示されます。変更した設定を保存するには、▶ボタンを押してください。設定された解像度に合わせて「垂直位置」、「水平位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。「カスタム」設定を保存せずに以前の解像度に戻る場合は、カーソルを「取消」に置き、◀ボタンを押してください。設定は変更されず、「解像度」メニューに戻ります。</p> <p>「入力_インフォメーション」ダイアログが数秒間表示された後、画面は解像度メニューに戻り変更後の解像度になります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●すべての解像度が保証されているわけではありません、信号によっては正しく動作しない場合があります。



設置メニュー

「メニュー機能の使い方」(2-2, 3) に従い、「設置」メニューを表示してください。「設置」メニューでは、下表の項目を操作することができます。

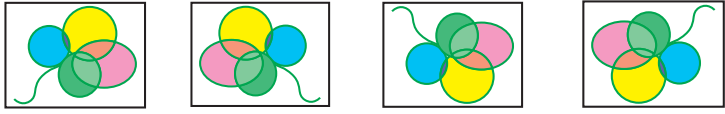
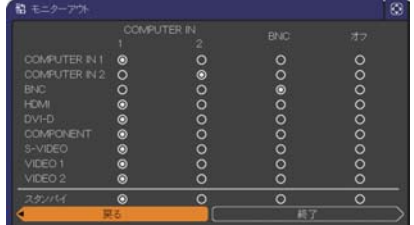
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
<p>☒ オートキーストン</p>	<p>この機能は、「☒ オートキーストン」を選択し、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押した時点で実行されます。</p> <p>カーソルボタン▶ を押すと、垂直キーストン (☒ 方向の台形歪み) 補正の自動調整が一回動作します。本機の傾きを変えた場合は、再度オートキーストンを実行してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調整範囲は入力信号によって異なります。また、入力信号によっては正しく動作しないことがあります。 ●「反転表示」(2-16) が「通常表示」以外に設定されているときに、スクリーンが傾いていたり、本機を下向きに投映させたりしていると、正しく補正できないことがあります。 ●この機能は、できるだけズーム調節を WIDE (大きく表示) に調節してお使いください。ズーム調節が TELE (小さく表示) 側に調節されていると、過補正となることがあります。 ●本機がほぼ水平 (前後方向に約 ± 3° 以下) に設置されているときには、この機能は動作しません。 ●レンズシフトが上方向一杯でないとき、この機能は正しく動作しないことがあります。但しオプションレンズタイプ USL-801 のみ、レンズシフト中央で正しく動作します。(2-26) ●レンズシフトが水平方向で中央にセットされていないと、この機能は正しく動作しないことがあります。 ●この項目は、「セキュリティ」メニュー — 「状態監視」(2-39) を「有効」に設定しているときは選択できません。
<p>☒ キーストン</p>	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、垂直キーストン (☒ 方向の台形歪み) の補正量を調節できます。</p> <p>画像の下側を小さく ↔ 画像の上側を小さく</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キーストン補正の調節範囲は、入力信号によって異なります。また、入力信号によっては正しく動作しないことがあります。 ●レンズシフトが水平方向で中央にセットされていないと、この機能は正しく動作しないことがあります。 ●この項目は、「セキュリティ」メニューの「状態監視」(2-39) を「有効」に設定しているときは選択できません。

応用編

設置メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
☒キーストン	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、水平キーストン（☒方向の台形歪み）の補正量を調節できます。</p> <p>画像の左側を小さく ↔ 画像の右側を小さく</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キーストン補正の調節範囲は、入力信号によって異なります。また、入力信号によっては正しく動作しないことがあります。 ●この機能は、できるだけズーム調節を WIDE (大きく表示) に設定してお使いください。ズーム調節が TELE (小さく表示) 側に設定されていると、過補正となることがあります。 ●レンズシフトが上方向一杯でないとき、この機能は正しく動作しないことがあります。但しオプションレンズタイプ USL-801 のみ、レンズシフト中央で正しく動作します。 ●この項目は、「セキュリティ」メニューの「状態監視」(☒2-39) を「有効」に設定しているときは選択できません。
エコモード	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、エコモードを切り替えられます。</p> <p>ノーマル ↔ エコ</p> <p>「エコ」モードを選択すると、本機が動作中に発する騒音や画像の明るさを低減することができます。</p>
反転表示	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、画面の反転表示モードを選択できます。</p> <p>通常表示 ↔ 左右反転 ↔ 上下反転 ↔ 上下左右反転</p> <p>↑ ↑</p> <p>例 </p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「セキュリティ」メニュー — 「状態監視」(☒2-39) を「有効」に設定している状態で反転モードを変更し、電源を切ってから再度電源を入れると、状態監視アラームが表示されます。 ●"上下反転"または"上下左右反転"を選択した場合は、操作パネルのカーソルボタンの操作方向もダイアログを閉じたあとに反転されます。
モニターアウト	<p>本機の画面に表示する映像信号と MONITOR OUT 端子から出力される映像信号の組み合わせを設定できます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、表示中の出力信号を設定する、映像信号の入力端子を選択してください。</p> <p>本機がスタンバイ状態であるときに出力される映像信号を設定するには、「スタンバイ」を選択してください。</p> <p>一つ前のメニューに戻るには、「戻る」を選択して◀ ボタンを押してください。</p> <p>(2) カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子からの映像を表示しているときに、MONITOR OUT 端子から出力する、映像信号の入力端子を選択してください。</p> <p>「オフ」を設定すると、その端子からの映像信号を表示中は、MONITOR OUT 端子から映像信号が出力されません。</p> 


スクリーンメニュー

「メニュー機能の使い方」(図2-2, 3)に従い、「スクリーン」メニューを表示してください。スクリーンメニューでは下表の項目を操作することができます。

カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶(またはENTERボタン)を押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

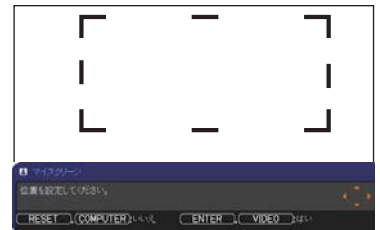






応用編

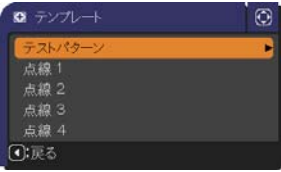

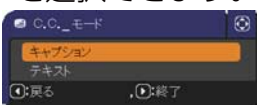
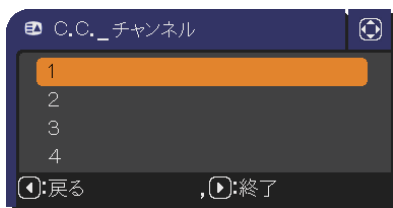
設定項目	操作内容
表示言語	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、メニュー表示言語を選択できます。</p>  <p>選択した表示言語に切り替えるには、ENTER または VIDEO ボタンを押してください。</p>
メニュー位置	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、メニュー位置を調節できます。操作を終了するには、MENU ボタンを押すか、一定時間何も操作しないと終了します。</p>
ブランク	<p>カーソルボタン▲/▼で、ブランク画面を選択できます。</p> <p style="text-align: center;"> マイスクリン ↔ オリジナル ↔ 青 ↔ 白 ↔ 黒 ↑ ↑ </p> <p>「ブランク画面」は BLANK ボタンを押したときに投映される映像です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「マイスクリン」:「マイスクリン」(図2-18)で登録したお好みの映像が表示されます。 ■「オリジナル」:本機の標準映像が表示されます。投映してご確認ください。 ■「青」「白」「黒」:各色の無地画面が表示されます。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリン」または「オリジナル」は数分で無地の画面に変わります。
初期画面	<p>カーソルボタン▲/▼で、初期画面を選択できます。</p> <p style="text-align: center;"> マイスクリン ↔ オリジナル ↔ 表示しない ↑ ↑ </p> <p>「初期画面」は起動時の信号が安定するまでの間や、正常な信号が見つからない(入力信号が無い、入力信号が本機の仕様に合わない、など)ときに投映される映像です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「マイスクリン」:「マイスクリン」(図2-18)で登録したお好みの映像が表示されます。 ■「オリジナル」:本機の標準映像が表示されます。投映してご確認ください。 ■「表示しない」:黒の無地画面が表示されます。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリン」または「オリジナル」は数分でブランク画面に変わります。「ブランク」(図上記)で「マイスクリン」または「オリジナル」が選択されている場合は、黒の無地画面に変わります。 ●この項目は、マイスクリンパスワード機能が有効に設定(図2-37)されているときは選択できません。初期画面は「マイスクリン」に固定されます。 ●「セキュリティ」メニュー - 「マイテキスト表示」(図2-42)が「有効」に設定されていれば、初期画面には、登録したマイテキストも表示されます。

スクリーンメニュー（つづき）


設定項目	操作内容
<p>マイスクリーン</p>	<p>ブランク画面や初期画面用に、お好みの画像（マイスクリーン）を登録することができます。あらかじめ、登録したい映像信号を入力・選択してください。</p> <p>(1) 「マイスクリーン」を選択してダイアログを表示させ、「マイスクリーン」に登録したい映像が画面に表示されるのを待ってENTER ボタンまたはVIDEO ボタンを押してください。画面が静止し、登録する画像の位置を指定する為の枠が表示されます。タイミングを間違えた、他の画面に登録したい、という場合はRESET ボタン（またはCOMPUTER ボタン）を押してください。枠が消えて画面の静止が解除され、ENTER ボタンで映像を静止させる画面に戻ります。</p> <p>(2) カーソルボタン▲/▼/◀/▶で登録する画像の位置を調節してください。（受信中の信号によっては、位置調節ができない場合があります。）位置調節が終わったら、ENTER ボタンまたはVIDEO ボタンを押して画像の登録を開始してください。画像の位置を元に戻したい、または前のダイアログに戻りたい場合はRESET ボタン（またはCOMPUTER ボタン）を押してください。登録には約1分ほどかかります。登録が完了すると、登録した画像と「マイスクリーンの画像登録が完了しました」のメッセージが数秒間表示され、通常画面に戻ります。登録に失敗すると、「画像の取り込みエラーです。もう一度やり直してください。」のメッセージが数秒間表示されて通常画面に戻りますので、最初からやり直してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マイスクリーンで登録した画像は、元の画像より劣化します。 ●この項目は、「マイスクリーンロック」(🔒 下記)が「有効」に設定、もしくはマイスクリーンパスワード機能(🔑 2-37)が有効に設定されているときは選択できません。 ●HDMI 信号、およびDVI-D 信号からは、マイスクリーンを登録できません。
<p>マイスクリーン ロック</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、マイスクリーンの上書き防止機能を設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、「マイスクリーン」の登録操作を禁止し、登録済みの映像を保護することができます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目は、マイスクリーンパスワード機能が有効に設定されているときは選択できません。




設定項目	操作内容
<p>メッセージ</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、メッセージモードを選択できます。</p> <p>表示する ↔ 表示しない</p> <p>「表示しない」を選択すると、以下のメッセージは表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「AUTO 実行中」 ・「信号が入力されていません」 ・「信号は同期範囲外です」 ・「入力信号が不安定です」 ・「検索中…」 ・「信号検出中…」 ・「テンプレート」の変更による表示 ・入力切替による入力信号表示 ・「アスペクト」の変更による縦横比の表示 ・「アクティブアイリス」の変更による表示 ・「マイメモリー」の変更による表示 ・「映像モード」の変更による表示 ・FREEZE ボタンを押したときの「静止」 <p>お知らせ</p> <p>● 「表示しない」に設定したときは、FREEZE ボタンを押しても忘れないように注意してください。</p>
<p>入力チャンネル名</p>	<p>本機の入力端子に名前（チャンネル名）を割り当てることができます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で、チャンネル名を付けたい端子を選択し▶ボタンを押すと、「入力チャンネル名」メニューが表示されます。</p> <p>(2) カーソルボタン▶（またはENTER ボタン）を押すと、「入力チャンネル名」ダイアログが表示されます。以下の手順にしたがって、チャンネル名を登録してください。</p> <p>(3) チャンネル名を入力する 最初の行（下線付き）に現在のチャンネル名が表示されます。名前をまだ指定していないときは、この行は空白です。 カーソルボタン▲/▼/◀/▶で2行目以下の各文字を選択し、ENTER または VIDEO ボタンを押して入力してください。RESET ボタンもしくは「消去」で1文字削除することができます。また、「全消去」で表示されている文字を全て削除することが出来ます。 最大16文字入力できます。</p> <p>(4) チャンネル名を変更／削除する カーソルボタン◀/▶で、チャンネル名が表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタンまたは VIDEO ボタンを押して選択します。選択した文字を、チャンネル名を入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>(5) チャンネル名を保存する チャンネル名の入力・編集が終わったら、一番下の行の「セーブ」にカーソルを合わせ、ENTER または VIDEO ボタンを押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて ENTER または VIDEO ボタンを押します。</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-end;">     </div>





設定項目	操作内容
<p>テンプレート</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、テンプレート画面のパターンを切り替えられます。</p> <p>➡ テストパターン ↔ 点線 1 ←</p> <p>点線 4 ↔ 点線 3 ↔ 点線 2</p> <p>テンプレート画面は、テンプレート機能を割り当てられた MY BUTTON 1-4 (🔑2-24) を押すと表示されます。</p> 
<p>C.C. (Closed Caption)</p>	<p>クローズドキャプション (C.C.) は、ビデオやテレビ番組、ファイルなどの、音声情報やその他の付加的な文字情報を、表示ガイドや字幕などの視覚的な情報として画面に写す機能です。この機能をお使いいただくためには、C.C. に対応した、NTSC 方式のテレビ (ビデオ) 信号や 480i@60 コンポーネントビデオ信号が必要です。C.C. は米国の FCC 規格で規定された機能で、現在 C.C. に対応したテレビ信号は北米地域でのみ放送されています。</p> <p>この項目を選択してカーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、「C.C.」メニューが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選択してください。カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、その項目のダイアログが表示されます。</p> <p>ディスプレイ</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの表示設定を切り替えられます。</p> <p>無効 ↔ 有効</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「無効」：クローズドキャプションは表示されません。 ■ 「有効」：C.C. 機能をオンに設定します。クローズドキャプションを含む信号が入力されると、クローズドキャプションを表示します。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機のメニューを表示中は、クローズドキャプションは表示されません。 ● この機能は、C.C. に対応した、NTSC 方式のビデオ信号、S-ビデオ信号、または 480i@60 コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ動作します。クローズドキャプションを表示してビデオ、テレビ番組などをご覧になるには、「入力」メニューの「ビデオフォーマット」 (🔑2-12) を「オート」もしくは「NTSC」に設定してください。 ● 接続している機器や、信号源 (DVD、チューナー、パソコンなど) によっては、C.C. が正しく機能しないことがあります。その場合は、「無効」に設定してください。 <p>モード</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの表示モードを選択できます。</p> <p>キャプション ↔ テキスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「キャプション」：音声情報の字幕を表示します。 ■ 「テキスト」：ニュースやテレビ番組のガイドなどの、文字情報を表示します。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全てのクローズドキャプションに文字情報が含まれているわけではありません。テキストモードで表示できないものもあります。 <p>チャンネル</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの言語チャンネルを設定できます。</p> <p>1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「1」：チャンネル 1、主言語 ■ 「2」：チャンネル 2 ■ 「3」：チャンネル 3 ■ 「4」：チャンネル 4 <p>使用するチャンネル、言語は、ご覧になるビデオやテレビ番組などによって異なります。</p>   

その他メニュー（つづき）

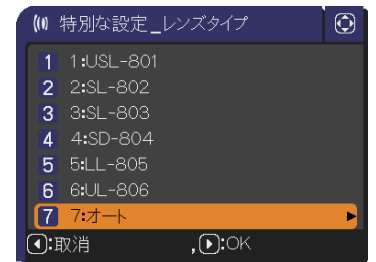
設定項目	操作内容
<p>ダイレクトオン</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、ダイレクトオン機能の有効 / 無効を設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、本機の使用（ランプ点灯中）に、電源スイッチやテーブルタップのスイッチ、ブレーカーをご使用になって電源を切ったあと、再度電源を接続したときに、STANDBY/ON ボタンの操作無しで電源が入り、ランプが自動的に点灯します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● STANDBY/ON ボタンの操作や、"パワー オフ" コマンド / イベント、オートオフ機能などでランプを消灯し、いったん本機をスタンバイ状態にした後で電源を切った場合は、電源を再度接続しても、ランプは自動的に点灯しません。STANDBY/ON ボタンを押すか、"パワーオン" コマンドを送信してください。 ●ダイレクトオン機能で電源が入ってから、入力信号が検出されず、リモコンおよび本機の操作パネルのボタンも押されないまま以下の設定時間が経過すると、オートオフ機能が動作し、自動的に電源が切れます。 <ul style="list-style-type: none"> ・「オートオフ」時間が 1 ～ 99 に設定してある場合は設定した時間 ・「オートオフ」時間が 0 分（オートオフ無効）の場合は 30 分
<p>オートオフ</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、入力信号が検出されなくなってから自動的に電源を切る（ランプを消灯し、冷却動作を始める）までの待ち時間を設定できます。</p> <p>長く（最長 99 分） ↔ 短く（最短 1 分、0 分無効）</p> <p>例</p>  <p>オートオフ機能は 1 ～ 99 分に設定されているときのみ有効です。0 に設定すると無効になります。</p> <p>有効に設定（待ち時間を設定）すると、入力信号が検出されない場合、設定時間経過後に自動的に電源が切れます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リモコンまたは操作パネルのボタンを押すか、または、Get コマンド以外のコマンドを送受信すると、その時点から再び設定時間が経過するまでオートオフ機能は動作しません。 ●手動で電源を切る方法については「電源を切る」（📖 1-25）をお読みください。
<p>シャッタータイマー</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、シャッターが閉じられてから本機が自動的に電源を切るまでの時間を設定します。</p> <p>1h ↔ 3h ↔ 6h</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●再び本機の電源を入れるとシャッターも自動的に開きます。

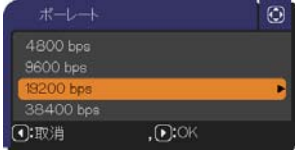
設定項目	操作内容
ランプ時間	<p>メニューに表示されている「ランプ時間」の右側の値は、ランプの使用時間です。初期、または前回ランプ時間を初期化した時からの現在までのランプの点灯時間を1時間単位で表示します。</p> <p>「ランプ時間」を選択してカーソルボタン▶（または ENTER ボタン）、または RESET ボタンを押すと、ランプ時間初期化確認ダイアログが表示されます。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、ランプ時間を初期化することができます。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>ランプ時間を初期化した後は、メニューの「ランプ時間」の右側の値が「0」になっていることを確認してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一度ランプ時間を初期化すると、元には戻せませんので、ご注意ください。 ●ランプを交換したときは必ずランプ時間を初期化してください。ランプの交換に合わせて初期化しないと、実際のランプの使用時間とランプ時間の値が一致しません。 ●ランプ交換の際は必ず「ランプユニットを交換する」(☞1-36)をお読みください。
フィルター時間	<p>メニューに表示されている「フィルター時間」の右側の値は、エアーフィルターの使用時間です。初期、または前回フィルター時間を初期化した時からの現在までの本機の稼働時間を1時間単位で表示します。</p> <p>「フィルター時間」を選択してカーソルボタン▶（または ENTER ボタン）、または RESET ボタンを押すと、フィルター時間初期化確認ダイアログが表示されます。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、フィルター時間を初期化することができます。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>フィルター時間を初期化した後は、メニューの「フィルター時間」の右側の値が「0」になっていることを確認してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一度フィルター時間を初期化すると、元には戻せませんのでご注意ください。 ●エアーフィルターを掃除または交換したときは必ずフィルター時間を初期化してください。エアーフィルターの掃除または交換に合わせて初期化しないと、実際の稼働時間とフィルター時間の値が一致せず、また、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージ (☞4-35) が正しく表示されません。 ●エアーフィルターの掃除または交換については、「フィルターユニットを交換する」(☞1-38)をお読みください。





設定項目	操作内容
マイボタン	<p>リモコンの、4つのMY BUTTON（1-4）に機能を割り当てることができます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で、設定するボタン（1-4のいずれか）を選択して▶ボタンでMYBUTTON セットアップダイアログを表示します。</p> <p>(2) カーソルボタン▲/▼でMY BUTTONに割り当てる機能を選択し、ENTER または VIDEO ボタンを押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ COMPUTER IN 1：COMPUTER IN 1 端子からの信号を選択します。 ・ COMPUTER IN 2：COMPUTER IN 2 端子からの信号を選択します。 ・ BNC：BNC 端子からの信号を選択します。 ・ HDMI：HDMI 端子からの信号を選択します。 ・ DVI-D：DVI-D 端子からの信号を選択します。 ・ COMPONENT：COMPONENT (Y,P_b/C_b,P_r/C_r) 端子からの信号を選択します。 ・ S-VIDEO：S-VIDEO 端子からの信号を選択します。 ・ VIDEO 1：VIDEO 1 端子からの信号を選択します。 ・ VIDEO 2：VIDEO 2 端子から信号を選択します。 ・ インフォメーション：「システム_インフォメーション」ダイアログ（フィルター使用時間、ランプ使用時間、使用中のレンズタイプ）、「入力_インフォメーション」ダイアログ（受信中の入力信号の情報）（図2-30）、または「ネットワーク_インフォメーション」ダイアログ（ネットワークの設定情報）（図2-35）を表示します。 ・ オートキーストン：垂直キーストンの自動調整を実行します。（図2-15） ・ マイメモリー：「マイメモリー」で記憶した設定のロード操作を行います。（図2-8） <p>■ 「マイメモリー」を設定した MY BUTTON の動作</p> <p>MY BUTTON(1-4) を押したときの「映像」メニューの設定と、ロードしようとする設定が異なると、右のようなダイアログが現れます。現在の設定を変えたくない場合はカーソルボタン▶を押してください。</p>  <p>ロードを実行するには、もう一度MY BUTTON(1-4) を押してください。メモリーに保存されているデータがあると設定をロードします。MY BUTTON(1-4) を押すたびに、保存されているデータをメモリーの番号に従って順次呼び出します。4つのメモリーのいずれにも設定データが記憶されていないと右の表示が現れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アクティブアイリス：アクティブアイリスモードを変更します。（図2-8） ・ 映像モード：MY BUTTON(1-4) を押すたびに、映像モードを変更します。（図2-4） ・ フィルターリセット：フィルター時間の初期化確認ダイアログを表示します。（図2-23） ・ テンプレート：テンプレート画面の表示／非表示を切り替えます。（図2-20） ・ 2画面左右入れ換え：2画面表示時に画面を左右に入れ換えます。 ・ レンズメモリ -1：レンズメモリ -1 をロードします。 ・ レンズメモリ -2：レンズメモリ -2 をロードします。 ・ レンズメモリ -3：レンズメモリ -3 をロードします。 <p>レンズメモリ（1-3）に記憶されているレンズの調節設定に従って、映像画面の位置を調節できます。</p> <p>ロードしようとするレンズメモリにデータが保存されていない、またはメモリーに記憶されたレンズタイプと使用中のレンズタイプが一致しない、レンズタイプが不明の場合は、ロードできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マイイメージ：マイ イメージメニューを表示します。（図2-34）

設定項目	操作内容
<p>マイソース</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、リモコンのMY SOURCE ボタンで選択できる、映像信号の入力端子を設定することができます。</p> <p>お知らせ</p> <p>●ドキュメントカメラからの信号を入力している端子を設定すれば、MY SOURCE ボタンをドキュメントカメラ用として使用することができます。</p> 
<p>特別な設定</p>	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、「特別な設定」メニューが表示されます。カーソルボタン▲/▼で操作したい項目を選択してください。カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、その項目のダイアログが表示されます。</p> <p>ファン速度</p> <p>カーソルボタン▲/▼で、冷却ファンの回転速度モードを選択できます。</p> <p>高速 ↔ 標準</p>  <p>山岳地域などの高地でご使用の場合には、「高速」設定とすることをおすすめします。「高速」に設定すると本機のファンの回転速度を上げ、冷却効率を上げることができます。</p> <p>お知らせ</p> <p>●「高速」ではファンによる騒音が大きくなります。また、高地以外で設定すると、逆に部品（ランプなど）の信頼性に影響を与える恐れがあります。</p> <p>オートアジャスト</p> <p>カーソルボタン▲/▼で、画面の自動調整を実行する際に自動的に調整、あるいは初期設定に戻る項目を設定できます。</p> <p>詳細 ↔ 高速 ↔ 無効</p>  <p>自動的に調整、あるいは初期設定に戻る項目については、受信中の信号によって異なります。「表示」メニューの「オートアジャスト実行」(☞2-10)をご参照ください。</p> <p>■「詳細」</p> <p>画面の自動調節を実行すると、各項目が自動的に調整されます。コンピュータ信号を受信しているときは、「水平サイズ」(☞2-10)も自動的に調整されます。</p> <p>■「高速」</p> <p>画面の自動調節を実行すると、自動的に調整される項目のうち、「水平サイズ」は初期設定に戻り、残りの項目は自動的に調整されます。</p> <p>■「無効」</p> <p>画面の自動調節を実行すると、各項目が初期設定に戻ります。ただし、ビデオ信号、S-ビデオ信号を受信している場合は、「入力」メニューの「ビデオフォーマット」(☞2-12)が「オート」に設定されていれば、受信している信号に最適な信号方式が自動的に選択されます。</p> <p>ゴースト</p> <p>ゴーストを低減するよう、R（赤）、G（緑）、B（青）各色を調節できます。</p> <p>(1) カーソルボタン◀/▶で、調節する色を選択します。</p> <p>R ↔ G ↔ B</p>  <p>(2) カーソルボタン▲/▼で、ゴーストが見えなくなるように数値を調節してください</p>

設定項目	操作内容
<p>特別な設定 （つづき）</p>	<p>フィルター掃除通知 カーソルボタン▲/▼で、フィルターユニットの交換時期をお知らせするメッセージが表示されるまでの時間を設定できます。</p> <p>2000h ↔ 5000h ↔ 10000h ↔ 無効</p> <p>エアフィルターを清潔に保てるよう、本機のご使用環境に合わせて設定してください。 「無効」以外を設定すると、フィルター時間（📖2-23）の値が設定した時間に達したとき、フィルターユニットの交換をお願いするメッセージ（📖4-35）が表示されます。「無効」が設定されていると、このお知らせメッセージは表示されません。 以下の基準をご参照ください。</p> <p>2000 h：比較的ほこりの多い室内で使用される場合にお勧めします。 5000 h：室内の窓のそばや通路付近で使用される場合にお勧めします。 10000 h：一般的な室内で使用される場合にお勧めします。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お掃除メッセージが表示されなくても、フィルターユニットは定期的に交換してください。エアフィルターがホコリなどでつまると、本機の内部温度が上がり過ぎて、故障や本機の寿命を縮める原因となることがあります。 ●ご使用環境やエアフィルターの状態に気を付けてご使用ください。
	<p>レンズタイプ カーソルボタン▲/▼で、使用するレンズタイプを選択してください。</p> <p>1: USL-801 ↔ 2: SL-802 ↔ 3: SL-803 ↔ 4: SD-804 ↩ 7: オート ↔ 6: UL-806 ↔ 5: LL-805 ↲</p> <p>1：超短焦点レンズ（USL-801） 2：短焦点レンズ（SL-802） 3：短焦点レンズ（SL-803） 4：標準レンズ（SD-804） 5：長焦点レンズ（LL-805） 6：超長焦点レンズ（UL-806） 7：オート</p> <p>交換したオプションレンズにあわせて設定してください。 レンズタイプを選択するとレンズが中心に移動します。移動中はメニュー画面が消え、アイコン（砂時計）が表示されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この設定はキーストンの補正などに影響します。 ●オプションレンズについては、販売店、もしくはお客様ご相談窓口（📖 巻末）におたずねください。
	<p>レンズロック カーソルボタン▲/▼で、レンズロック設定ができます。「有効」に設定すると、（ズーム、フォーカス、レンズシフト、レンズメモリ（マイボタン））がロックされます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p>



設定項目	操作内容
<p>特別な設定 (つづき)</p> <p>通信設定 (つづき)</p>	<p>シリアルイン設定 / シリアルアウト設定</p> <p>これらのメニューは、CONTROL IN/CONTROL OUT 端子の通信状態を選択することができます。</p> <p>ボーレート</p> <p>4800 bps ↔ 9600 bps ↓ ↓ 38400 bps ↔ 19200 bps</p> <p>パリティ</p> <p>なし ↔ 奇数 ↔ 偶数 ↑ ↑</p> 
	<p>通信方式</p> <p>このメニューは、通信タイプのネットワークブリッジが選択されている時のみご利用になれます。</p> <p>CONTROL OUT 端子からネットワークブリッジで伝達用の通信方式を選んでください。</p> <p>半二重通信 ↔ 全二重通信</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「半二重通信」：交互にデータを送信または受信します。 ■「全二重信号」：同時にデータを送受信できます。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●工場出荷時は、「半二重通信」に設定されています。 ●半二重通信を選択する時は、応答データ受信期間とバイト間タイムアウトの項目をご確認ください。
	<p>応答データ受信期間</p> <p>このメニューは、通信タイプにネットワークブリッジ、通信方法に半二重通信が設定されている時のみご利用になれます。</p> <p>外部機器からの応答を待つ時間を選択してください。</p> <p>オフ ↔ 1s ↔ 2s ↔ 3s ↑ ↑</p> <p>送信先の機器からの応答データを確認しなくてもよい場合は「オフ」を選択してください。</p> <p>このモードは、PC から連続してデータを送信することができます。</p> <p>1s/2s/3s：送信先の機器からの応答待機時間を設定する時に選択してください。</p> <p>その間は、CONTROL OUT 端子からデータは送信されません。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●工場出荷時は、オフに設定されています

設定項目	操作内容
	<p>バイト間タイムアウト このメニューは、通信タイプにネットワークブリッジ、通信方法に半二重通信が設定されている時のみご利用になれます。 外部機器からの応答データが終了と判断できる為の時間を選択してください。 50ms ↔ 100ms ↔ 150ms ↔ 200ms</p> <p>お知らせ ・工場出荷時は、50ms に設定されています。</p> <p>通信設定（つづき） この項目は、「通信タイプ」で「デジチェーン」が選択されている時のみ選択できます。 通信グループ、及び通信 ID を設定すると、デジチェーンで複数のプロジェクターを接続しているときに、同じ通信グループに設定された特定のプロジェクターだけを制御するために通信グループ/通信 ID を選択することができます。</p> <p>通信グループ A ↔ B ↔ C ↔ D...O ↔ P</p> <p>通信 ID 1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ ... 63 ↔ 64</p> <p>お知らせ ●工場出荷時はグループは A に、ID は 1 に設定されています。</p>
<p>特別な設定（つづき）</p>	<p>この機能は、「インフォメーション」を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押した時点で実行されます。 カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、「入力_インフォメーション」ダイアログが表示されます。このダイアログには、現在受信中の映像信号について、信号の入力端子や、解像度、垂直周波数、信号方式（「ビデオフォーマット」の設定）などの情報が表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “フレームロック” と表示されている場合は、フレームロック機能（2-14）が動作していることを示します。 ● “SCART RGB” と表示されている場合は、COMPONENT 端子および VIDEO 端子が SCART RGB 端子として動作していることを示します。 ● 「セキュリティ」－「マイテキスト表示」（2-42）が「有効」に設定されていると、「入力_インフォメーション」ダイアログには、登録したマイテキストも一緒に表示されます。 <p>工場出荷設定 カーソルボタン▶を押して、「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マイスクリーンパスワード（2-37）が設定されている場合は、「初期画面」、「マイスクリーンロック」は初期化されません。また、マイスクリーン画像もクリアされません。 ● 「ランプ時間」、「フィルター時間」、「表示言語」、「セキュリティ」および「ネットワーク」メニューの各項目は初期化されません。

ネットワークメニュー

本機をネットワークに接続するには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

「メニュー機能の使い方」(図2-2, 3)に従い、「ネットワーク」メニューを表示してください。「ネットワーク」メニューでは、下表の項目を操作することができます。


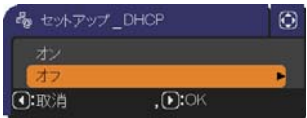
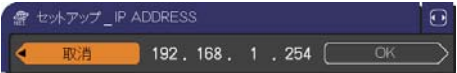
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

設定方法の詳細は、ネットワーク編をご覧ください。



お知らせ

- 初期設定では「DHCP」は「オフ」に設定されています。ご利用のネットワークが DHCP に対応で、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを自動で設定する必要がある場合、「DHCP」を「オン」に設定してください。(図 下記)
- ご利用のネットワークが SNTP に非対応の場合、日時(「日付と時刻の設定」(図2-32))を設定する必要があります。

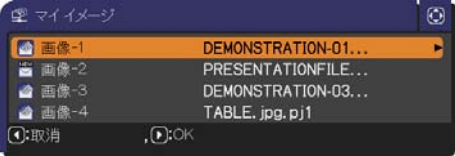
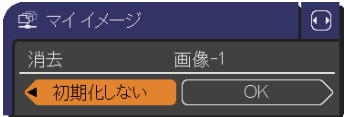
設定項目	操作内容
セットアップ	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、「ネットワーク 設定」メニューを表示します。</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選択し、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、操作を開始できます。</p> 
	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、DHCP のオン/オフを切り替えることができます。</p> <p>オン ↔ オフ</p> <p>ネットワークが、「DHCP」に対応でない場合は「オフ」を選択してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「DHCP」を「オン」に設定したときには、DHCP サーバから IP アドレスを取得するのに少々時間がかかります。 ● 「DHCP」が「オン」に設定されているのに DHCP サーバから IP アドレスを取得できなかった場合には、自動的に IP アドレスが割り当てられます。 
	<p>カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、IP アドレスを入力します。</p>  <p>この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● IP アドレスは、ネットワーク上で本機を識別するための数字です。同じネットワーク上で 2 台以上の装置が同じ IP アドレスを持つことはできません。 ● IP アドレスに “0.0.0.0” は設定できません。

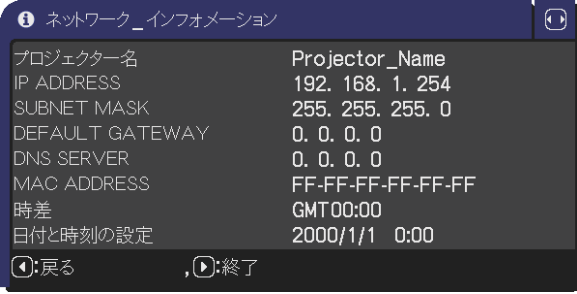


ネットワークメニュー（つづき）

設定項目	操作内容	
セットアップ (つづき)	SUBNET MASK	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、ご利用のパソコンと同じサブネットマスクを入力します。</p> <p>この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <p>●サブネットマスクに“0.0.0.0”は設定できません。</p>
	DEFAULT GATEWAY	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、デフォルトゲートウェイを入力します。</p> <p>デフォルトゲートウェイは、ネットワークへのアクセスポイントとして機能するネットワーク上のノードです。</p> <p>この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p>
	DNS SERVER	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、DNS サーバーのアドレスを入力します。</p> <p>DNS サーバーはネットワーク上のドメイン名と IP アドレスを対応させるシステムです。</p>
	時 差	<p>カーソルボタン▲/▼で、時差を入力します。</p> <p>ご利用の PC と同じ時差を設定してください。不確かな場合はネットワーク管理者にお尋ねください。</p> <p>時差を設定し終えたら、カーソルボタン▶を押すと、「ネットワークセットアップ」メニューに戻ります。</p>
	日付と時刻の設定	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、年（西暦下 2 桁）、月、日、時、分を入力します。</p> <p>接続したネットワークが SNTP 対応の場合は、タイムサーバーから日付と時刻を受信すると設定が上書きされます。</p>

設定項目	操作内容
<p>プロジェクト名</p>	<p>本機の名前（プロジェクター名）を登録することができます。</p> <p>プロジェクト名を入力する</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で「ネットワーク」メニューの「プロジェクト名」を選び、▶ボタンを押すと「プロジェクト名」ダイアログが表示されます。</p> <p>(2) 最初の3行（下線付き）に現在のプロジェクト名が表示されます。プロジェクトをまだ登録していないときは、最初の3行は空白です。カーソルボタン▲/▼/◀/▶で各文字を選択し、ENTER または VIDEO ボタンを押して入力してください。</p> <p>RESET ボタンもしくは COMPUTER ボタンで1文字削除することができます。また、カーソルを画面上の「消去」または「全消去」に移動させ、ENTER ボタンまたは VIDEO ボタンを押すと、1文字または表示されている文字を全て削除することができます。</p> <p>最大64文字まで入力できます。</p> <p>プロジェクト名を変更／削除する</p> <p>(3) カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、プロジェクト名が表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタンまたは VIDEO ボタンを押して選択します。選択した文字を、プロジェクト名を入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>プロジェクト名を保存する</p> <p>(4) プロジェクト名の入力が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、ENTER または VIDEO ボタンを押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて ENTER または VIDEO ボタンを押します。</p>



設定項目	操作内容
<p>マイ イメージ</p>	<p>マイ イメージ機能で転送された静止画像を、本機で表示できます。カーソルボタン▲/▼で、表示したい画像ファイルを選択し、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン)を押すと、画像を表示できます。</p> <p>画像 -1 ↔ 画像 -2 ↔ 画像 -3 ↔ 画像 -4</p>  <p>(1) 画像が表示されたら、カーソルボタン▲/▼で表示する画像を切り替えることができます。カーソルボタン◀を押すと、メニュー画面に戻ることができます。画像表示中に RESET ボタンを押すと、マイ イメージ初期化確認ダイアログが表示されます。</p> <p>(2) ダイアログが表示されている間にカーソルボタン▶を押すと、表示している画像のファイルを、記録メディアから削除できます。削除したくない場合は、カーソルボタン◀ (または ESC ボタン) を押してください。</p>  <p>マイ イメージ機能を使用するには、専用のソフトウェア、プロジェクターファイル転送ツールが必要です。日立のホームページからダウンロードしてご使用ください。ホームページの「サービス&サポート」欄から、画面表示に従って、ダウンロードできます。</p> <p>日立ホームページ URL http://www.hitachi.co.jp/proj/</p> <p>詳細は、【ネットワーク編】「3.5 マイイメージ」をご参照ください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 静止画像を含まない項目は選択できません。 ● 表示できる画像ファイル名は半角で 16 文字以内です。 ● 本機の表示言語 (2-17) が日本語に設定されていないと、日本語のファイル名は正しく表示されません。また、日本語に設定されていると、英数字以外の文字 (Ç, ä など) は正しく表示されません。

設定項目	操作内容
<p>インフォメーション</p>	<p>この機能は、「インフォメーション」を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押した時点で実行されます。</p> <p>カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、「ネットワーク_インフォメーション」ダイアログが表示され、現在のネットワーク設定情報を確認することができます。</p>  <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「プロジェクター名」は、最初の 16 文字のみが表示されます。 ● 「プロジェクター名」は、未登録の場合、空欄が表示されます。 ● 内蔵時計用電池の電圧が低下すると、正確な日時が入力されていても設定時刻にずれが生じる場合があります。「内蔵時計用電池の交換」(1-39) の手順に従って電池を交換してください。 ● 「DHCP」(2-31) を「オン」に設定しているのに、本機が DHCP サーバーからアドレスを習得できていない場合、「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、および「DEFAULT GATEWAY」はそれぞれ“0.0.0.0”と表示されます。
<p>特別な設定</p>	<p>ネットワーク リスタート</p> <p>この機能は、ネットワーク設定を初期化して、再起動することができます。ネットワークの動作が止まったとき、操作ができなくなったときなどに実行してください。「ネットワーク リスタート」を実行するには、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押してください。</p>  <p>カーソルボタン▶を押してネットワークリスタートを実行してください。</p>  <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークリスタートを実行すると、ネットワークが一時切断されます。 ● 「DHCP」(2-31) が「オン」に設定されていると、IP アドレスが変更される場合があります。 ● ネットワークリスタート実行後、「ネットワーク」メニューは一定時間操作できなくなります。

セキュリティメニュー

本機はセキュリティ機能を備えています。

「セキュリティ」では、下表の項目を操作することができます。
パスワード、暗証コードのお問い合わせの際に必要となりますので、
保証書は必ず大切に保管してください。

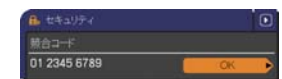
「セキュリティ」メニューを使用する前にユーザー登録が必要です。

(1) カーソルボタンの▲/▼で「セキュリティ」メニューの「パスワードを入力する」を選び▶（またはENTERボタン）を押してください。「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されます。



セキュリティパスワードを忘れた場合

1. 「セキュリティ / パスワードを入力してください。」ダイアログが表示されている間に、RESET ボタン、または操作パネルのカーソルボタン▶とINPUT ボタンを同時に数秒間押しすると、「セキュリティパスワード / 照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには 10 桁のセキュリティパスワード照合コードが表示されています。



2. 10 桁のセキュリティパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて

家電ビジネス情報センター TEL 0120-3121-19

までご連絡ください。確認後パスワードをご連絡いたします。



(2) カーソルボタンの▲/▼/◀/▶で登録されているセキュリティパスワードを入力してください。工場出荷時には、パスワードは 9630 に設定されています。カーソルを「パスワードを入力してください」ボックスの右端に移動させ、▶ボタンを押して「セキュリティ」メニューを表示します。



(3) 下表の項目を操作することができます。

お知らせ

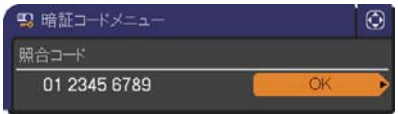
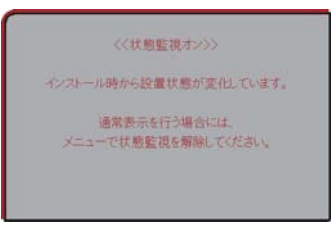
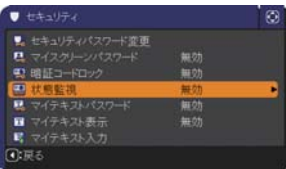

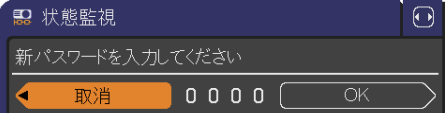
- 間違ったパスワードを 3 回入力すると、電源が切れます。これ以降は、パスワードの入力を間違えるたびに電源が切れます。
- 「セキュリティパスワード / 照合コード」ダイアログが表示されているときに一定時間何も入力しないと、ダイアログが閉じます。
- セキュリティパスワードは変更できます(☞ 下記)。工場出荷時のパスワードはできるだけ早めに変更してください。



設定項目	操作内容
セキュリティパスワード変更	<p>セキュリティパスワードを変更することができます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で、「セキュリティ」メニューのセキュリティパスワード変更を選び▶を押してください。新パスワードを入力するダイアログが表示されます。</p> <p>(2) カーソルボタンの▲/▼/◀/▶で、新パスワードを入力してください。</p> <p>(3) カーソルを「新パスワードを入力する」ダイアログの右端に移動します。カーソルボタン▶（またはENTERボタン）を押すと、「セキュリティ新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されますので、同じパスワードを入力してください。</p> <p>(4) カーソルを「セキュリティ / 新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動して、カーソルボタン▶を押すと、新しいセキュリティパスワードが設定され、「セキュリティ / 新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 20 秒間表示されます。この間に新しいパスワードをメモしてください。</p> <p>ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「セキュリティ」メニューに戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●セキュリティパスワードを忘れないようにしてください。




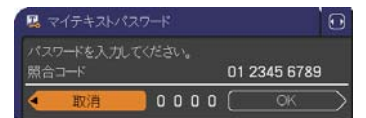
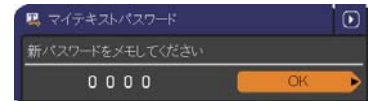
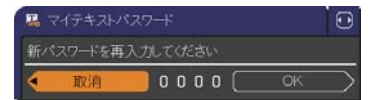
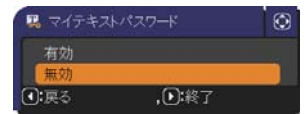
設定項目	操作内容
<p>マイスクリーンパスワード</p>	<p>マイスクリーンパスワード機能で、マイスクリーンへのアクセスを禁止し、登録されている映像の上書きを防ぐことができます。</p> <p>1 マイスクリーンパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）</p> <p>マイスクリーンパスワードを設定すると、「スクリーン」メニューの「マイスクリーン」(図2-18)、および「マイスクリーンロック」を操作できなくなり、「初期画面」が「マイスクリーン」に固定されます。</p> <p>1-1 カーソルボタン▲/▼で「セキュリティ」メニューのマイスクリーンパスワードを選び、▶ボタンを押してください。マイスクリーンパスワード有効/無効メニューが表示されます。</p> <p>1-2 カーソルボタン▲/▼で有効を選択してください。「新パスワードを入力してください」(小)ダイアログが表示されます。</p> <p>1-3 カーソルボタン▲/▼/◀/▶でパスワードを入力してください。カーソルを「マイスクリーン/新パスワードを入力してください」(小)ダイアログの右端に移動し、▶ボタンを押すと「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。</p> <p>1-4 カーソルを「マイスクリーン/新パスワードを再入力してください。」ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、マイスクリーンパスワードが設定・登録され、「マイスクリーン/新パスワードをメモしてください。」ダイアログが約20秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。ENTERまたはカーソルボタン▶を押すと、「マイスクリーンパスワード」ダイアログに戻ります。</p> <div data-bbox="1189 403 1476 571"> </div> <div data-bbox="1189 604 1476 705"> </div> <div data-bbox="1117 750 1476 851"> </div> <div data-bbox="1117 896 1476 996"> </div> <div data-bbox="1117 1041 1476 1142"> </div> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マイスクリーンパスワードを忘れないようにしてください。 <p>2 マイスクリーンパスワード機能を無効にする</p> <p>マイスクリーンパスワード機能を無効にすると、通常の操作が可能になります。</p> <p>2-11-1 の手順に従って「マイスクリーンパスワード有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>2-2 「無効」を選択すると、「マイスクリーン/パスワードを入力してください。」(大)ダイアログが表示されます。登録されたマイスクリーンパスワードを入力すると画面は「マイスクリーンパスワード有効/無効」メニューに戻ります。</p> <p>3 マイスクリーンパスワードを忘れた場合</p> <p>3-11-1 の手順に従って「マイスクリーン有効/無効」メニューを表示してください。このダイアログには10桁のマイスクリーンパスワード照合コードが表示されています。</p> <p>3-2 「無効」を選択し、「マイスクリーンパスワードを入力してください」(大)ダイアログを表示させてください。</p> <div data-bbox="1125 1848 1476 1960"> </div> <p>3-310桁のマイスクリーンパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて 家電ビジネス情報センター TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、マイスクリーンパスワードをご連絡いたします。</p>

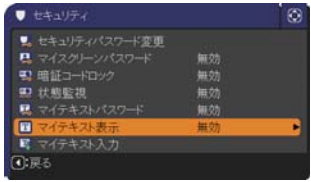

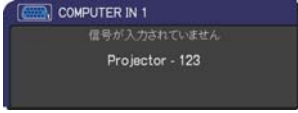





設定項目	操作内容
<p>暗証コード ロック</p>	<p>暗証コードロック機能で、本機の無断使用、いたずらを防止することができます。</p> <p>1 暗証コードロック機能を有効にする（暗証コードを設定・登録する）</p> <p>暗証コードロック機能を有効にすると、電源スイッチを入れて最初に電源を入れるたびに暗証コードを確認するダイアログが表示され、登録された暗証コードを入力しない限り、本機を使用できなくなります。</p> <p>ただし、この機能は、一度本機の電源を切った後で、再度電源を入れないと有効になりません。</p> <p>1-1 カーソルボタン▲/▼で「セキュリティ」メニューの暗証コードロックを選び、▶ボタン（または ENTER ボタンで「暗証コード有効 / 無効」メニューを表示します。</p> <p>1-2 カーソルボタン▲/▼で有効を選択すると「暗証コードメニュー / 暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。</p> <p>1-3 カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、および COMPUTER ボタンで 4 つのパートからなる暗証コードを入力してください。「暗証コードメニュー / 暗証コードを再入力してください」ダイアログが表示されます。</p> <div data-bbox="1193 506 1469 663" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1193 674 1469 775" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1129 801 1469 920" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1129 947 1469 1066" data-label="Image"> </div> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●暗証コードを忘れないようにしてください。 ●各「暗証コードメニュー」ダイアログが表示されているときに一定時間何も入力しないと、ダイアログが閉じます。ただし、本機の電源を入れたときに表示される「暗証コードメニュー / 暗証コードを入力してください。」ダイアログは、正しい暗証コードを入力するか、ランプが消灯するまで表示されます。 ●間違った暗証コードを 3 回入力すると、ランプが消灯します。その後は、暗証コードの入力を間違えるたびにランプが消灯します。また、ダイアログが表示されてから正しい暗証コードを約 5 分間以内に入力しない場合も、ランプが消灯します。 <p>2 暗証コードロック機能を無効にする</p> <p>暗証コードロック機能を無効にすると、本機は通常どおりに起動します。</p> <p>2-1 1-1 の手順に従って、「暗証コードロック有効 / 無効」メニューを表示してください。カーソルボタン▲/▼で「無効」を選択すると、「暗証コードメニュー / 暗証コードロックを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。登録された暗証コードを入力すると、「暗証コードロック」は「無効」に設定され「暗証コードロック」ダイアログに戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●間違ったパスワードを 3 回入力すると、「暗証コードメニュー / 暗証コードを入力してください。」ダイアログが閉じます。

設定項目	操作内容
<p>暗証コードロック（つづき）</p>	<p>3 暗証コードを忘れた場合</p> <p>3-1 「暗証コードメニュー／暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されている間に RESET ボタン、または操作パネルのカーソルボタン▶と COMPUTER ボタンを同時に、数秒間押しすと、「暗証コードメニュー／照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには 10 桁の暗証コード照合コードが表示されています。</p>  <p>3-2 10 桁の暗証コード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて 家電ビジネス情報センター TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、暗証コードをご連絡いたします。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各「暗証コードメニュー」ダイアログが表示されているときに一定時間も入力しないと、ダイアログが閉じます。ただし、本機の電源を入れたときに表示される「暗証コードメニュー／暗証コードを入力してください。」ダイアログは、正しい暗証コードを入力するか、ランプが消灯するまで表示されます。 ●本機の電源を入れたときに表示される「暗証コードメニュー／暗証コードを入力してください。」ダイアログで、間違った暗証コードを入力すると、ダイアログが再表示されます。間違った暗証コードを 3 回入力すると、ランプが消灯します。その後は、暗証コードの入力を間違えるたびにランプが消灯します。また、ダイアログが表示されてから正しい暗証コードを一定時間以内に入力しない場合も、ランプが消灯します。
<p>状態監視</p>	<p>本機の設置状態が変更されたときに、状態監視のアラームを表示し、本機を記録されている元の状態に戻すか、あるいはこの機能を無効にしない限り本機を使用できなくすることができます。また、キーストン補正(☒1-33, 2-21)の調節状態を変更できなくなります。本機を移動または再設置した場合、アラームが表示されることがありますのでご注意ください。</p>  <p>この機能は、一度本機の電源を切ったあとで、再度電源を入れないと有効になりません。ただし、キーストン補正は、本機の電源を切らなくても、「状態監視」が「有効」に設定された時点で、調節できなくなります。</p> <p>1 状態監視機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）</p> <p>状態監視機能を有効にすると、本機の電源を入れたときの角度（前後の傾き）、反転表示モード(☒2-16)が、記録されている設定と異なると、状態監視のアラームが表示され、本機は入力信号を表示しなくなります。また、キーストン補正を調節できなくなります。</p> <p>1-1 カーソルボタン▲ / ▼で「セキュリティ」メニューの監視状態を選び、▶（または ENTER ボタン）を押すと「監視状態 有効 / 無効」メニューが表示されます。</p>  <p>1-2 カーソルボタン▲ / ▼で「状態監視 有効 / 無効」メニューの「有効」を選択してください。「有効」を選択すると、現在の角度（前後の傾き）、反転表示モードが記録されます。「状態監視 / 新パスワードを入力してください」(小)ダイアログが表示されます。</p>  

設定項目	操作内容
<p>状態監視 (つづき)</p>	<p>1-3 カーソルボタン▲/▼/◀/▶でパスワードを入力してください。カーソルを「状態監視 / 新パスワードを入力してください。」(小) ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、「状態監視 / 新パスワードを再入力してください。」ダイアログが表示されます。</p>  <p>1-4 カーソルを「状態監視 / 新パスワードを再入力してください。」ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、状態監視パスワードが設定・登録され、「状態監視 / 新パスワードをメモしてください。」ダイアログが約 20 秒間表示されます。 このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。 ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「状態監視」ダイアログに戻ります。</p> <p>2 状態監視機能を無効にする</p> <p>状態監視機能を無効にすると、状態監視のアラームが表示されなくなり、通常の操作が可能になります。</p> <p>2-1 1-1 の手順にしたがって「状態監視 有効 / 無効」メニューを表示してください。</p> <p>2-2 「無効」を選択すると、「状態監視 / パスワードを入力してください。」(大) ダイアログが表示されます。 登録された状態監視パスワードを入力すると、「状態監視」は「無効」に設定され、「状態監視」ダイアログに戻ります。</p> <p>間違ったパスワードを入力すると、「状態監視 / パスワードを入力してください。」(大) ダイアログが閉じます。</p> <p>3 状態監視パスワードを忘れた場合</p> <p>3-1 1-1 の手順に従って「状態監視 有効 / 無効」メニューを表示してください。</p> <p>3-2 「無効」を選択し、「状態監視 / パスワードを入力してください。」(大) ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁の状態監視パスワード照合コードが表示されています。</p>  <p>3-3 10 桁の状態監視パスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて 家電ビジネス情報センター TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、状態監視パスワードをご連絡いたします。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●状態監視のパスワードを忘れないようにしてください。 ●「状態監視」ダイアログで「有効」を選択したときに、本機が安定した状態で設置されていないと、この機能は正常に動作しません。 ●状態監視のアラームが表示されてから一定時間が経過すると、ランプが消灯します。 ●この機能は、電源を切った後に本機を起動した時にのみ作動します。

設定項目	操作内容
<p>マイテキストパスワード</p>	<p>「マイテキスト入力」（2-42）で登録した、マイテキストの上書きを防止することができます。</p> <p>1 マイテキストパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）</p> <p>マイテキストパスワード機能を有効にすると、「マイテキスト表示」、「マイテキスト入力」の操作ができなくなり、マイテキストの登録・変更、および表示の設定を変更できなくなります。</p> <p>1-1 カーソルボタン▲ / ▼で「セキュリティ」メニューの「マイテキストパスワード」を選び、▶ボタンを押して「マイテキストパスワード有効 / 無効」メニューを表示してください。</p> <p>1-2 カーソルボタン▲ / ▼で「マイテキストパスワード」メニューの「有効」を選択してください。「マイテキスト / 新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。</p> <p>1-3 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶を使ってパスワードを入力してください。カーソルを「マイテキスト / 新パスワードを入力してください。」ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、「マイテキスト / 新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。</p> <p>1-4 カーソルをダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、マイテキストパスワードが設定・登録され、「マイテキスト / 新パスワードをメモしてください。」ダイアログが約 20 秒間表示されます。</p>
	<p>このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「マイテキストパスワード」ダイアログに戻ります。</p> <p>2 マイテキストパスワード機能を無効にする</p> <p>マイテキストパスワード機能を無効にすると、「マイテキスト入力」の操作が可能になり、マイテキストの登録・変更が可能になります。</p> <p>2-1 1-1 の手順に従って、「マイテキストパスワード 有効 / 無効」メニューを表示してください。</p> <p>2-2 「無効」を選択すると、「マイテキスト / パスワードを入力してください。」（大）ダイアログが表示されます。登録されたマイテキストパスワードを入力すると「マイテキスト / パスワード 有効 / 無効」メニューに戻ります。</p> <p>間違ったパスワードを入力すると、「マイテキスト / パスワードを入力してください。」（大）ダイアログが閉じます。</p> <p>3 マイテキストパスワードを忘れた場合</p> <p>3-1 1-1 の手順に従って「マイテキストパスワード」を表示してください。</p> <p>3-2 「無効」を選択すると、「マイテキスト / パスワードを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。このダイアログには、10桁のマイテキストパスワード照合コードが表示されています。</p> <p>3-3 10桁のマイテキストパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて 家電ビジネス情報センター TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、マイテキストパスワードをご連絡いたします。</p>



設定項目	操作内容
<p>マイテキスト表示</p>	<p>登録したマイテキストの、表示／非表示を切り替えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> カーソルボタン▲／▼で「セキュリティ」メニューの「マイテキスト表示」を選び、▶ボタンを押して「マイテキスト表示 有効／無効」メニューを表示してください。 カーソルボタン▲／▼で「マイテキスト表示」メニューの「有効」または「無効」を選択してください。 <p>有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、初期画面（図2-17）と「入力_インフォメーション」ダイアログ（図2-30）に、登録したマイテキストが表示されます。</p> <div data-bbox="331 680 518 723" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 「マイテキストパスワード」（図2-41）が「無効」に設定されているときのみ、「マイテキスト表示」の設定を変更できます。    
<p>マイテキスト入力</p>	<p>初期画面と「入力_インフォメーション」ダイアログに表示する、マイテキストを登録することができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> カーソルボタン▲／▼で「セキュリティ」メニューの「マイテキスト入力」を選び、▶ボタンを押して「マイテキスト入力」ダイアログを表示してください。 最初の3行（下線付き）に現在のマイテキストが表示されます。 マイテキストをまだ登録していないときは、最初の3行は空白です。 カーソルボタン▲／▼／◀／▶で4行目以下の各文字を選択し、ENTERまたはVIDEOボタンを押して入力してください。 RESETボタンもしくは「消去」で1文字削除することができます。 また、「全消去」で表示されている文字を全て削除することができます。 1行につき最大24文字入力できます。 カーソルボタン▲／▼／◀／▶で、マイテキストが表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、ENTERボタンまたはVIDEOボタンを押して選択します。選択した文字を、マイテキストを入力するときと同じ手順で編集してください。 テキストの入力・編集が終わったら、1番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、ENTERまたはVIDEOボタンを押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてENTERまたはVIDEOボタンを押します。 <div data-bbox="331 1966 518 2009" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 「マイテキストパスワード」が「無効」になっているときのみ、「マイテキスト入力」の操作が行えます。    

取扱説明書

液晶プロジェクター

形名 **CP-X10000J**
CP-WX11000J
CP-SX12000J

【ネットワーク編】

このネットワーク編では、本製品のネットワーク機能について説明します。



警告

ご使用前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

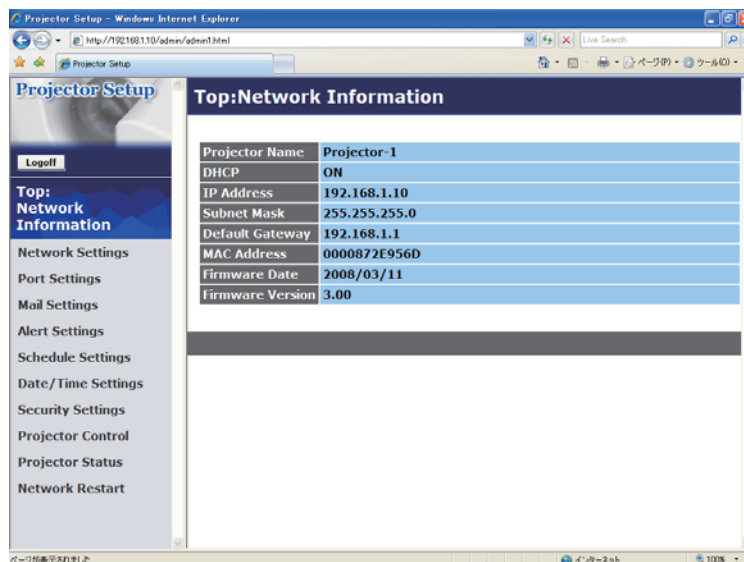
もくじ

1. 主な機能	2
1.1 Web ブラウザを使用した遠隔操作	2
1.2 マイ イメージ	2
2. 機器の接続とネットワーク設定	3
2.1 必要な機器について	3
2.2 ネットワーク接続の設定	4
2.2.1 機器を接続する	4
2.2.2 ネットワーク設定方法	4
2.2.3 インターネットオプションの設定	6
2.2.4 接続の確認	6
3. ネットワーク機能	7
3.1 Web コントロール	8
3.1.1 Logon (ログオン)	9
3.1.2 Network Information(ネットワークの設定情報)	10
3.1.3 Network Settings(ネットワーク設定)	11
3.1.4 Port Settings(ポート設定)	12
3.1.5 Mail Settings(メール設定)	14
3.1.6 Alert Settings(自動通知設定)	15
3.1.7 Schedule Settings(スケジュール設定)	17
3.1.8 Date/Time Settings(日付/時刻設定)	19
3.1.9 Security Settings(セキュリティ設定)	21
3.1.10 Projector Control(プロジェクター制御)	22
3.1.11 Projector Status(プロジェクターステータス)	26
3.1.12 Network Restart(ネットワークリスタート)	27
3.1.13 Logoff(ログオフ)	27
3.2 電子メール機能による自動通知	28
3.3 SNMP による自動通知	29
3.4 スケジュール機能	30
3.4.1 日時設定	30
3.4.2 スケジュール設定	31
3.5 マイ イメージ	32
3.6 ネットワークからのコマンド制御	34
3.6.1 ポートの種類	34
3.6.2 コマンド制御の設定	34
3.6.3 コマンド形式	35
3.6.4 ネットワーク接続の自動切断	36
3.6.5 認証	36
3.7 プロジェクターを経由して外部機器を制御する (ネットワークブリッジ機能を使う)	37
3.7.1 機器の接続	37
3.7.2 通信設定	38
3.7.3 通信ポート	38
3.7.4 通信方式	39
3.8 複数のプロジェクターを一括制御する (デ이지チェーン機能を使う)	41
3.8.1 機器の接続	41
3.8.2 通信設定	42
3.8.3 通信ポート	42
3.8.4 通信グループ / 通信 ID	43
3.8.5 デ이지チェーン制御コマンド	43

1. 主な機能

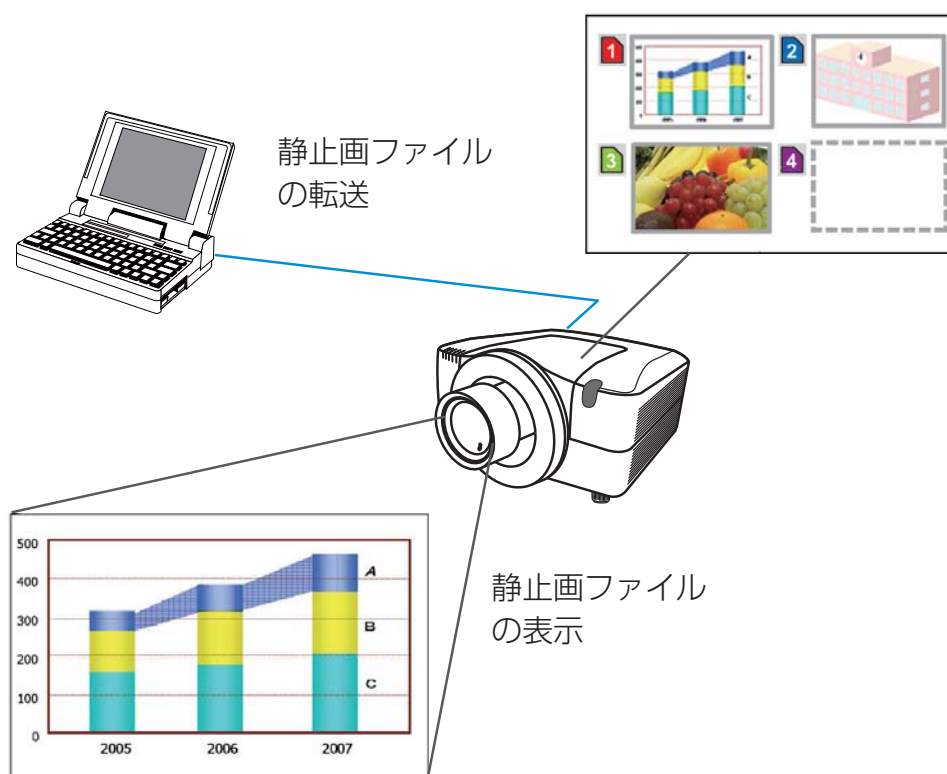
1.1 Web ブラウザを使用した遠隔操作

本機をネットワークに接続すると、同じネットワークに接続されたコンピュータの Web ブラウザを使用して、本機を制御したり、各種設定の変更をすることができます (図3-8)。



1.2 マイ イメージ

マイ イメージ機能を使うと、静止画像をネットワーク経由で本機に4つまで転送し、1つずつ表示させることができます (図3-32)。



2. 機器の接続とネットワーク設定

2.1 必要な機器について

本機とコンピュータをネットワーク経由で接続するためには、本機の他に以下のものを用意していただく必要があります。

コンピュータ：1) ネットワーク機能が備わっていること
2) Web ブラウザソフトがインストールされていること

LAN ケーブル：CAT-5 以上

お知らせ

- Web コントロールには、Internet Explorer® 5.5 以降のバージョンが必要です。
- Web ブラウザの更新プログラムは、すべて適用してください。Windows® XP Service Pack 2 以前の Microsoft® Windows® を使用しているコンピュータで Internet Explorer® を使用して Web コントロールを行う場合は、セキュリティ更新プログラム Q832894 (MS04-004) を必ずインストールしてください。インストールしておかないと、Web コントロールのウィンドウが正常に表示されないことがあります。
- ネットワークをご使用になるには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

2.2 ネットワーク接続の設定

2.2.1 機器を接続する

- 1) 本機の LAN 端子とコンピュータ を LAN ケーブルで接続してください (1-17)。
- 2) 次項の「ネットワーク設定方法」、および「インターネット オプションの設定」に従って、コンピュータのネットワーク設定を行ってください。
- 3) 最後に、本機の電源を入れ、「接続の確認」にしたがって、ネットワークの接続確認をしてください。

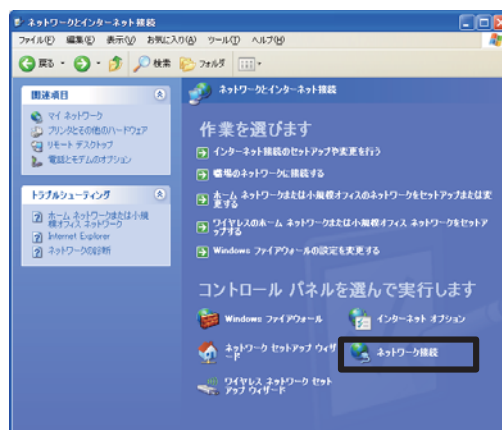
お知らせ

- 既存のネットワークに接続する際は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

2.2.2 ネットワーク設定方法

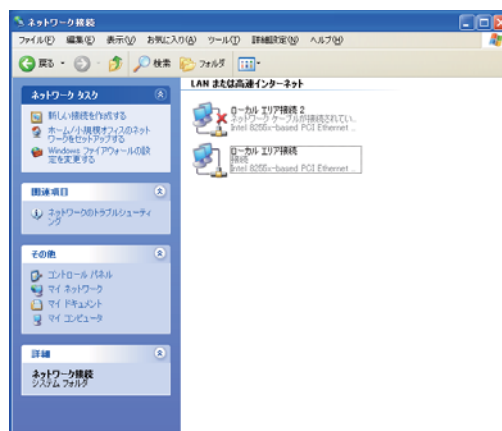
Windows[®] XP と Internet Explorer[®] を使用する場合のネットワーク接続の設定方法について説明します。

- 1) 管理者権限で Windows[®] XP にログオンします。
管理者権限とは、コンピュータのすべての機能にアクセスできるユーザー権限のことをいいます。
- 2) [スタート]メニューの[設定]から“コントロールパネル”を開きます。
- 3) “コントロールパネル”の作業分野、“ネットワークとインターネット接続”を選択し、“ネットワーク接続”のウィンドウを開いてください。クラシック表示を選択している場合は、“コントロールパネル”から“ネットワーク接続”のウィンドウを開いてください。



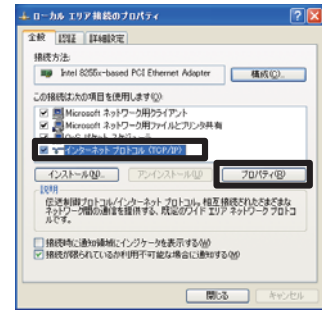
ネットワークとインターネット接続

- 4) 使用可能なネットワークモジュールが複数存在するときには、使用したいもののみを有効にし、残りのモジュールは無効にしてください。
(ここでは、“ローカルエリア接続”を選択した場合を説明します。)
- 5) “ローカルエリア接続”を右クリックし、プロパティを開きます。



ネットワーク接続

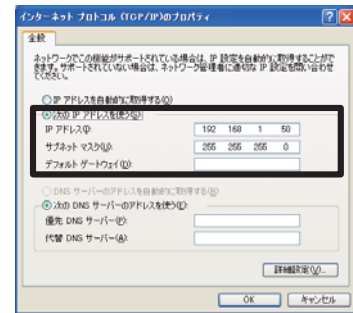
- 6) “全般” タブで、“インターネットプロトコル (TCP/IP)” を使用プロトコルとして選択 (チェックボックスをオン) し、プロパティを開きます。



ローカルエリア接続のプロパティ

- 7) “次の IP アドレスを使う” を選択 (ラジオボタンをオン) し、コンピュータの “IP アドレス”、“サブネットマスク”、“デフォルト ゲートウェイ” を設定してください。ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合は、“IP アドレスを自動的に取得する” を選択し、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。

- ※ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバーは、機器に対して、IP アドレスなどの必要なネットワーク設定を行います。
設定し終わったら、[OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。



インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ

コンピュータに設定する IP アドレスのネットワークアドレス部分、およびサブネットマスクは、本機と同じとなるようにしてください。ただし、コンピュータの IP アドレス全体が、本機を含む他のネットワーク機器と同じになるようには設定しないでください。

たとえば、ネットワーク設定が以下の設定である場合、

IP アドレス : 192.168.1.10 サブネットマスク : 255.255.255.0

このときのネットワークアドレスは、IP アドレスの下線部分、“192.168.1” です。

コンピュータの IP アドレスのネットワークアドレス部分とサブネットマスクは、本機と同じになるよう、次のように指定します。

IP アドレス : 192.168.1.xxx サブネットマスク : 255.255.255.0

IP アドレスの “xxx” 部分には、本機を含め、他のネットワーク機器と重複しない 1 ~ 254 の数値 (10 進数) を指定します。この場合、本機の IP アドレスが “192.168.1.10” であるため、“xxx” 部分に 10 は指定できません。

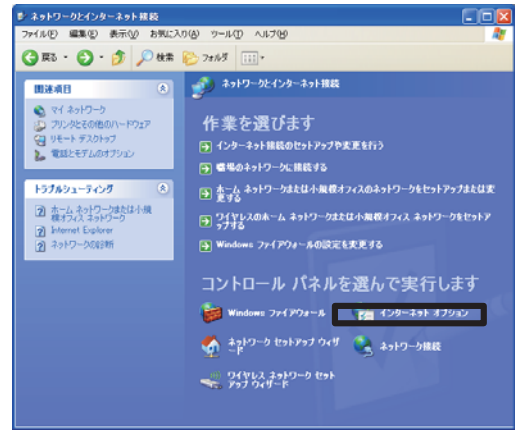
お知らせ

- IP アドレスに “0.0.0.0” は設定できません。
- 本機の IP アドレスは、「ネットワーク」メニューの「インフォメーション」(2-35) から確認できます。また、「ネットワーク」メニューの「セットアップ」- 「IP ADDRESS」(2-32)、あるいは Web ブラウザを使用して変更することができます (3-11)。
- 本機とコンピュータが同じネットワーク上にある場合 (ネットワークアドレスが同じ場合)、デフォルト ゲートウェイは空欄とすることができます。本機とコンピュータが異なるネットワーク上にある場合は、デフォルト ゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2.2 ネットワーク接続の設定 (つづき)

2.2.3 インターネットオプションの設定

1) “ネットワークとインターネット接続” の作業分野、“インターネット オプション” を選択し、“インターネットのプロパティ” ウィンドウを開きます。クラシック表示を選択している場合は、“コントロールパネル” から“インターネット オプション” を開いてください。



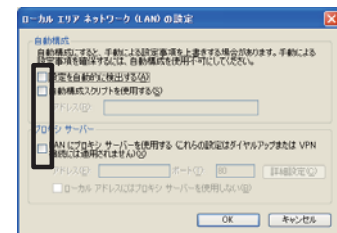
ネットワークとインターネット接続

2) “接続” タブで、[LAN の設定] をクリックし、“ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定” のウィンドウを開きます。




インターネットのプロパティ

3) “ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定” のウィンドウで、すべてのボックスのチェックを外します。設定し終わったら、[OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。



ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定

2.2.4 接続の確認

1) Web ブラウザを起動して以下の URL を入力し、 ボタンをクリックしてください。

URL: [http://\(本機の IP アドレス\)/](http://(本機の IP アドレス)/)

たとえば、本機の IP アドレスが“192.168.1.10”であれば、URL は次のようになります。

URL: <http://192.168.1.10/>

2) 右のログオンウィンドウが表示されたなら、正常に接続されています。接続できない場合は、機器の接続と設定が正しく行われていることを再度ご確認ください。



ログオンウィンドウ

お知らせ

- 本機の IP アドレスは、「ネットワーク」メニューの「インフォメーション」(図2-35) から確認できます。

3. ネットワーク機能

本機をネットワーク接続すると、ネットワークを経由して、以下の操作、設定が可能です。

3.1 Web コントロール

同じネットワークに接続したコンピュータ から、Web ブラウザを使って本機を操作、設定できます。詳細は、「3.1 Web コントロール」(図3-8)をご覧ください。

3.2 電子メール機能による自動通知

本機がエラーを検出したときやメンテナンスを必要とするとき、指定されたアドレスへ、電子メールで警告メッセージを自動的に送信することができます。

詳細は、「3.2 電子メール機能による自動通知」(図3-28)をご覧ください。

3.3 SNMP による自動通知

本機は SNMP (Simple Network Management Protocol) に対応しており、SNMP マネージャを使用してエラー/警告メッセージを受け取ることができます。

詳細は、「3.3 SNMP による自動通知」(図3-29)をご覧ください。

3.4 スケジュール機能

起動や画像の表示など、本機の操作を、日時を指定して自動的に実行させることができます。

詳細は、「3.4 スケジュール機能」(図3-30)をご覧ください。

3.5 マイ イメージ

静止画像をネットワーク経由で本機に転送し、表示させることができます。

詳細は、「3.5 マイ イメージ」(図3-32)をご覧ください。

3.6 ネットワークからのコマンド制御

ネットワーク経由で RS-232C コマンドを送信し、本機の操作、設定ができます。

詳細は、「3.6 ネットワークからのコマンド制御」(図3-34)をご覧ください。

3.7 プロジェクターを経由して外部機器を制御する (ネットワークブリッジ機能を使う)

本機と RS-232C で接続されている外部機器を、コンピュータからネットワーク経由で操作することができます。(図3-37)

3.8 複数のプロジェクターを一括制御する (デイジーチェーン機能を使う)

RS-232C ケーブルで数珠繋ぎに接続した複数台のプロジェクターを、コンピュータからネットワークまたは RS-232C 経由で一括制御することができます。(図3-41)

3.1 Web コントロール

本機とコンピュータを同じネットワークに接続すると、Web ブラウザを使用して本機の設定、制御をネットワーク経由で行う、Web コントロールが可能です。

Web コントロールには ID とパスワードが必要です。ID には、Web コントロールの全ての項目を設定・操作できる管理者 ID と、一部の機能のみを操作できるユーザー ID の 2 種類があります。

管理者 ID とユーザー ID で表示・操作できるメニューの項目は下表の通りです。

メインメニュー項目	操作内容	管理者 ID	ユーザー ID
Network Information	本機の現在のネットワーク設定を表示します。	○	○
Network Settings	ネットワーク接続の設定を行います。	○	×
Port Settings	通信ポートの設定を行います。	○	×
Mail Settings	電子メール機能の設定を行います。	○	×
Alert Settings	エラー／警告の自動通知を設定します。	○	×
Schedule Settings	スケジュールの設定を行います。	○	×
Date/Time Settings	日時の設定を行います。	○	×
Security Settings	セキュリティの設定を行います。	○	×
Projector Control	本機を遠隔操作します。	○	○
Projector Status	現在の本機の状態を表示します。	○	○
Network Restart	本機のネットワーク接続を再起動します。	○	×

○：メニュー表示


×：メニュー非表示

お知らせ

- Web コントロールには、Internet Explorer® 5.5 以降のバージョンが必要です。
- Web ブラウザの設定で、JavaScript® を有効にしてください。JavaScript® が無効になっていると、Web コントロールのウィンドウが正しく表示できないことがあります。JavaScript® を有効にする方法については、Web ブラウザのヘルプをご覧ください。
- Web ブラウザの更新プログラムは、すべて適用してください。Windows® XP Service Pack 2 以前の Microsoft® Windows® を使用しているコンピュータで Internet Explorer® を使用して Web コントロールを行う場合は、セキュリティ更新プログラム Q832894 (MS04-004) を必ずインストールしてください。インストールしておかないと、Web コントロールのウィンドウが正常に表示されないことがあります。
- Windows® XP Service Pack 2 以前のバージョンの Microsoft® Windows® を使用する場合は、SSL(Secure Socket Layer) を使用して Web コントロールを行うことが出来ません。Web ブラウザでプロジェクターの IP アドレスを入力する際は、"https://" を指定して入力してください。Windows Vista® をお使いの場合、SSL はご使用頂けません。

3.1.1 Logon (ログオン)

Web コントロールを行うためには、以下の手順に従って、本機と同じネットワーク上にあるコンピュータからログオンしてください。

- 1) Web ブラウザを起動して、アドレスバーに以下の URL を入力し、 ボタンをクリックしてください。

URL: http://(本機の IP アドレス)/

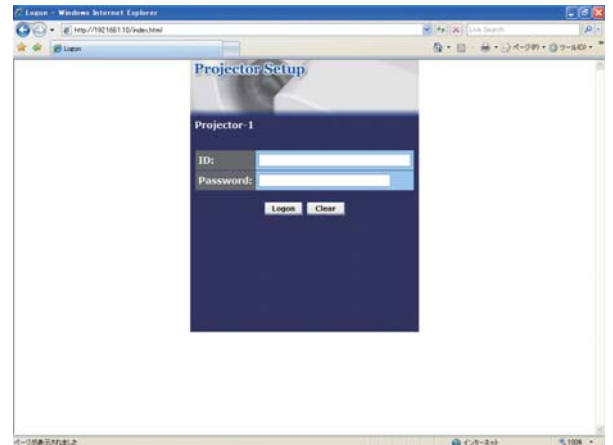
例：本機の IP アドレスが "192.168.1.10" の場合

URL: http://192.168.1.10/

右のログオンウィンドウが表示されます。

- 2) ID とパスワードを入力して、[Logon] ボタンをクリックします。

管理者 ID、ユーザー ID、およびパスワードの初期設定は下表の通りです。

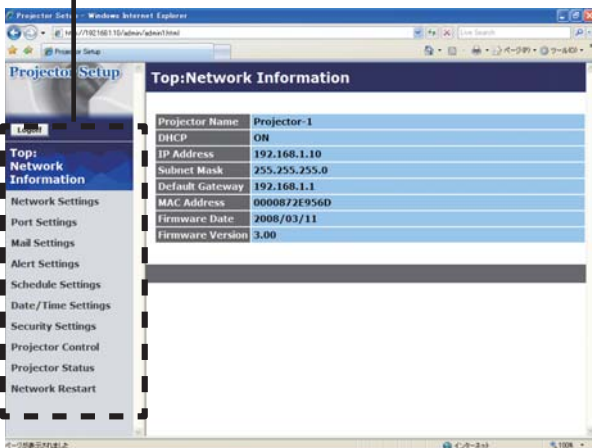


ログオンウィンドウ

ID の種類	ID	パスワード
管理者 ID	Administrator	(初期設定では設定されていません)
ユーザー ID	User	(初期設定では設定されていません)

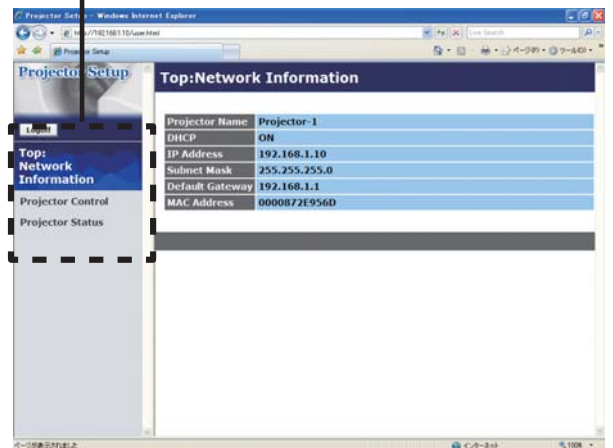
ログオンが成功すると、ログオンしたときの ID の種類によって、下の、どちらかのウィンドウが表示されます。

メインメニュー



管理者 ID でログオンした場合

メインメニュー



ユーザー ID でログオンした場合

- 3) ウィンドウの左側にメインメニューが表示されます。設定・操作したいメニュー項目を選んでください。

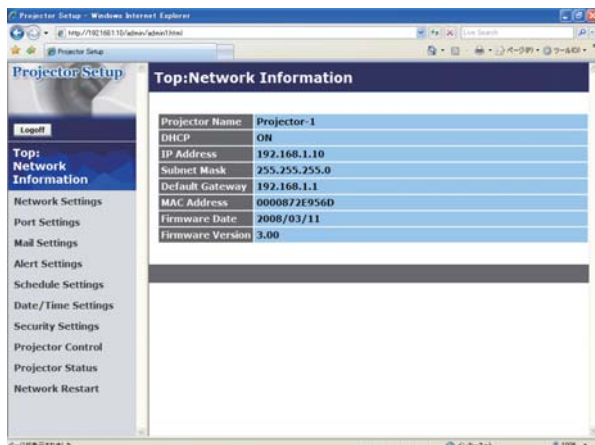
お知らせ

●本書中表示しているメニュー画面は、全て管理者 ID でログオンした場合の画面表示です。管理者にのみ操作できるメニューは、ユーザー ID でログオンした際には表示されません。表示項目については対応表をご覧ください (3-8)。

ネットワーク編

3.1 Web コントロール (つづき)

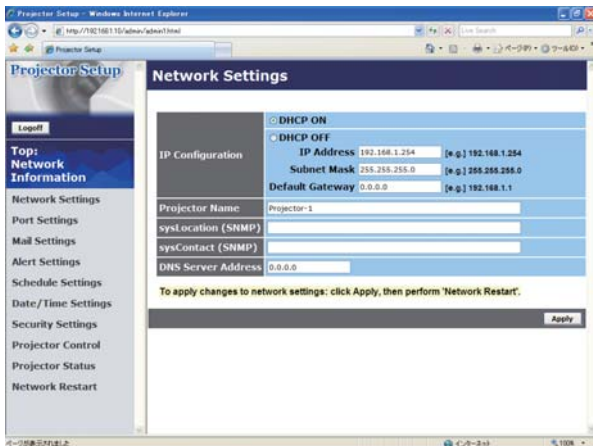
3.1.2 Network Information (ネットワークの設定情報)



メインメニューの [Network Information] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。
“Network Information” では、本機の現在のネットワークの設定を表示します。

項目	内容
Projector Name	本機に登録されたプロジェクター名です。
DHCP	本機の DHCP 設定です。
IP Address	本機の IP アドレスです。
Subnet Mask	本機のサブネットマスクです。
Default Gateway	本機のデフォルトゲートウェイです。
MAC Address	本機の MAC アドレスです。
Firmware Date	ネットワークファームウェアのタイムスタンプを表示します。 この項目は管理者 ID でログオンしたときのみ表示されます。
Firmware Version	ネットワークファームウェアのバージョンを表示します。 この項目は管理者 ID でログオンしたときのみ表示されます。

3.1.3 Network Settings (ネットワーク設定)



メインメニューの [Network Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。

“Network Settings” では、ネットワーク接続の設定を行います。

設定項目	操作内容
IP Configuration	ネットワーク設定を行います。
DHCP ON	DHCP を有効にします。
DHCP OFF	DHCP を無効にします。
IP Address	DHCP を無効にしたときの IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	DHCP を無効にしたときのサブネットマスクを設定します。
Default Gateway	DHCP を無効にしたときのデフォルトゲートウェイを設定します。
Projector Name	プロジェクター名を設定します。 最大 64 文字まで設定できます。使用できるのは、英数字、スペース、および以下の記号のみで、全て半角で入力してください。 !"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{ }~
sysLocation (SNMP)	SNMP 使用時に参照する設定場所情報を入力します。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。
sysContact (SNMP)	SNMP 使用時に参照する連絡先情報を入力します。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。
DNS Server Address	DNS サーバーのアドレスを設定します。

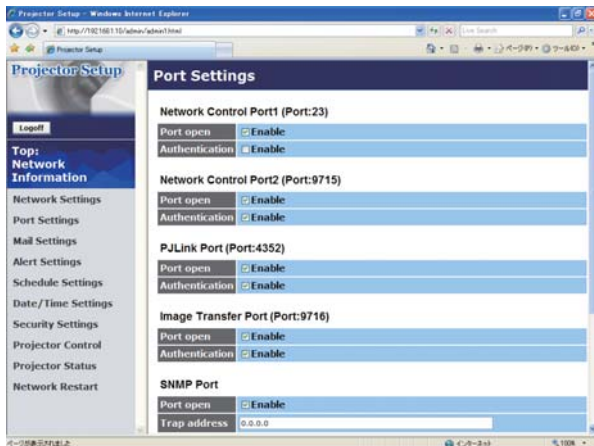
保存するには [Apply] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [Network Restart] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (3-27)。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

3.1 Web コントロール (つづき)

3.1.4 Port Settings (ポート設定)



メインメニューの [Port Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログインした場合、この項目は表示されません。
 “Port Settings” では、通信ポートの設定を行います。

設定項目	操作内容
Network Control Port 1 (Port:23)	コマンド制御ポート 1 (TCP #23) を設定します。
Port open	Port:23 を使用するには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Authentication	このポートで認証を使用する場合は、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Network Control Port2 (Port:9715)	コマンド制御ポート 2 (TCP #9715) を設定します。
Port open	Port:9715 を使用するには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Authentication	このポートで認証を使用する場合は、[Enable] チェックボックスをオンにします。
PJLink™ Port (Port:4352)	PJLink™ ポート (Port:4352) を設定します。
Port open	Port:4352 を使用するには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Authentication	このポートで認証を使用する場合は、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Image Transfer Port (Port:9716)	画像転送ポート (Port:9716) を設定します。
Port open	Port:9716 を使用するには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Authentication	このポートで認証を使用する場合は、[Enable] チェックボックスをオンにします。
SNMP Port	SNMP ポートを設定します。
Port open	SNMP を使用するには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Trap address	SNMP トラップの宛先の IP アドレスを設定します。また、ネットワークの設定に有効な DSN サーバーがある場合、IP アドレスだけでなく、ドメイン名もお使い頂けます。
SMTP Port	SMTP ポートを設定します。
Port open	電子メール機能を使用するには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Network Bridge Port	ネットワークブリッジポートを設定します。
Port Number	1024 から 65535 の間の数字を使ってポートナンバーを入力してください。初期設定では 9717 が設定されています。他のポート (9715、9716、4352 および Daisy Chain Port) と番号が重ならないようにしてください。
Daisy Chain Port	デージーチェーンポートを設定します。
Port Number	1024 から 65535 の間の数字を使ってポートナンバーを入力してください。初期設定では 9718 が設定されています。他のポート (9715、9716、4352 および Network Bridge Port) と番号が重ならないようにしてください。

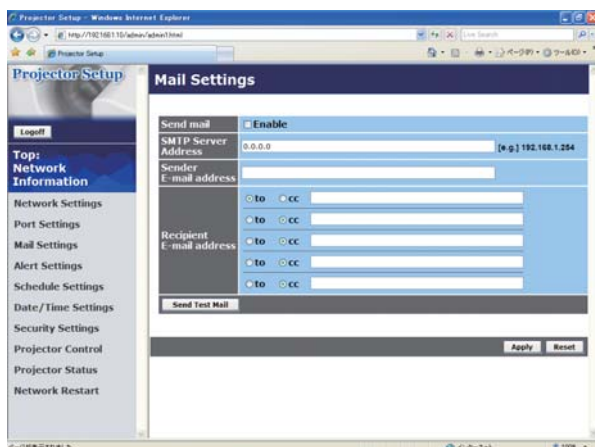
保存するには [Apply] ボタンをクリックしてください。
 次ページへつづく ...

お知らせ

●新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [Network Restart] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (図3-27)。

3.1 Web コントロール (つづき)

3.1.5 Mail Settings (メール設定)



メインメニューの [Mail Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログインした場合、この項目は表示されません。

“Mail Settings” では、電子メール機能の設定を行います。

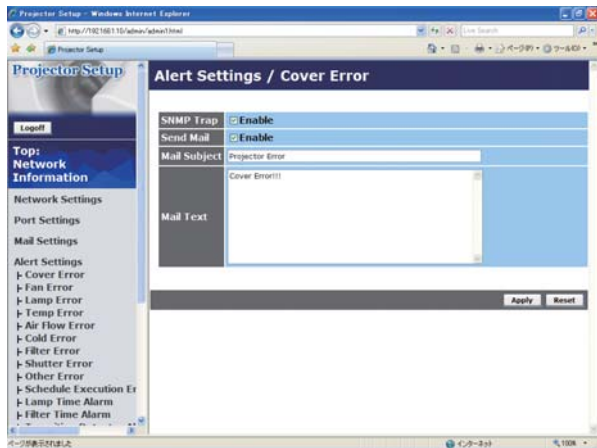
設定項目	操作内容
Send mail	電子メール機能を使用するには、[Enable] チェックボックスをオンにします。電子メールの送信条件を [Alert Settings] フィールドで設定します。
SMTP Server Address	メールサーバーの IP アドレスを設定します。ネットワークの設定に有効な DNS サーバーがある場合、IP アドレスだけでなく、ドメイン名も利用できます。ホストまたはドメイン名は半角英数字で 255 文字まで入力できます。
Sender E-mail address	送信者の電子メールアドレスを設定します。半角英数字で 255 文字まで設定できます。
Recipient E-mail address	受信者 (最大 5 名) の電子メールアドレスを設定します。各アドレスの [To] または [Cc] を指定することもできます。半角英数字で 255 文字まで入力できます。
Send Test Mail	ボタンをクリックすると、“Recipient E-mail address” で設定したアドレスに、テストメールを送信します。

設定を保存するには [Apply] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- メール設定が正しく機能するかどうかは、[Send Test Mail] ボタンをクリックして確認できます。[Send Test Mail] ボタンをクリックする前に、“Send mail” の [Enable] チェックボックスをオンにしてください。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

3.1.6 Alert Settings (自動通知設定)



メインメニューの [Alert Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。“Alert Settings” では、エラー／警告の自動通知を設定します。[Alert Settings] の下に表示される、各エラー／警告通知項目を選択すると、左のウィンドウが表示されます。

■エラー／警告通知項目

項目	内容
Cover Error	ランプカバーがきちんと装着されていません。
Fan Error	冷却ファンが動作していません。
Lamp Error	ランプが点灯しません。ランプ、および本機内部が高温になっている可能性があります。
Temp Error	本機内部が高温になっている可能性があります。
Air Flow Error	内部の温度が上がっています。エアフィルターが目詰まりしている可能性があります。
Cold Error	本機の内部温度が低すぎる可能性があります。
Filter Error	エアフィルターの使用時間が通知設定時間を超えました。
Shutter Error	シャッターが正常に作動しません。
Other Error	その他のエラーが発生しました。
Schedule Execution Error	設定されたスケジュールを正常に実行できませんでした (3-30)。
Lamp Time Alarm	ランプの使用時間が“Alarm Time” の設定時間に達しました。
Filter Time Alarm	エアフィルターの使用時間が“Alarm Time” の設定時間に達しました。
Transition Detector Alarm	状態監視機能が異常を検知しました。 状態監視機能については、【応用編】の「その他」メニュー「セキュリティ」－「状態監視」 (2-39) をご覧ください。
Cold Start	電源スイッチが入りました。(電源オフ→スタンバイ)
Authentication Failure	未認証の SNMP コミュニティからの SNMP アクセスがありました。

次ページへつづく ...

3.1 Web コントロール (つづき)

■通知設定

各々のエラー / 警告通知について、以下の項目を設定できます。

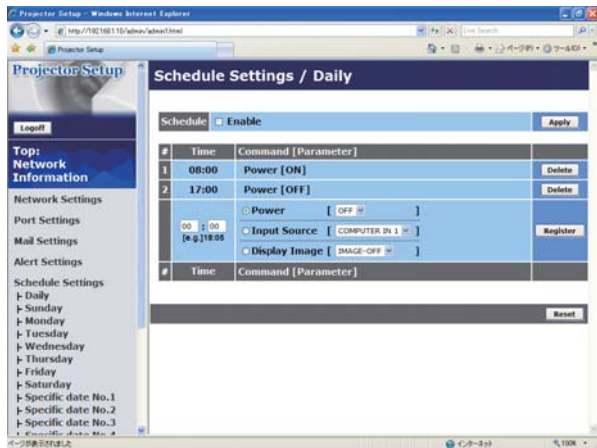
設定項目	操作内容
Alarm Time	“Lamp Time Alarm”、または“Filter Time Alarm”を通知する時間を設定します。
SNMP Trap	この項目の SNMP トラップによる自動通知を有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Send Mail	この項目の電子メール機能による自動通知を有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Mail Subject	送信する電子メールの表題を設定します。 半角で 100 文字まで設定できます。
Mail Text	送信する電子メールの本文を設定します。 半角で 1024 文字まで設定できます。

設定を保存するには [Apply] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- “Schedule Execution Error” を除くエラーの詳細については、【応用編】「故障かなと思ったら」をご覧ください。
- “Filter Error” のメール通知は、「その他」メニューの「特別な設定」－「フィルター掃除通知」のフィルター掃除通知のスクリーン表示時期の設定に依存します (☞2-26)。設定された、2000、5000、10000 時間を超えると通知のメールが送信されます。「無効」を設定していると通知のメールは送信されません (☞4-35)。
- “Lamp Time Alarm” は、ランプ時間をメールで通知します。Web ページから設定したランプ時間を過ぎると、メールが送信されます。
- “Filter Time Alarm” は、フィルター時間をメールで通知します。フィルター掃除通知時間になると、メールが送信されます。
- Alarm Time は “Lamp Time Alarm” と “Filter Time Alarm” でのみ設定可能です。
- “Cold Start” と “Authentication Failure” は、SNMP トラップでの自動通知のみ可能です。

3.1.7 Schedule Settings (スケジュール設定)



メインメニューの [Schedule Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。

“Schedule Settings” では、スケジュールの設定を行います。[Schedule Settings] の下に表示される、各スケジュールの日程を選択すると、左のウィンドウが表示されます。すでに設定されているスケジュールがある場合は、リストに表示されます。

■スケジュールの日程

項目	操作内容
Daily	毎日実行されるスケジュールを設定します。
Sunday	毎週日曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Monday	毎週月曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Tuesday	毎週火曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Wednesday	毎週水曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Thursday	毎週木曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Friday	毎週金曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Saturday	毎週土曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Specific date No.1	毎年、特定日 (No.1) に実行されるスケジュールを設定します。
Specific date No.2	毎年、特定日 (No.2) に実行されるスケジュールを設定します。
Specific date No.3	毎年、特定日 (No.3) に実行されるスケジュールを設定します。
Specific date No.4	毎年、特定日 (No.4) に実行されるスケジュールを設定します。
Specific date No.5	毎年、特定日 (No.5) に実行されるスケジュールを設定します。

次ページへつづく ...

3.1 Web コントロール (つづき)

■日時とイベント設定

設定項目	操作内容
Schedule	スケジュールを有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Date (Month/Day)	スケジュールの日付(イベントを実行する日)を月 / 日の形式で設定します。この項目は、特定日のスケジュールを選択した場合のみ表示されます。

設定を保存するには [Apply] ボタンをクリックしてください。

設定項目	操作内容
Time	イベントを実行する時間を時：分の形式で設定します。
Command [Parameter]	実行するイベントを設定します。
Power	電源の入／切を設定します。
Input Source	映像入力信号を設定します。
Display Image	マイ イメージ機能 (図3-32) で転送した画像を表示します。

設定した新しいイベントを追加するには、[Register] ボタンをクリックします。

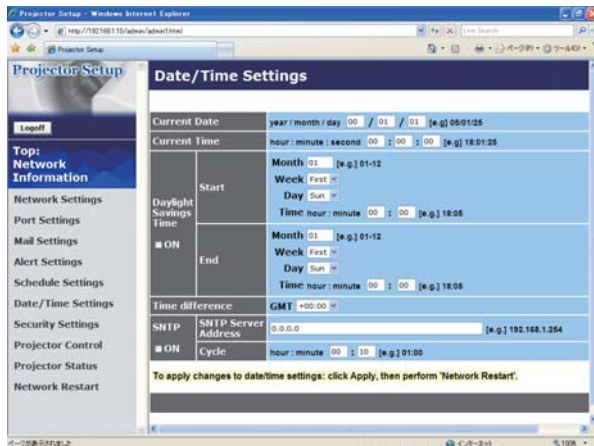
イベントを削除するには [Delete] ボタンを、リストに表示されたすべてのイベントを削除するには [Reset] ボタンをクリックします。

設定を保存するには [Apply] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- プロジェクターの位置を移動した際は、スケジュールを調整する前に、プロジェクターに設定されている日時を確認してください。強い衝撃により、日時設定 (次項) がずれる可能性があります。

3.1.8 Date/Time Settings (日付／時刻設定)



メインメニューの [Date/Time Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。“Date/Time Settings” では、日時の設定を行います。

設定項目	操作内容
Current Date	年 / 月 / 日の形式で本日の日付を設定します。
Current Time	時 : 分 : 秒の形式で現在時刻を設定します。
Daylight Savings Time	サマータイムを有効にするには、[ON] チェックボックスをオンにします。
Start	サマータイムを開始する日時を設定します。
Month	サマータイムを開始する月 (1 ~ 12) を設定します
Week	サマータイムを開始する日の曜日が、その月で何回目か (First、2、3、4、Last) を設定します。
Day	サマータイムを開始する日の曜日 (Sun、Mon、Tue、Wed、Thu、Fri、Sat) を設定します。
Time	hour: サマータイムを開始する“時” (0 ~ 23) を設定します。
minute	サマータイムを開始する“分” (0 ~ 59) を設定します。
End	サマータイムを終了する日時を設定します。
Month	サマータイムを終了する月 (1 ~ 12) を設定します。
Week	サマータイムを終了する日の曜日が、その月で何回目か (First、2、3、4、Last) を設定します。
Day	サマータイムを終了する日の曜日 (Sun、Mon、Tue、Wed、Thu、Fri、Sat) を設定します。
Time	hour: サマータイムを終了する“時” (0 ~ 23) を設定します。
minute	サマータイムを終了する“分” (0 ~ 59) を設定します。

次ページへつづく ...

3.1 Web コントロール (つづき)

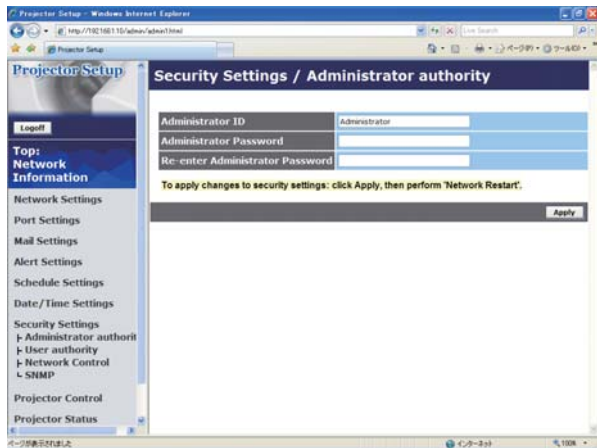
設定項目	操作内容
Time difference	グリニッジ標準時に対する時差 (時 : 分) を設定します。コンピュータの設定と同じ時差を設定してください。不明な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
SNTP	SNTP サーバーを使って日時を自動的に設定する場合は、チェックボックスをオンにします。
SNTP Server Address	SNTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン名を設定します。
Cycle	SNTP サーバーから日時の情報を受け取る間隔 (時 : 分) を設定します。

設定を保存するには [Apply] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [Network Restart] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (図3-27)。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。
- SNTP 機能を有効にするには、時差を設定する必要があります。
- SNTP 機能が有効のときは、タイムサーバーから日時の情報を取得し、設定を上書きします。
- 内蔵時計の時間は、ずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP 機能を使用することをお勧めいたします。

3.1.9 Security Settings (セキュリティ設定)



メインメニューの [Security Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログインした場合、この項目は表示されません。“Security Settings” では、パスワードなどの通信に関わるセキュリティの設定を行います。

設定項目	操作内容
Administrator authority	管理者 ID とパスワードを設定します。
Administrator ID	管理者 ID を設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
Administrator Password	管理者パスワードを設定します。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
Re-enter Administrator Password	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
User authority	ユーザー ID とパスワードを設定します。
User ID	ユーザー ID を設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
User Password	ユーザーパスワードを設定します。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
Re-enter User Password	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
Network Control	コマンド制御の認証パスワードを設定します。
Authentication Password	認証パスワードを設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
Re-enter Authentication Password	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
SNMP	SNMP 使用時のコミュニティ名を設定します。
Community name	コミュニティ名を設定します。 半角英数字で 64 文字まで設定できます。

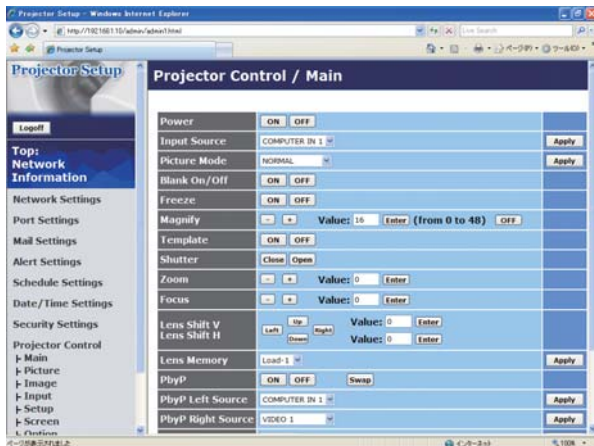
設定を保存するには [Apply] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [Network Restart] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (📖 3-27)。

3.1 Web コントロール (つづき)

3.1.10 Projector Control (プロジェクター制御)



メインメニューの [Projector Control] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。

“Projector Control” では、本機をネットワーク経由で遠隔操作することができます。

“Main” 項目の内容詳細については【基本編】を、“Picture” ~ “Option” 項目の内容詳細については【応用編】をご覧ください。

項目	操作内容
Main	
Power	本機の電源をオン / オフします。
Input Source	入力信号を切り替えます。 設定を変更したら、[Apply] ボタンをクリックしてください。
Picture Mode	映像モードを選択します。 設定を変更したら、[Apply] ボタンをクリックしてください。
Blank On/Off	ブランク画面の表示 / 非表示 (通常画面) を設定します。
Freeze	映像の静止 / 静止解除を設定します。
Magnify	画面を拡大します。
Template	テンプレート画面の表示 / 非表示 (通常画面) を設定します。
Shutter	シャッターの開閉をします。
Zoom	ズームを調節します。
Focus	フォーカスを調節します。
Lens Shift V	レンズの位置を上下に調節します。
Lens Shift H	レンズの位置を左右に調節します。
Lens Memory	レンズの調整状態(レンズ位置、ズーム、フォーカス)をセーブ / ロードします。
PbyP	PbyP (2画面表示) を開始 / 終了する。
PbyP Left Source	PbyP (2画面表示) の左画面の入力信号を選択します。
PbyP Right Source	PbyP (2画面表示) の右画面の入力信号を選択します。
PbyP Main Area	PbyP (2画面表示) の主画面の入力信号を選択します。
My Image	マイイメージの画像ファイルを選択します。
My Image Delete	マイイメージの画像ファイルを削除します。

次ページへつづく ...

設定項目	操作内容
Picture	設定を変更したら、[Enter] もしくは [Apply] ボタンをクリックしてください。
Brightness	明るさを調節します。
Contrast	コントラストを調節します。
Gamma	画面のガンマ設定を調節します。 [Edit] ボタンをクリックすると、カスタム設定画面を表示します。
Color Temp	画面の色温度設定を調節します。 [Edit] ボタンをクリックすると、カスタム設定画面を表示します。
Color	色の濃さを調節します。
Tint	色あいを調節します。
Sharpness	画質を調節します。
Active Iris	アクティブアイリス (レンズ絞り) の設定を選択します。
Active Iris - Manual	アクティブアイリスのマニュアルモードを調節します。
MyMemory Save	現在の設定をマイメモリー (1 ~ 4) に保存します。
MyMemory Recall	マイメモリー (1 ~ 4) に保存された設定をロードします。
Image	設定を変更したら、[Enter] もしくは [Apply] ボタンをクリックしてください。
Aspect	アスペクト (画面の縦横比) を選択します。
Over Scan	画面のオーバースキャンを調節します。
V Position	画面の垂直位置を調節します。
H Position	画面の水平位置を調節します。
H Phase	画面のクロック位相を調節します。
H Size	画面の水平サイズを調節します。
Auto Adjust Execute	ボタンをクリックすると、画面の自動調整を実行します。
Input	設定を変更したら、[Apply] ボタンをクリックしてください。
Progressive	プログレッシブモードを選択します。
Video NR	映像ノイズの低減レベルを選択します。
3D-YCS	3次元 YC 分離の設定を選択します。
Color Space	色空間モードを選択します。
Component	COMPONENT VIDEO 端子の機能を選択します。
Video 1 Format	VIDEO 1 信号のフォーマットを選択します。
Video 2 Format	VIDEO 2 信号のフォーマットを選択します。
S-Video Format	S-VIDEO 信号のフォーマットを選択します。
HDMI Format	HDMI 信号のフォーマットを選択します。
DVI-D Format	DVI-D 信号のフォーマットを選択します。
HDMI Range	HDMI 信号モードを選択します。
DVI-D Range	DVI-D 信号モードを選択します。
Computer in 1	COMPUTER IN1 の SYNC ON G モードを選択します。
Computer in 2	COMPUTER IN2 の SYNC ON G モードを選択します。
BNC	BNC 入力を選択します。
Frame Lock - Computer in 1	COMPUTER IN1 のフレームロックを有効/無効にします。
Frame Lock - Computer in 2	COMPUTER IN2 のフレームロックを有効/無効にします。

3.1 Web コントロール (つづき)

項目	操作内容
Input(つづき)	設定を変更したら、[Apply] ボタンをクリックしてください。
Frame Lock - BNC	BNC のフレームロックを有効／無効にします。
Frame Lock - HDMI	HDMI のフレームロックを有効／無効にします。
Frame Lock - DVI-D	DVI-D のフレームロックを有効／無効にします。
Setup	設定を変更したら、[Enter] もしくは [Apply] ボタンをクリックしてください。
Auto Keystone Execute	ボタンをクリックすると、垂直方向のキーストン（台形歪み）の自動調節を実行します。
Keystone V	垂直方向のキーストン（台形歪み）を調節します。
Keystone H	水平方向のキーストン（台形歪み）を調節します。
Eco Mode	ファン速度（標準またはエコ）を選択します。
Mirror	画面の反転モードを選択します。
Monitor Out - Computer in 1	COMPUTER IN1 選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
Monitor Out - Computer in 2	COMPUTER IN2 選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
Monitor Out - BNC	BNC 選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
Monitor Out - HDMI	HDMI 選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
Monitor Out - DVI-D	DVI-D 選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
Monitor Out - Component	Component 選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
Monitor Out - S-Video	S-VIDEO 選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
Monitor Out - Video 1	VIDEO 1 選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
Monitor Out - Video 2	VIDEO 2 選択時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
Monitor Out - Standby	スタンバイ時に MONITOR OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
Screen	設定を変更したら、[Enter] もしくは [Apply] ボタンをクリックしてください。
Language	本機のメニューなど、画面の表記言語を選択します。
Menu Position V	メニューの垂直位置を調節します。
Menu Position H	メニューの水平位置を調節します。
Blank	ブランク画面を選択します。
Startup	初期画面を選択します。
MyScreen Lock	マイスクリーンロックをオン／オフします。
Message	メッセージモードを選択します。
Template	テンプレートの種類を選択します。
C.C. - Display	クローズド・キャプションの表示設定を選択します。
C.C. - Mode	クローズド・キャプションのモードを選択します。
C.C. - Channel	クローズド・キャプションのチャンネルを選択します。

次ページへつづく ...

3.1 Web コントロール (つづき)

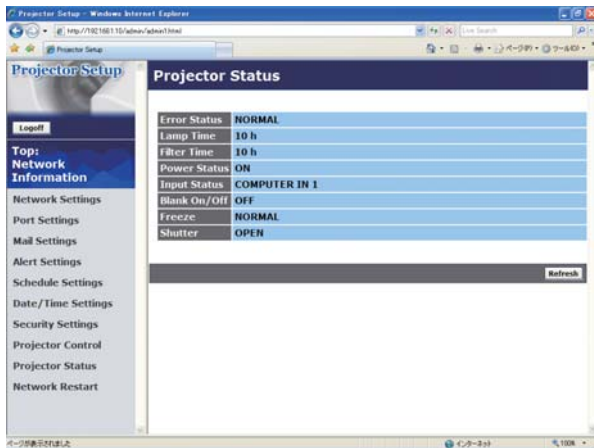
項目	操作内容
Option	設定を変更したら、[Enter] もしくは [Apply] ボタンをクリックしてください。
Source Skip - Computer in 1	COMPUTER IN1 端子のチャンネルスキップを設定します。
Source Skip - Computer in 2	COMPUTER IN2 端子のチャンネルスキップを設定します。
Source Skip - BNC	BNC 端子のチャンネルスキップを設定します。
Source Skip - HDMI	HDMI 端子のチャンネルスキップを設定します。
Source Skip - DVI-D	DVI-D 端子のチャンネルスキップを設定します。
Source Skip - Component	COMPONENT 端子のチャンネルスキップを設定します。
Source Skip - S-Video	S-VIDEO 端子のチャンネルスキップを設定します。
Source Skip - Video 1	VIDEO 1 端子のチャンネルスキップを設定します。
Source Skip - Video 2	VIDEO 2 端子のチャンネルスキップを設定します。
Auto Search	入力信号の自動検索の有効/無効を設定します。
Auto Keystone	オートキーストン機能の有効/無効を設定します。
Direct On	ダイレクトオン機能の有効/無効を設定します。
Auto Off	オートオフの実行時間を設定します。
Shutter Timer	シャッターが閉じられてから本機が自動的に電源を切るまでの時間を設定します。
My Button-1	リモコンの MY BUTTON 1 に割り付ける機能を選択します。
My Button-2	リモコンの MY BUTTON 2 に割り付ける機能を選択します。
My Button-3	リモコンの MY BUTTON 3 に割り付ける機能を選択します。
My Button-4	リモコンの MY BUTTON 4 に割り付ける機能を選択します。
My Source	リモコンの MY SOURCE ボタンで選択できる、映像信号の入力端子を設定します。
Remote Receiv. - Front	本機前面のリモコン受光部の有効/無効を設定します。
Remote Receiv. - Rear	本機背面のリモコン受光部の有効/無効を設定します。
Remote Receiv. - Top	本機上面のリモコン受光部の有効/無効を設定します。
Remote Freq. Normal	リモコン受光周波数 “標準” の有効/無効を設定します。
Remote Freq. High	リモコン受光周波数 “高” の有効/無効を設定します。
Remote ID	リモコンの ID を選択します。

お知らせ

- Web コントロール使用中に、本機のメニューやリモコンで設定を変更した場合、ウィンドウの表示と実際の設定が一致しないことがあります。その場合には [Refresh] ボタンをクリックして本機の設定を再読み込みしてください。

3.1 Web コントロール (つづき)

3.1.11 Projector Status (プロジェクターステータス)

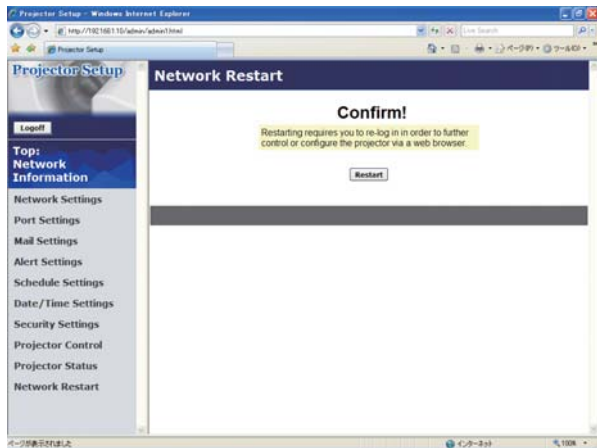


メインメニューの [Projector Status] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。

“Projector Status” では、現在の本機の状態を表示します。

項目	内容
Error Status	現在起きているエラー状況を表示します。
Lamp Time	ランプの使用経過時間を表示します。
Filter Time	エアフィルターの使用経過時間を表示します。
Power Status	電源の状態を表示します。
Input Status	選択されている映像入力端子を表示します。
Blank On/Off	ブランク画面のオン/オフ状態を表示します。
Freeze	静止画面の静止/静止解除の状態を表示します。
Shutter	シャッターの開閉状態を表示します。

3.1.12 Network Restart (ネットワークリスタート)



メインメニューの [Network Restart] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。

“Network Restart” では、本機のネットワーク接続を再起動します。

項目	内容
Restart	ボタンをクリックすると、保存した新しい設定を有効にするために、ネットワーク接続を再起動します。

お知らせ

- ネットワーク接続を再起動した後、再び Web ブラウザで本機を調整、または設定を変更するには、再起動して 1 分以上経ってから再度ログオンする必要があります。
- DHCP がオンに設定されている場合、ネットワークの再起動後にログオンウィンドウが表示されます (図 3-9)。

3.1.13 Logoff (ログオフ)

メインメニューの [Logoff] ボタンをクリックすると、ネットワークからログオフし、ログオンウィンドウが表示されます。

3.2 電子メール機能による自動通知

本機には、メンテナンスが必要な場合やエラーが発生したときに、ユーザーが指定したメールアドレスに自動的に警告メッセージを送信する機能があります。

本機の警告メール機能の設定は Web ブラウザから下記の通り設定をしてください。

例：本機の IP アドレスが “192.168.1.10” の場合

- 1) Web ブラウザのアドレスバーに “http://192.168.1.10/” を入力します。
- 2) 管理者 ID とパスワードを入力して [Logon] をクリックします。
- 3) メインメニューの [Port Settings] をクリックします。
- 4) "SMTP Port" の "Port open"[Enable] のチェックボックスをオンにして SMTP ポートを有効にします (☞3-12)。
- 5) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存してください。
"SMTP Port" の設定を変更した場合は、ネットワーク接続の再起動が必要です。メインメニューの [Network Restart] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (☞3-27)。
- 6) メインメニューの [Mail Settings] をクリックします。
- 7) "Send mail" の [Enable] チェックボックスをオンし、メールサーバーの IP アドレス、送信者／受信者の電子メールアドレスを設定します (☞3-14)。
- 8) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存してください。
- 9) 電子メールの設定が正しいことを確認して、[Mail Settings] の [Send Test Mail] ボタンをクリックしてください。メール設定が正しく機能すれば、下のような内容のメールが、指定したメールアドレスに送信されます。

件名：Test Mail <プロジェクト名>
本文：Send Test Mail
Date <テスト実施日>
Time <テスト実施時間>
IP Address <本機の IP アドレス>
MAC Address <本機の MAC アドレス>

- 10) メインメニューの [Alert Settings] をクリックします。
- 11) 通知設定する各エラー／警告項目を選択します (☞3-14)。
- 12) "Send Mail" の [Enable] チェックボックスをオンにし、電子メールの件名と本文を入力します。
必要に応じて "Alarm Time" も設定します (☞3-16)。
- 13) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存してください。

エラー／警告メッセージが、次のような形式の電子メールで送信されます。

件名：<メール件名> <プロジェクト名>
本文：<メール本文>
Date <エラー／警告の発生日>
Time <エラー／警告の発生時間>
IP Address <本機の IP アドレス>
MAC Address <本機の MAC アドレス>

お知らせ

- 最大 5 つの受信電子メールアドレスを設定できます。
- 本機の電源が突然切れた場合は、電子メールを送信できないことがあります。

3.3 SNMP による自動通知

SNMP を使えるネットワーク環境であれば、SNMP マネージャを使って本機のエラー／警告の通知を受け取ることができます。

SNMP を使用して、本機のエラー／警告を自動通知するには、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

例：本機の IP アドレスが “192.168.1.10” の場合

- 1) Web ブラウザのアドレスバーに “http://192.168.1.10/” を入力します。
- 2) 管理者 ID とパスワードを入力して [Logon] をクリックします。
- 3) メインメニューの [Port Settings] をクリックします。
- 4) "SNMP Port" の "Port open" のチェックボックスをオンにして SNMP ポートを有効にします。
また、SNMP トラップの宛先の IP アドレスを設定します (☞3-12)。
- 5) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存してください。
"SNMP Port" の設定を変更した場合は、ネットワーク接続の再起動が必要です。メインメニューの [Network Restart] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (☞3-27)。
- 6) メインメニューの [Security Settings] をクリックします。
- 7) [SNMP] をクリックして、コミュニティ名を設定します (☞3-21)。
コミュニティ名は、初期設定では “public” が設定されています。
- 8) コミュニティ名を変更した場合は、[Apply] ボタンをクリックして設定を保存し、メインメニューの [Network Restart] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください。
- 9) メインメニューで [Alert Settings] をクリックします。
- 10) 通知設定する各エラー／警告項目を選択します (☞3-15)。
- 11) "SNMP Trap" の [Enable] チェックボックスをオンにします (☞3-16)。
- 12) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存してください。

お知らせ

- SNMP 機能の実行はネットワーク管理者が行うことをお勧めいたします。
- SNMP によって本機を監視できるようにするには、SNMP マネージャがコンピュータにインストールされている必要があります。

3.4 スケジュール機能

スケジュール機能を使って、指定した日時に指定したイベントを自動的に実行させることができます。スケジュール機能には、3種類の設定方法があります。

- ・ Daily (毎日) : 指定した操作を指定時刻に毎日実行します。
- ・ Sunday ~ Saturday (曜日) : 指定した操作を指定曜日の指定時刻に毎週実行します。
- ・ Specific Date (特定日) : 指定した操作を指定日の指定時刻に毎年実行します。

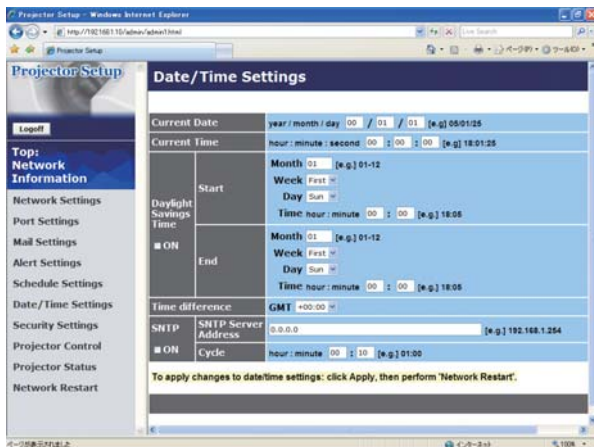
実行できるイベントは、次の3種類です。

- ・ 本機の電源入/切
- ・ 映像入力信号の切り替え
- ・ マイ イメージ機能 (図3-32) で転送された画像の表示

お知らせ

- スケジュール設定したイベントの優先順位は、1) 特定日、2) 曜日、3) 毎日の順になります。
- 同日の同時刻に複数のイベントを設定すると、"POWER[ON] (電源入)" のイベントは最後に実行されます。
- 同じ日付に実行するイベントは、同一の特定日 (Specific Date No.1 ~ 5) に設定してください。複数の特定日に同日のイベントを設定すると、特定日の番号 (No.1 ~ 5) が最も小さい特定日のイベントのみが実行されます。
- 日付と時間が正しく設定されているのに、時刻設定にエラーが生じる場合、内蔵時計用電池が切れている可能性があります。「内蔵時計用電池の交換」(図1-39) に従って電池を交換してください。
- 内蔵時計の時間はずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP を使用することをお勧めします。

3.4.1 日時設定



スケジュールを設定する前に、Web ブラウザから下記の通り日時の設定をしてください。

例 : 本機の IP アドレスが "192.168.1.10" の場合

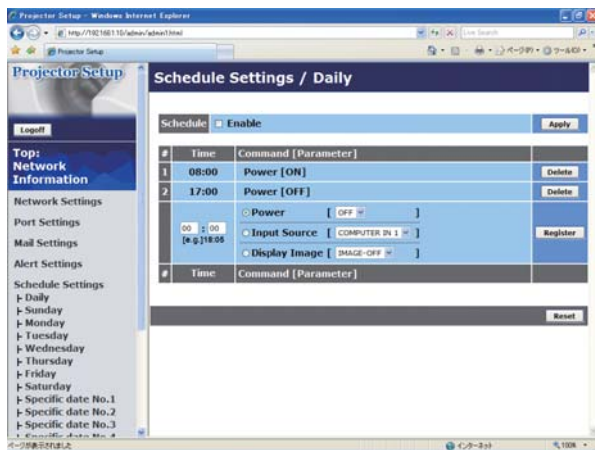
- 1) Web ブラウザのアドレスバーに
"http://192.168.1.10/" を入力します。管理者 ID とパスワードを入力して [Logon] をクリックします。
- 2) メインメニューの [Date/Time Settings] をクリックして、日時を設定します。
- 3) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。
Daylight Savings Time や SNTP の設定を変更

した場合はネットワーク接続の再起動が必要です。メインメニューの [Network Restart] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (図3-27)。

お知らせ

- 日付と時間が正しく設定されているのに、時刻設定にエラーが生じる場合、内蔵時計用電池が切れている可能性があります。「内蔵時計用電池の交換」(図1-39) に従って電池を交換してください。
- 内蔵時計の時間は、ずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP を使用することをお勧めします。

3.4.2 スケジュール設定



スケジュールの日時と実行するイベントを、Web ブラウザから下記の通り設定してください。

例：本機の IP アドレスが “192.168.1.10” の場合

- 1) Web ブラウザのアドレスバーに
“http://192.168.1.10/” を入力します。
- 2) 管理者 ID とパスワードを入力して [Logon] をクリックします。
- 3) メインメニューの [Schedule Settings] をクリックします。
- 4) 設定するスケジュールの日程を選択し、[Enable] チェックボックスをオンにしてスケジュールを有効にし、[Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。

5) 特定日のスケジュールを設定する場合は、日付 (月 / 日) を入力します。

6) スケジュールを実行する時間、イベントを設定し、[Register] ボタンをクリックします。

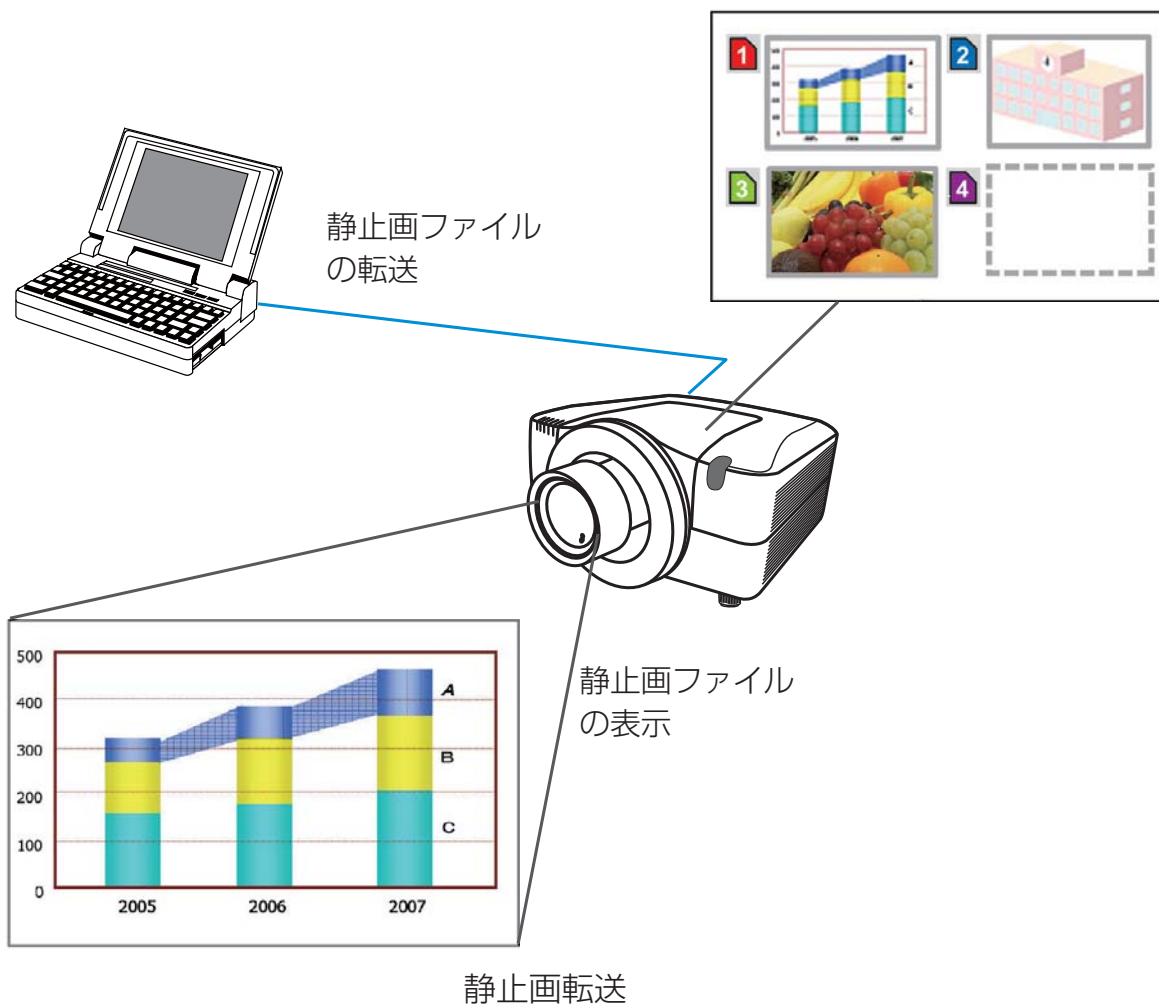
リストに表示されたスケジュールを削除したい場合は、[Delete] ボタンを、リストに表示されたすべてのイベントを削除するには [Reset] ボタンをクリックします。

お知らせ

- スケジュールを設定する前に、内蔵時計の日時をご確認ください (3-19)。
- 電源を入れるスケジュール設定が 1 つでも有効になっていると、本機がスタンバイ状態のときに POWER インジケータがおよそ 3 秒間周期で緑色に点滅します。
- スケジュール機能を使用するには、本機がスタンバイ状態 (1-24, 4-36) か、電源が入っていないなりません。電源スイッチがオフ (「○」 側が押されている) になっていたり、ブレーカーが落ちていたり、スケジュール機能は動作しません。

3.5 マイ イメージ

コンピュータからネットワーク経由で転送された静止画(マイ イメージ)を、表示させることができます。



静止画転送には、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。このアプリケーションは日立のホームページからダウンロードできます。

<http://www.hitachi.co.jp/proj/>

アプリケーションに関する説明は、アプリケーションに付属のマニュアルをご覧ください。

転送された静止画を表示させるには、【応用編】「マイ イメージ」(2-34) をご覧ください。

お知らせ

- 最大 4 つの画像ファイルを本機に転送、表示することができます。
- 静止画転送機能で本機に転送した画像は、スケジュール機能を使用して表示することができます (3-30)。

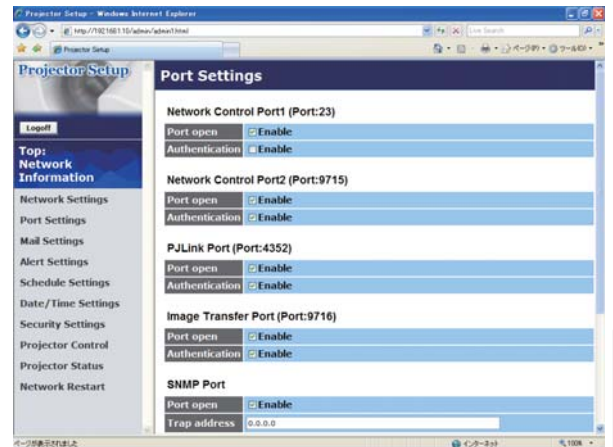
静止画転送を行うには、Web ブラウザから下記の通り通信ポートを設定してください。

例：本機の IP アドレスが “192.168.1.10” の場合

- 1) Web ブラウザのアドレスバーに “http://192.168.1.10/” を入力します。
- 2) 管理者 ID とパスワードを入力して [Logon] をクリックします。
- 3) メインメニューの [Port Settings] をクリックします。
- 4) "Image Transfer Port (Port:9716)" の "Port open" のチェックボックスをオンにして Image Transfer Port (Port:9716) を有効にします。
認証設定が必要なときは、"Authentication" のチェックボックスをオンにして Authentication を有効にします。
- 5) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。

認証設定を有効にした場合は、以下の設定が必要です。

- 6) メインメニューの [Security Settings] をクリックします。
- 7) [Network Control] を選び、認証用のパスワードを設定してください。
- 8) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。



お知らせ

- "Security Settings" で設定した認証パスワードは、Network Control Port 1 (Port: 23)、Network Control Port2 (Port:9715)、PJLink™ Port (Port: 4352)、Image Transfer Port (Port: 9716) で共通になります。
- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [Network Restart] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (📖3-27)。

3.6 ネットワークからのコマンド制御

RS-232C コマンドを使用し、ネットワークから本機を操作、設定することができます。

3.6.1 ポートの種類

コマンド制御には、以下の 2 ポートが割り当てられています。

TCP #23

TCP #9715

お知らせ

- 静止画転送に使用しているポート (TCP #9716) (3-33) でのコマンド制御はできません。

3.6.2 コマンド制御の設定

ネットワーク経由で本機をコマンド制御するには、Web ブラウザから下記の通り通信ポートを設定してください。

例：本機の IP アドレスが “192.168.1.10” の場合

1) Web ブラウザのアドレスバーに “http://192.168.1.10/” を入力します。

2) 管理者 ID とパスワードを入力して [Logon] をクリックします。

3) メインメニューの [Port Settings] をクリックします。

4) "Network Control Port1 (Port:23)" の "Port open" のチェックボックスをオンにして、Network Control Port1 (Port:23) を有効にします。
認証設定が必要なときは、"Authentication" のチェックボックスをオンにして Authentication を有効にします。

5) "Network Control Port2 (Port: 9715)" の "Port open" のチェックボックスをオンにして、Network Control Port2 (Port: 9715) を有効にします。
認証設定が必要なときは、"Authentication" のチェックボックスをオンにして Authentication を有効にします。

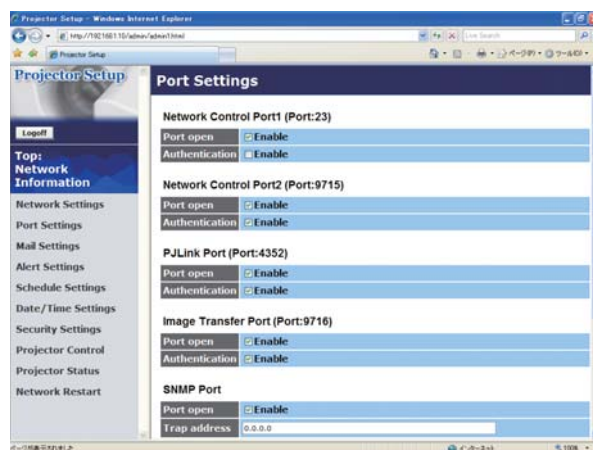
6) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。

認証設定を有効にした場合は、以下の設定が必要です。

7) メインメニューの [Security Settings] をクリックします。

8) [Network Control] を選び、認証用のパスワードを設定してください。

9) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。



お知らせ

- "Security Settings" で設定した認証パスワードは、Network ControlPort1 (Port: 23)、Network Control Port2 (Port:9715)、PJLink™ Port (Port: 4352)、Image Transfer Port (Port: 9716) で共通になります。
- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [Network Restart] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (3-27)。

3.6.3 コマンド形式

通信ポートによってコマンド形式に一部違いがあります。

● TCP #23

・送信データ形式

RS-232C コマンドと同じものをそのまま使用できます。

・応答データ形式

RS-232C コマンドと同じですが、認証エラーが発生した場合は、以下の応答が返されます。

<認証エラー応答>

応答	エラーコード	
0x1F	0x04	0x00

● TCP #9715

・送信データ形式

送信データ形式は以下のように、RS-232C コマンドにヘッダ (0x02)、データ長 (0x0D)、チェックサム (1 バイト)、接続 ID (1 バイト) が加わります。

ヘッダ	データ長	RS-232C コマンド	チェックサム	接続 ID
0x02	0x0D	13 バイト	1 バイト	1 バイト

ヘッダ : 0x02、固定

データ長 : RS-232C コマンドのバイト長 (0x0D、固定)

RS-232C コマンド : RS-232C コマンド、0xBE 0xEF から始まる 13 バイトのコマンド

チェックサム : ヘッダからチェックサムまでの和の下位 8 ビットが 0 となる値

接続 ID : 0 ~ 255 のランダムな値 (この数値は応答データに付加されます。)

・応答データ形式

RS-232C コマンドに、接続 ID (送信データの接続 ID と同じ) が加わります。

<ACK 応答>

応答	接続 ID
0x06	1 バイト

<NAK 応答>

応答	接続 ID
0x15	1 バイト

<エラー応答>

応答	エラーコード	接続 ID
0x1C	2 バイト	1 バイト

<データ応答>

応答	データ	接続 ID
0x1D	2 バイト	1 バイト

<ビジー応答>

応答	ステータスコード	接続 ID
0x1F	2 バイト	1 バイト

<認証エラー応答>

応答	認証エラーコード	接続 ID	
0x1F	0x04	0x00	1 バイト

3.6 ネットワークからのコマンド制御 つづき

3.6.4 ネットワーク接続の自動切断

接続後に 30 秒間通信がなければ、TCP 接続は自動的に切断されます。

3.6.5 認証

本機の認証には MD5 (Message Digest 5) というアルゴリズムを使用しています。認証機能を有効にして本機をコマンド制御するには、MD5 アルゴリズムで処理した認証データを、送信コマンドの先頭に追加する必要があります。

認証パスワードが “password”、ランダムな 8 バイトが “a572f60c” である場合の例です。

- 1) 本機にネットワーク接続します。
- 2) ランダムな 8 バイトデータ “a572f60c” を受け取ります。
- 3) 受信したランダムな 8 バイトデータ “a572f60c” と認証パスワード “password” を結合します。結合した値は “a572f60cpassword” となります。
- 4) 結合した値 “a572f60cpassword” を MD5 アルゴリズムで処理します。
結果、“e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde” という値を認証データとして得ます。
- 5) “e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde” という値をコマンドの先頭に付加し、“e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde” + コマンドというデータを送信します。
- 6) 送信データが正しいければ、コマンドが実行されて応答データが返されます。送信データが正しくない場合、認証エラーの応答データが返されます。

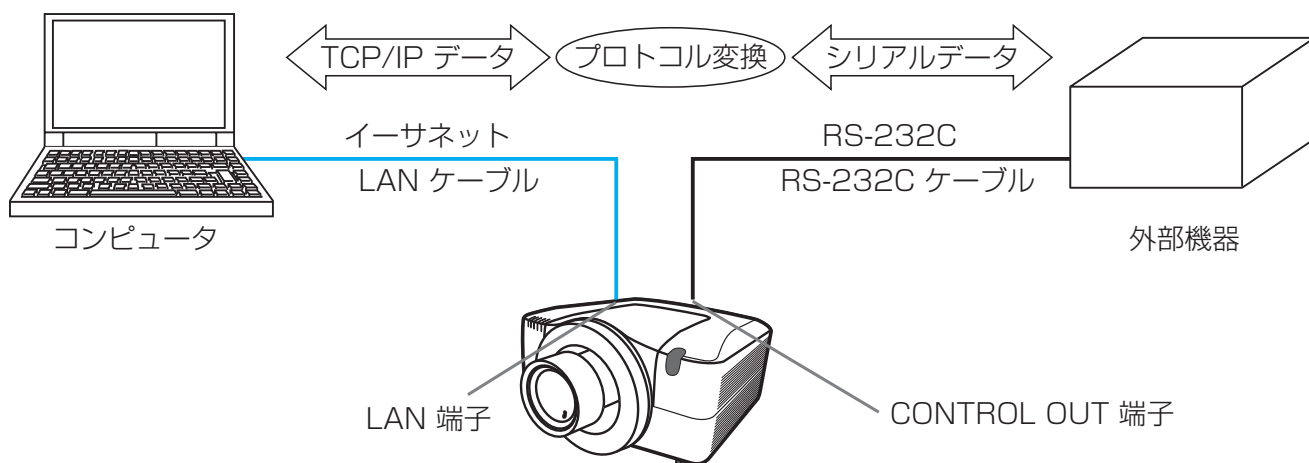
お知らせ

- 接続している間、2回目以降のコマンドデータ送信では認証データを省略できます。

3.7 プロジェクターを經由して外部機器を制御する (ネットワークブリッジ機能を使う)

本機は、ネットワークプロトコルとシリアルインタフェースの相互変換を行うネットワークブリッジ機能に対応しています。

ネットワークブリッジ機能を使うと、本機とイーサネット接続したコンピュータから本機を經由して、本機と RS-232C で接続した外部機器を、ネットワーク端末と同様に制御することができます。



3.7.1 機器の接続

- 1) 本機の LAN 端子とコンピュータを LAN ケーブルで繋いでください。
- 2) 本機の CONTROL OUT 端子と外部機器の RS-232C 端子を RS-232C ケーブルで繋いでください。

お知らせ

- 接続の前に接続する各機器の説明書をお読みになり、正しく接続してください。
- RS-232C 接続については、各々の端子の仕様を確認の上、適切な通信ケーブルを使用してください (4-12)。

3.7 プロジェクターを經由して外部機器を制御する（ネットワークブリッジ機能を使う）（つづき）

3.7.2 通信設定

- 1) シリアルアウト設定メニューを操作し、接続した外部機器の RS-232C 端子の仕様に合わせて、CONTROL OUT 端子のボーレートとパリティを選択してください（[図2-29](#)）。

設定項目	仕様
ボーレート	4800bps/9600bps/19200bps/38400bps
パリティ	なし / 奇数 / 偶数
データ長	8 ビット（固定）
スタートビット	1 ビット（固定）
ストップビット	1 ビット（固定）

- 2) 通信タイプメニューを操作し、CONTROL OUT 端子の通信タイプにネットワークブリッジを選択してください（[図2-28](#)）。
- 3) 通信方式メニューを操作し、用途に合わせて、CONTROL OUT 端子の通信方式を選択してください（[図2-29](#)）。

お知らせ

- 工場出荷時、通信タイプにはオフが選択されています。
- 本機の通信設定メニューを操作し、通信方式の設定を行ってください。設定が適切でないと、外部機器を正しく制御することができませんのでご注意ください。

3.7.3 通信ポート

コンピュータから本機へのデータ送信には、Web ブラウザの“Port Settings”で“Network Bridge Port”に設定されているポートを使用してください（[図3-12](#)）。

お知らせ

- 通信ポートは 1024 ~ 65535 の範囲で任意に設定することができます。工場出荷時は、Network Bridge Port は“9717”が設定されています。

3.7.4 通信方式

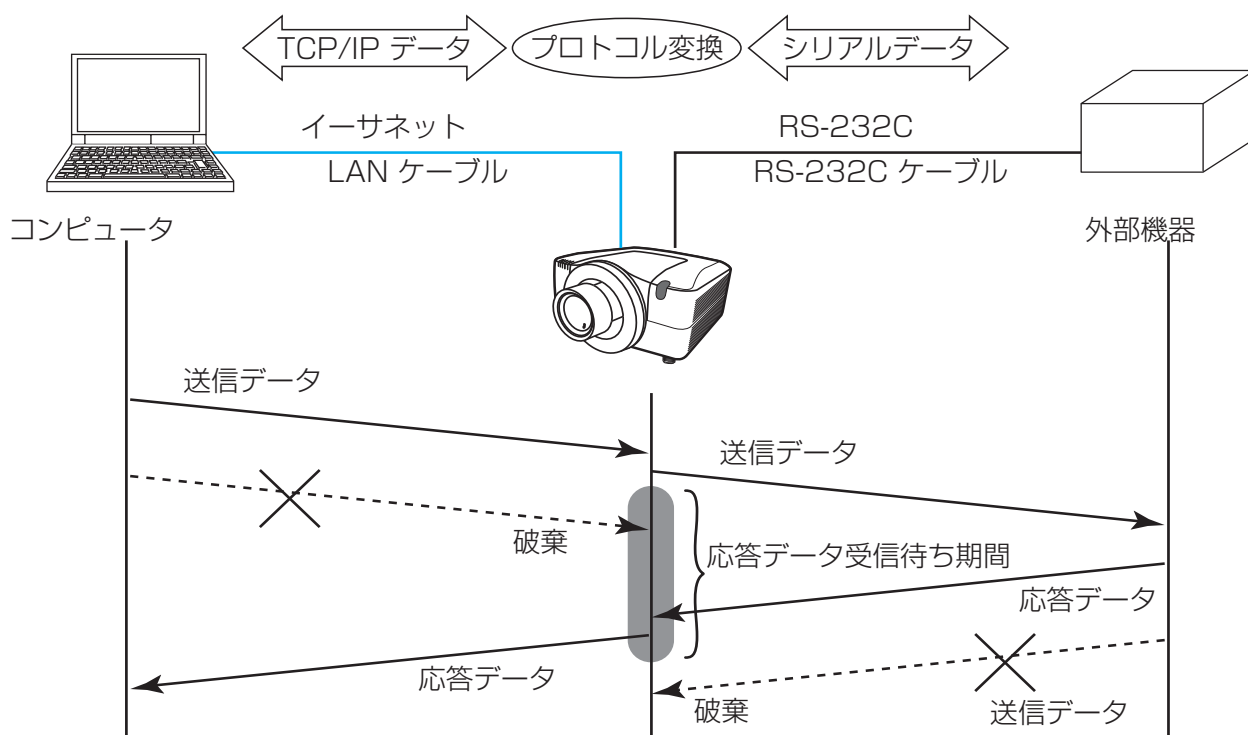
本機の通信タイプにネットワークブリッジが選択されているとき、CONTROL OUT 端子には、次の通信方式を選択して使用できます（[図2-29](#)）。

半二重通信 ↔ 全二重通信

3.7.4.1 半二重通信

この方式では、コンピュータから本機を経由して外部機器へデータを送信すると、外部機器からの応答データを受信するか、一定の時間（応答データ受信期間）が経過するまで、プロジェクターはコンピュータとの送受信を行いません。


半二重通信で通信を行う場合は、以下に従って、応答データ受信期間とバイト間タイムアウトの設定を行ってください。



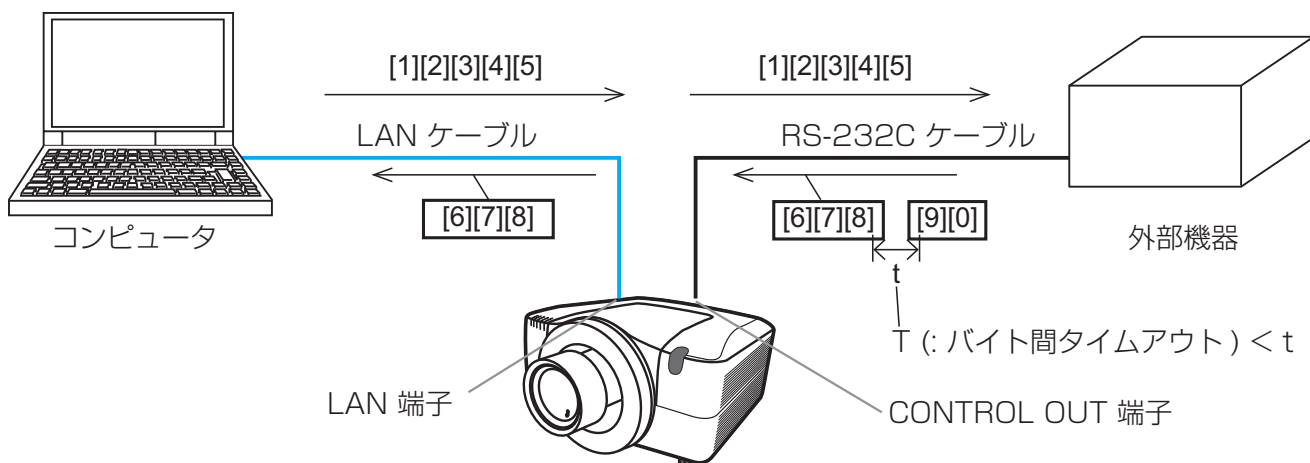
- 1) 応答データ受信期間メニューを操作して、外部機器からの応答を待つ時間を選択してください（[図2-29](#)）。

オフ ↔ 1s ↔ 2s ↔ 3s (↔ オフ)

3.7 プロジェクターを經由して外部機器を制御する（ネットワークブリッジ機能を使う）（つづき）

2) 外部機器からの応答データのバイトとバイトの間隔が一定期間（バイト間タイムアウト）を超えると、本機は応答が終了したと判定して受信を打ち切り、次の送信を開始します。応答データのバイト間隔が設定した時間より長いと、コンピュータへ送信する応答データに欠落が生じ、正しく制御できない場合があります。バイト間タイムアウトメニューを操作して、受信を継続するバイト間隔の最大時間を適切に選択してください（2-30）。

50ms ↔ 100ms ↔ 150ms ↔ 200ms (↔ 50ms)



お知らせ

- 半二重通信では、プロジェクターが一度に送信または受信できるデータサイズは、最大 254 バイトです。
- 外部機器からの応答を監視しないシステムでは、応答データ受信期間にオフを選択して使用すると、コンピュータからのコマンドを連続的に送信することができます。工場出荷時はオフが選択されています。

3.7.4.2 全二重通信

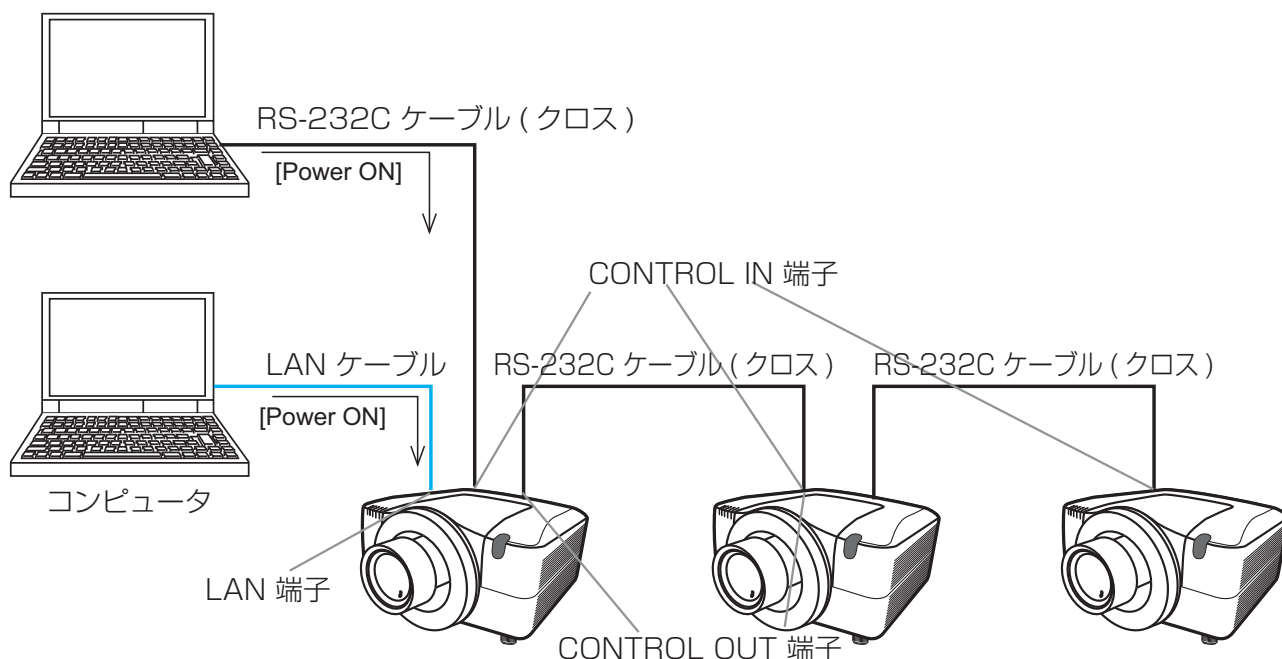
外部機器の応答を監視せず、コンピュータと外部機器の両方と随時に送受信を行う通信方式です。この方式では、コンピュータと外部機器の双方から非同期でデータが送信されます。送信データに対して応答データの同期をとりたいたときは、コンピュータから、送受信の制御を行ってください。

お知らせ

- コンピュータから送受信の制御を行う場合も、プロジェクターのデータ処理状況によっては、送受信データに欠落が生じ、正しく制御できない場合があります。

3.8 複数のプロジェクターを一括制御する（デイジーチェーン機能を使う）

本機および本機のファミリモデル（詳しくは販売店にお尋ねください）は、デイジーチェーン機能を使って複数台を数珠繋ぎに接続し、コンピュータから一括制御することができます。



3.8.1 機器の接続

- 1) 制御するプロジェクターの内の 1 台をコンピュータに接続します。
イーサネットで接続する場合は、プロジェクターの LAN 端子とコンピュータを LAN ケーブルで繋いでください。
RS-232C で接続する場合は、プロジェクターの CONTROL IN 端子とコンピュータを RS-232C ケーブルで繋いでください。
- 2) コンピュータに接続したプロジェクターの CONTROL OUT 端子と、2 台目のプロジェクターの CONTROL IN 端子を RS-232C ケーブルで繋いでください。
同様に、一括制御したいプロジェクターの CONTROL OUT 端子と CONTROL IN 端子を RS-232C ケーブルで、順次繋いでください。

お知らせ

- ケーブルの接続は、本機および接続機器の電源が切れた状態で行ってください。
- シリアル分配器を使用するシステムには、本機のデイジーチェーン機能を使用しないでください。

3.8 複数のプロジェクターを一括制御する（デ이지チェーン機能を使う）（つづき）

3.8.2 通信設定

- 1) コンピュータへの接続を RS-232C 通信で行う場合、コンピュータに接続するプロジェクターの CONTROL IN 端子には、コンピュータの RS-232C 端子の仕様に合わせた通信条件の設定が必要です。
シリアルイン設定メニューを操作し、ボーレートとパリティを選択してください（[図2-29](#)）。
- 2) プロジェクター同士の接続では、同じ RS-232C ケーブルで繋がれた CONTROL OUT 端子と CONTROL IN 端子の通信条件を同じに設定してください。
プロジェクターごとに、シリアルアウト設定メニューでは CONTROL OUT のボーレートとパリティを、シリアルイン設定メニューでは CONTROL IN 端子のボーレートとパリティを設定することができます（[図2-29](#)）。

設定項目	仕様
ボーレート	4800bps/9600bps/19200bps/38400bps
パリティ	なし / 奇数 / 偶数
データ長	8 ビット（固定）
スタートビット	1 ビット（固定）
ストップビット	1 ビット（固定）

- 3) 通信タイプメニューを使用して、それぞれのプロジェクターの通信タイプを、デ이지チェーンに設定してください（[図2-28](#)）。

お知らせ

- コンピュータへの接続をイーサネットで行う場合、コンピュータに接続するプロジェクターの CONTROL IN 端子のボーレートやパリティを設定する必要はありません。
- 通信の設定が適切でないと、外部機器を正しく制御することができません。

3.8.3 通信ポート

コンピュータから本機へのデータ送信には、Web ブラウザの“Port Settings”で“Daisy Chain Port”に設定されているポートを使用してください（[図3-12](#)）。

お知らせ

- 通信ポートは 1024 ~ 65535 の範囲で任意に設定することができます。工場出荷時は、Daisy Chain Port は“9718”が設定されています。

3.8.4 通信グループ / 通信 ID

ダイジーチェーンによる一括制御において、接続された複数のプロジェクターの中から、特定のプロジェクターを個別に、またはグループ別に指定して制御したい場合は、対象となるプロジェクターに通信 ID や通信グループを設定してください。

通信グループメニューで通信グループを、通信 ID メニューで通信 ID を、設定することができます (☞2-30)。

お知らせ

- 工場出荷時は 通信グループには A、通信 ID には 1 が選択されています。
 - 異なる制御を行いたいプロジェクター同士の通信 ID は重複しないように設定してください。
- 意図的に複数のプロジェクターと同じ通信 ID を設定することで、グループ制御と同様の効果を得ることもできます。

3.8.5 ダイジーチェーン制御コマンド

ダイジーチェーン機能でプロジェクターを制御する際に使用する制御コマンドについては、【技術情報編】 (☞4-16) をご覧ください。

取扱説明書

液晶プロジェクター

形名 **CP-X10000J**
CP-WX11000J
CP-SX12000J

【技術情報編】

技術情報編では、本機の仕様や通信機能、またエラーメッセージや故障と思われる現象への対処についてご説明します。保障とアフターサービスについては、巻末をご覧ください。



ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

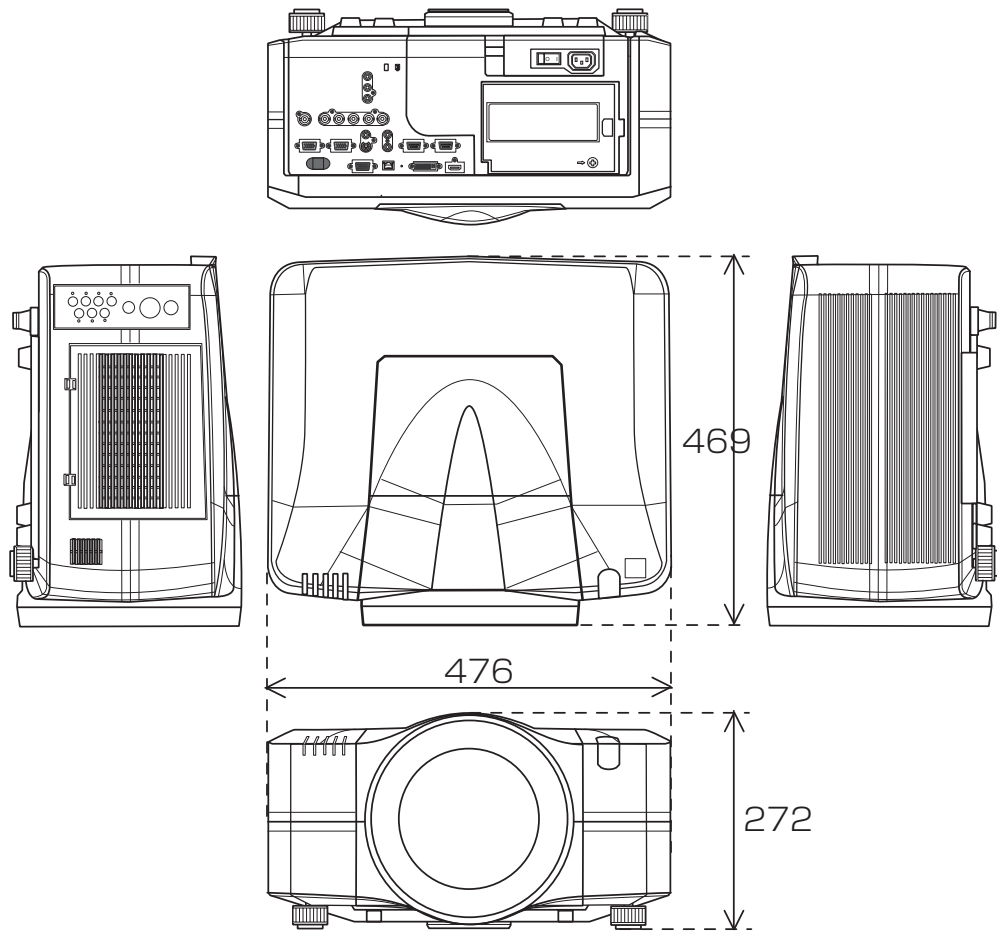
仕様	4 - 2	故障かなと思ったら	4 - 34
一般仕様	4 - 2	一括して初期設定にもどす	4 - 34
コンピュータ信号について	4 - 4	メッセージ表示	4 - 35
対応信号例	4 - 4	インジケータ表示	4 - 36
初期設定信号	4 - 5	故障と間違えやすい現象について	4 - 38
入出力信号端子	4 - 6	シャットダウンスイッチを使う	4 - 38
PJLink™	4 - 10		
RS-232C 通信	4 - 12	保証とアフターサービス	
ネットワークブリッジ	4 - 14	について	4 - 40
デイジーチェーン	4 - 15		
RS-232C コマンド一覧	4 - 19		

仕様

一般仕様

項目	仕様	
品名	液晶プロジェクター	
液晶パネル	CP-X10000J : 786,432 画素 (水平 1024 x 垂直 768) CP-WX11000J : 1,092,800 画素 (水平 1366 x 垂直 800) CP-SX12000J : 1,470,000 画素 (水平 1400 x 垂直 1050)	
ランプ	350W UHB	
電源	AC 100V/6.4A	
消費電力	540W	
使用温度範囲	5 ~ 35° C	
外形寸法	476 (幅) x 272 (高さ) x 469 (奥行き) mm (次ページ参照)	
質量	約 13.1 kg	
端子	コンピュータ信号入力 COMPUTER IN1 D サブ 15 ピンミニ x1 COMPUTER IN2..... D サブ 15 ピンミニ x1 BNC(R/C _r /P _r ,G/Y,B/C _b /P _b ,H,V) BNC x5 コンピュータ出力 MONITOR OUT D サブ 15 ピンミニ x1 ビデオ入力 コンポーネント (Y,C _b /P _b ,C _r /P _r).....RCA x3 S-VIDEO ミニ DIN 4ピン x1 VIDEO 1RCA x1 VIDEO 2 BNC x1 デジタル入力 HDMIHDMI x1 DVI-D.....DVI-D x1 その他 LANRJ-45 x1 CONTROL IND サブ 9 ピン x1 CONTROL OUTD サブ 9 ピン x1 REMOTE CONTROL IN 3.5 ステレオミニ x1 REMOTE CONTROL OUT 3.5 ステレオミニ x1	
別売品	レンズユニット 超短焦点レンズ: USL-801 短焦点レンズ: SL-802、SL-803 標準レンズ: SD-804 長焦点レンズ: LL-805 超長焦点レンズ: UL-806	ランプユニット: CP-X10000J 001 (DT01001) フィルターユニット: CP-X10000J 002 (MU06351) ケーブルカバー: CC10000 レンズアダプタ: CP-X10000J 003 (KU00041) 天井用取付け器具 天井設置用ブラケット: HAS-10000 低天井用固定アダプタ: HAS-204L 高天井用固定アダプタ: HAS-304H

外形寸法



[単位 : mm]

コンピュータ信号について

対応信号例

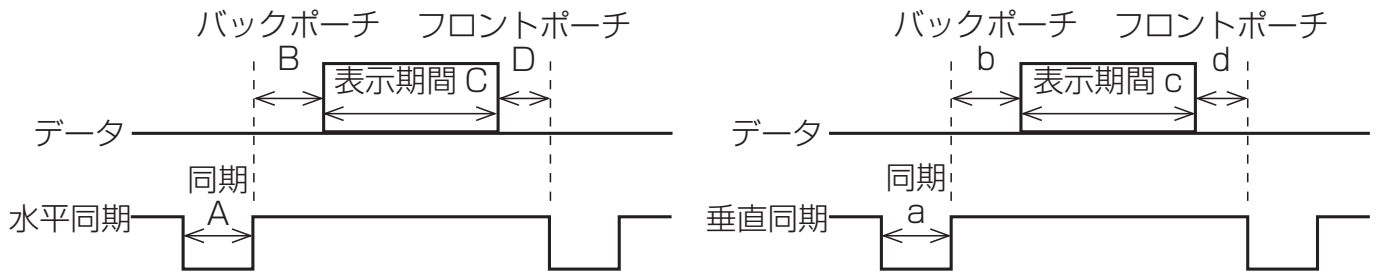
解像度 (水平 x 垂直)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	規格	信号モード
720 x 400	37.9	85.0	VESA	TEXT
640 x 480	31.5	59.9	VESA	VGA (60Hz)
640 x 480	37.9	72.8	VESA	VGA (72Hz)
640 x 480	37.5	75.0	VESA	VGA (75Hz)
640 x 480	43.3	85.0	VESA	VGA (85Hz)
800 x 600	35.2	56.3	VESA	SVGA (56Hz)
800 x 600	37.9	60.3	VESA	SVGA (60Hz)
800 x 600	48.1	72.2	VESA	SVGA (72Hz)
800 x 600	46.9	75.0	VESA	SVGA (75Hz)
800 x 600	53.7	85.1	VESA	SVGA (85Hz)
832 x 624	49.7	74.5	—	Mac® 16" mode
1024 x 768	48.4	60.0	VESA	XGA (60Hz)
1024 x 768	56.5	70.1	VESA	XGA (70Hz)
1024 x 768	60	75.0	VESA	XGA (75Hz)
1024 x 768	68.7	85.0	VESA	XGA (85Hz)
1152 x 864	67.5	75.0	VESA	1152 x 864 (75Hz)
1280 x 960	60	60.0	VESA	1280 x 960 (60Hz)
1280 x 1024	64	60.0	VESA	SXGA (60Hz)
1280 x 1024	80	75.0	VESA	SXGA (75Hz)
* 1280 x 1024	91.2	85.0	VESA	SXGA (85Hz)
* 1600 x 1200	75.0	60.0	VESA	UXGA (60Hz)
1280 x 768	47.7	60.0	VESA	W-XGA (60Hz)
1400 x 1050	65.3	60.0	VESA	SXGA+ (60Hz)
1280 x 800	49.7	60.0	VESA	1280 x 800 (60Hz)

お知らせ

- 本機とパソコンを接続するまえに、端子形状、信号レベル、タイミングや解像度などの適合性をあらかじめご確認ください。
- パソコンによっては複数ディスプレイ表示モードを持っているものがあり、本機では対応できないモードを含む場合があります。
- 入力信号によってはフルサイズで表示されない場合があります。上記の解像度をご参照ください。
- 本機では UXGA (1600 × 1200) の信号まで表示することができますが、信号処理の過程でプロジェクターの液晶パネルの解像度に変換、表示されます。
入力信号と液晶パネルの解像度が同一の場合に、映像表示は最良となります。
- 画面の自動調節は入力信号によって正しく動作しない場合があります。
- SYNC ON G、コンポジットシンク信号などの同期信号の場合は、正常に表示できない場合があります。
- HDMI 入力端子では、* マークの信号については、正しく動作しない場合があります。

初期設定信号

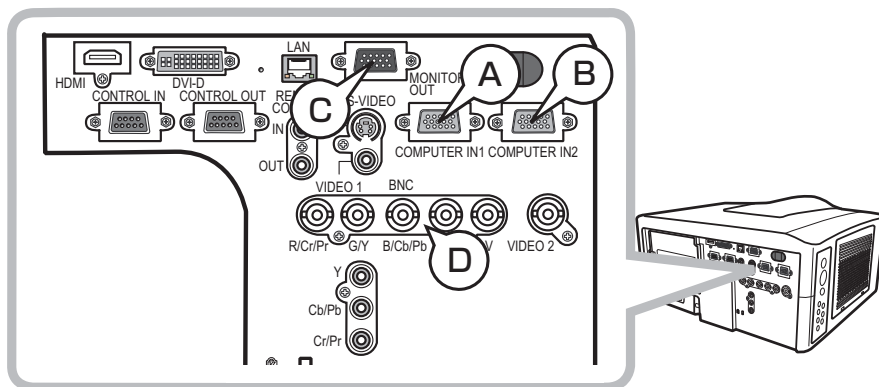
本機では下記の信号を初期設定していますが、パソコンは機種によって信号タイミングが異なる場合があります。必要に応じて表示メニューの「垂直位置」「水平位置」の調節を行ってください。



パソコン／信号源	水平信号タイミング (μ s)			
	(A)	(B)	(C)	(D)
TEXT	2.0	3.0	20.3	1.0
VGA (60Hz)	3.8	1.9	25.4	0.6
VGA (72Hz)	1.3	4.1	20.3	0.8
VGA (75Hz)	2.0	3.8	20.3	0.5
VGA (85Hz)	1.6	2.2	17.8	1.6
SVGA (56Hz)	2.0	3.6	22.2	0.7
SVGA (60Hz)	3.2	2.2	20.0	1.0
SVGA (72Hz)	2.4	1.3	16.0	1.1
SVGA (75Hz)	1.6	3.2	16.2	0.3
SVGA (85Hz)	1.1	2.7	14.2	0.6
Mac® 16" mode	1.1	3.9	14.5	0.6
XGA (60Hz)	2.1	2.5	15.8	0.4
XGA (70Hz)	1.8	1.9	13.7	0.3
XGA (75Hz)	1.2	2.2	13.0	0.2
XGA (85Hz)	1.0	2.2	10.8	0.5
1152x864 (75Hz)	1.2	2.4	10.7	0.6
1280x960 (60Hz)	1.0	2.9	11.9	0.9
SXGA (60Hz)	1.0	2.3	11.9	0.4
SXGA (75Hz)	1.1	1.8	9.5	0.1
SXGA (85Hz)	1.0	1.4	8.1	0.4
UXGA (60Hz)	1.2	1.9	9.9	0.4
W-XGA (60Hz)	1.7	2.5	16.0	0.8
SXGA+ (60Hz)	1.2	1.9	11.5	0.7
1280x800 (60Hz)	1.6	2.4	15.3	0.8

パソコン／信号源	垂直信号タイミング (ライン数)			
	(a)	(b)	(c)	(d)
TEXT	3	42	400	1
VGA (60Hz)	2	33	480	10
VGA (72Hz)	3	28	480	9
VGA (75Hz)	3	16	480	1
VGA (85Hz)	3	25	480	1
SVGA (56Hz)	2	22	600	1
SVGA (60Hz)	4	23	600	1
SVGA (72Hz)	6	23	600	37
SVGA (75Hz)	3	21	600	1
SVGA (85Hz)	3	27	600	1
Mac® 16" mode	3	39	624	1
XGA (60Hz)	6	29	768	3
XGA (70Hz)	6	29	768	3
XGA (75Hz)	3	28	768	1
XGA (85Hz)	3	36	768	1
1152x864 (75Hz)	3	32	864	1
1280x960 (60Hz)	3	36	960	1
SXGA (60Hz)	3	38	1024	1
SXGA (75Hz)	3	38	1024	1
SXGA (85Hz)	3	44	1024	1
UXGA (60Hz)	3	46	1200	1
W-XGA (60Hz)	3	23	768	1
SXGA+ (60Hz)	4	32	1050	3
1280x800 (60Hz)	3	24	800	1

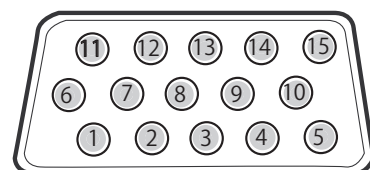
入出力信号端子



- Ⓐ COMPUTER IN1
- Ⓑ COMPUTER IN2
- Ⓒ MONITOR OUT

D-sub 15ピン ミニシュリンクジャック

- ・映像信号：RGB セパレート、アナログ 0.7Vp-p、75 Ω 終端（正極性）
- ・水平 / 垂直同期信号（セパレートシンク）：TTL レベル（正極性 / 負極性）
- ・複合同期信号（コンポジットシンク）；TTL レベル



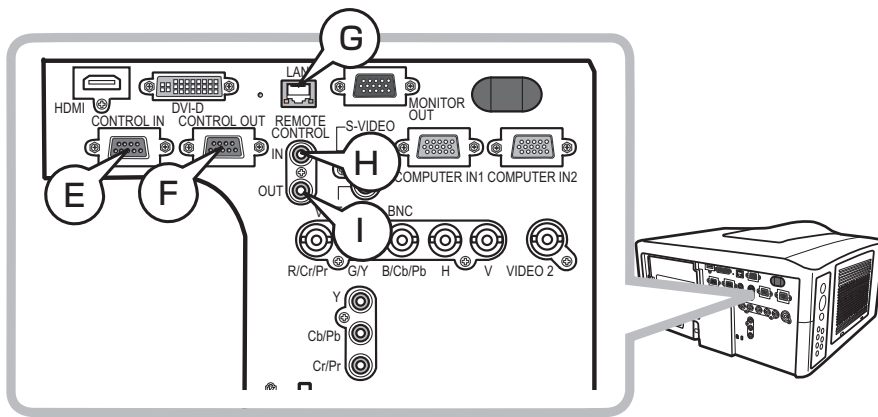
ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	映像信号 赤	6	接地（赤）	11	—
2	映像信号 緑	7	接地（緑）	12	Ⓐ, Ⓑ : SDA (DDC データ) Ⓒ : —
3	映像信号 青	8	接地（青）	13	水平同期信号 / 複合同期信号 .
4	—	9	—	14	垂直同期信号
5	接地	10	接地	15	Ⓐ, Ⓑ : SCL (DDC ク ロ ッ ク) Ⓒ : —

Ⓓ BNC (G/Y, B/Cb/Pb, R/Cr/Pr, H, V)

BNC ジャック × 5

- ・映像信号：RGB セパレート、コンポーネントビデオ Y, Cb/Pb, Cr/Pr、75 Ω 終端
- ・コンポーネントビデオ信号方式：
 - 480i@60, 480p@60, 567i@50, 720p@50/60, 1080i@50/60, 1080p@50/60
- ・水平 / 垂直同期信号（セパレートシンク）：TTL レベル（正極性 / 負極性）
- ・複合同期信号（コンポジットシンク）：TTL レベル

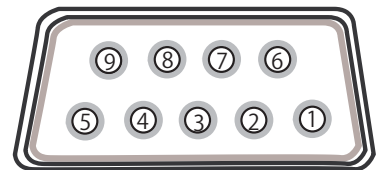
端子	信号
G/Y	映像信号 緑 (G) : アナログ 0.7Vp-p (正極性) コンポーネントビデオ Y : 1.0 ± 0.1Vp-p、コンポジットシンク
B/Cb/Pb	映像信号 青 (B) : アナログ 0.7Vp-p (正極性) コンポーネントビデオ Cb/Pb : 0.7 ± 0.1Vp-p
R/Cr/Pr	映像信号 赤 (R) : アナログ 0.7Vp-p (正極性) コンポーネントビデオ Cr/Pr, : 0.7 ± 0.1Vp-p
H	水平同期信号、複合同期信号
V	垂直同期信号



Ⓔ CONTROL IN
Ⓕ CONTROL OUT

D-sub 9 ピンプラグ

・RS-232C 通信信号 (4-12)

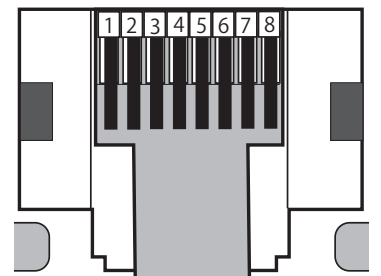


ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	—	4	—	7	RTS
2	RD	5	接地	8	CTS
3	TD	6	—	9	—

Ⓖ LAN

RJ-45 ジャック

ピン No.	信号	ピン No..	信号	ピン No.	信号
1	TX+	4	—	7	—
2	TX-	5	—	8	—
3	RX+	6	RX-		



技術情報編

REMOTE CONTROL

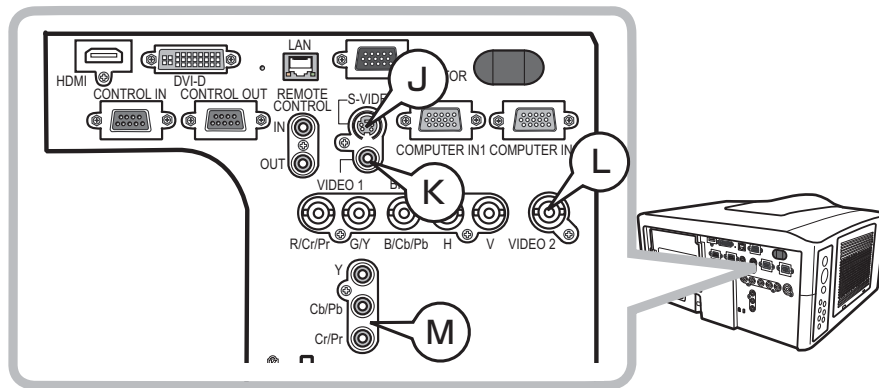
Ⓗ IN

Ⓙ OUT

φ 3.5 ステレオミニジャック

・付属のリモコンの有線リモコン端子と接続してください。

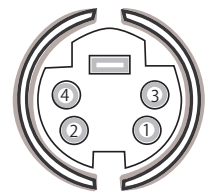
入出力信号端子 (つづき)



㉔ S-VIDEO

ミニ DIN4 ピンジャック

・信号方式：NTSC, PAL, SECAM



ピン No.	信号
1	C (色差信号) : 0.286Vp-p(NTSC, burst), 75 Ω終端 0.300Vp-p(PAL / SECAM, burst), 75 Ω終端
2	Y (輝度信号) : 1.0Vp-p, 75 Ω終端
3	接地
4	接地

㉕ VIDEO 1

RCA ジャック

・信号方式：NTSC, PAL, SECAM, PAL-M, PAL-N, NTSC4.43

・入力信号：1.0 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端

㉖ VIDEO 2

BNC ジャック

・信号方式：NTSC, PAL, SECAM, PAL-M, PAL-N, NTSC4.43

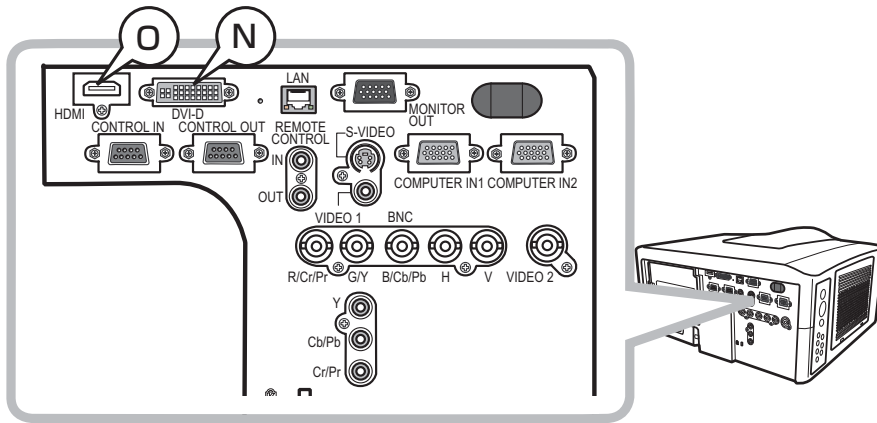
・入力信号：1.0 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端

㉗ コンポーネント (COMPONENT) Y, Cb/Pb, Cr/Pr

RCA ジャック× 3

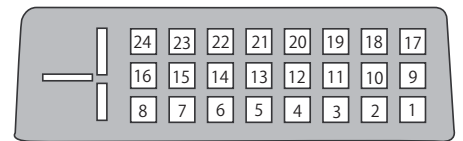
・信号方式：480i@60, 480p@60, 567i@50, 720p@50/60,
1080i@50/60, 1080p@50/60

端子	信号
Y	コンポーネントビデオ Y : 1.0 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端、コンポジットシンク
Cb / Pb	コンポーネントビデオ Cb / Pb, : 0.7 ± 0.1Vp-p, 75 Ω終端
Cr / Pr	コンポーネントビデオ Cr / Pr, : 0.7 ± 0.1Vp-p, 75 Ω終端



Ⓝ DVI-D

DVI-D (デジタル信号のみ対応)

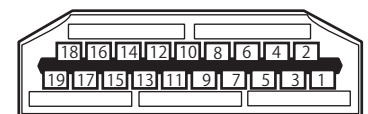


ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	T.M.D.S. データ 2 -	13	-
2	T.M.D.S. データ 2 +	14	+ 5V 電源
3	T.M.D.S. データ 2/4 シールド	15	接地 (+ 5V 用)
4	-	16	ホットプラグ検出
5	-	17	T.M.D.S. データ 0 -
6	DDC クロック	18	T.M.D.S. データ 0 +
7	DDC データ	19	T.M.D.S. データ 0/5 シールド
8	-	20	-
9	T.M.D.S. データ 1 -	21	-
10	T.M.D.S. データ 1 +	22	T.M.D.S. クロック シールド
11	T.M.D.S. データ 1/3 シールド	23	T.M.D.S. クロック +
12	-	24	T.M.D.S. クロック -

技術情報編

Ⓞ HDMI

HDMI デジタルオーディオ / ビデオコネクタ



ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	T.M.D.S. データ 2 +	11	T.M.D.S. データ 1 シールド
2	T.M.D.S. データ 2 シールド	12	T.M.D.S. クロック -
3	T.M.D.S. データ 2 -	13	CEC
4	T.M.D.S. データ 2 1+	14	予備 (非結線)
5	T.M.D.S. データ 1 シールド	15	SCL
6	T.M.D.S. データ 1 -	16	SDA
7	T.M.D.S. データ 0 +	17	DDC/CEC グランド
8	T.M.D.S. データ 0 シールド	18	+ 5V 電源
9	T.M.D.S. データ 0 -	19	ホットプラグ検出
10	クロック +		

PJLink™

本機は、PJLink™ の Class 1 に適合しています。

PJLink™ のパスワードは、Web ブラウザコントロールで設定したパスワードと同じです。認証なしで PJLink™ を使用する場合は、Web ブラウザコントロールにパスワードを設定しないでください。

PJLink™ の仕様については PJLink™ の Web サイトをご覧ください。

URL: <http://pjlink.jbmia.or.jp/> (2008年12月現在)

PJLink™ プロトコルを使用してプロジェクターを制御するには、下表をご参照ください。

お知らせ

● PJLink™ はデータプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。

コマンド	制御説明	送信又は回答パラメータ
POWR	パワーオン/オフ	0 = スタンバイ 1 = 電源入
POWR ?	パワーステータス確認	0 = スタンバイ 1 = 電源入 2 = 冷却中
INPT	入力(受信)信号確認	11 = COMPUTER IN 1 12 = COMPUTER IN 2 13 = BNC 21 = COMPONENT 22 = S-VIDEO 23 = VIDEO 1 24 = VIDEO 2 31 = HDMI 32 = DVI-D
INPT ?	受信信号確認	11 = COMPUTER IN 1 12 = COMPUTER IN 2 13 = BNC 21 = COMPONENT 22 = S-VIDEO 23 = VIDEO 1 24 = VIDEO 2 31 = HDMI 32 = DVI-D

(次ページにつづく)

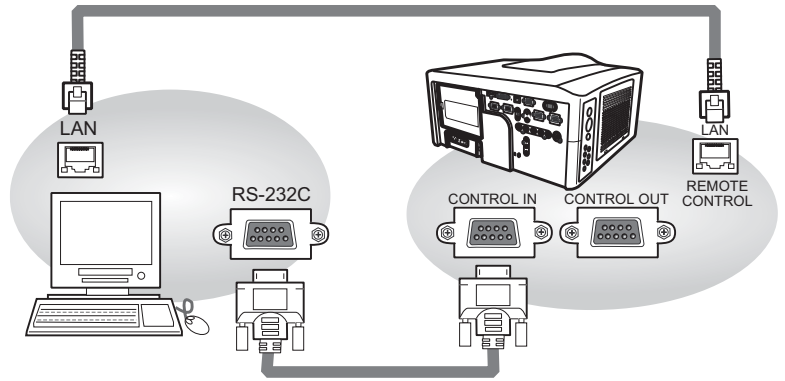
コマンド	制御説明	送信 又は 回答パラメータ
AVMT	AV ミュート (ブランク)	30 = 通常画面表示 (ブランクオフ) 31 = ブランク画面表示
AVMT ?	AV ミュート (ブランク) 状態確認	30 = 通常画面表示中 (ブランクオフ) 31 = ブランク画面表示中
ERST?	エラーステータス確認	1st byte : ファンエラー 2nd byte : ランプエラー 3rd byte : 温度エラー 4th byte : ランプカバーエラー 5th byte : フィルターエラー 6th byte : その他のエラー ※ 6 byte の回答コードが返されます。回答コードの各 エラーステータスは以下の通りです。 0 = 正常 1 = 警告 2 = エラー
LAMP ?	ランプステータス確認	1 データ目 : ランプ使用時間 (0 ~ 99999 時間) 2 データ目 : 0 = ランプ消灯中、1 = ランプ点灯中
INST ?	入力端子確認	11 12 13 21 22 23 24 31 32 ※本機の入力端子が回答されます。
NAME ?	プロジェクター名確認	※「ネットワーク」メニューの「プロジェクター名」で 設定した、本機の名前が回答されます。
INF1 ?	製造者名	HITACHI
INF2 ?	機種名確認	CP-X10000 (XGA 機種) CP-WX11000 (WXGA 機種) CP-SX12000 (SXGA 機種) ※ご使用のプロジェクターの機種名が回答されます。
INFO ?	その他の情報確認	※工場調節などに関する情報が回答されます。
CLSS ?	クラス情報確認	1

RS-232C 通信

本機を RS-232C 通信または LAN 通信でパソコンに接続すると、パソコンから RS-232C コマンドを使用して本機を制御することができます。

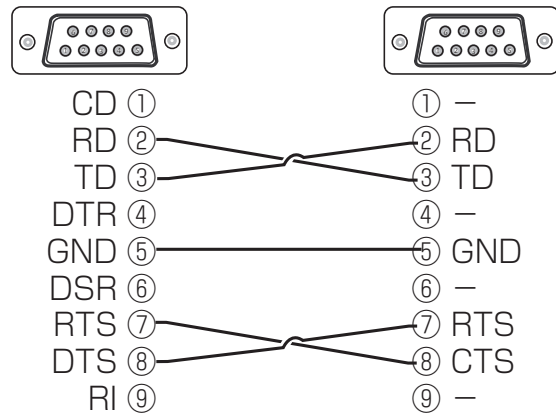
LAN 接続については、【ネットワーク編】の「3.6 ネットワークからのコマンド制御」(P3-34) をご覧ください。

RS-232C コマンドの詳細は、本編の「RS-232C コマンド一覧」(P4-19) をご参照ください。



パソコンの RS-232C 端子

本機の CONTROL IN 端子



機器の接続

1. 本機とパソコンの電源を切ってください。
2. パソコンの RS-232C 端子と本機の CONTROL IN 端子を、RS-232C (クロス)ケーブルで接続してください。ケーブルは右図の配線仕様のものをご使用ください。
3. パソコンの電源を入れ、パソコンが起動した後に、本機の電源を入れてください。

通信設定

本機の通信に関する設定は、「その他」メニュー、「特別な設定」の「通信設定」メニューを操作して設定してください。(P2-28 ~ 30)

1. シリアル設定

通信速度 (ボーレート) とパリティは、「通信設定」メニューの「シリアルイン設定」を操作して設定してください。(P2-29) 設定はパソコンの設定に合わせてください。

2. 通信コマンド ("h" は 16 進数を示します。)

機能	バイト番号												
	コマンド		ヘッダ				データ						
	L	H	ヘッダコード	パケット	データサイズ		CRC フラグ		アクション		タイプ		セッティング
				L	H	L	H	L	H	L	H	L	H
《設定》 プロジェクターの、項目 [(bL)(bH)] を [(cL)(cH)] に従って設定する。	BEh	EFh	03h	06h	00h	(aL)	(aH)	01h	00h	(bL)	(bH)	(cL)	(cH)
《取得》 プロジェクターの、項目 [(bL)(bH)] の設定値を問い合わせる。	BEh	EFh	03h	06h	00h	(aL)	(aH)	02h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h
《増加》 プロジェクターの、項目 [(bL)(bH)] の設定値を 1 上げる。	BEh	EFh	03h	06h	00h	(aL)	(aH)	04h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h
《減少》 プロジェクターの、項目 [(bL)(bH)] の設定値を 1 下げる。	BEh	EFh	03h	06h	00h	(aL)	(aH)	05h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h
《実行》 プロジェクターの、機能 [(bL)(bH)] を実行する。	BEh	EFh	03h	06h	00h	(aL)	(aH)	06h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h

(次ページにつづく)

(1) [ヘッダコード][パケット][データサイズ]

バイト番号 0 ~ 4 の 5 バイトには、常に [BEh, EFh, 03h, 06h, 00h] を設定してください。

(2) [アクション]

バイト番号 7, 8 には、機能別コードを設定してください。

《設定》=[01h, 00h]、《取得》=[02h, 00h]、

《増加》=[04h, 00h]、《減少》=[05h, 00h]、《実行》=[06h, 00h]、

前頁の表をご参照ください。

(3) [CRC フラグ]、[タイプ][セッティング]

バイト番号 5, 6, 9 ~ 12 については、「RS-232C コマンド一覧」(図4-19)に従ってください。

3. 応答コードおよびエラーコード ("h" は 16 進数を示します。)

(1) 本機の設定を変更する場合 《設定》

コマンドを正常受信すると、[タイプ]で指定された項目を[セッティング]で指定した値に従って設定し、応答コード [06h] をパソコンへ返信します。

(2) 本機の状態を問い合わせる場合 《取得》

コマンドを正常受信すると、応答コード [1Dh + (回答 2 バイト)] をパソコンへ返信します。

(3) 本機の設定値を増やす場合 《増加》

コマンドを正常受信すると、[タイプ]で指定された項目の設定値を 1 増やし、応答コード [06h] をパソコンへ返信します。

(4) 本機の設定値を減らす場合 《減少》

コマンドを正常受信すると、[タイプ]で指定された項目の設定値を 1 減らし、応答コード [06h] をパソコンへ返信します。

(5) 本機の機能を実行する場合 《実行》

コマンドを正常受信すると、[タイプ]で指定された機能を実行し、応答コード [06h] をパソコンへ返信します。

(6) 本機が受信したコマンドを理解できない場合

無効なコマンドを受信した場合や、本機がコマンドを正しく受信できなかった場合は、エラーコード [15h] をパソコンへ返信します。

この場合は、送信したコマンドをご確認のうえ、再度送信してください。

(7) 本機が受信したコマンドを実行できない場合

正常なコマンドを受信し、何らかの理由で実行できなかった場合は、エラーコード [1Ch, 00h, 00h] をパソコンへ返信します。

この場合は、送信したコマンドや本機の設定状態をご確認ください。

お知らせ

- 機器の接続については、各機器の説明書をよくお読みの上、適切なケーブルで正しく接続してください。
- 本機が未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。
- 応答コードと他のコードの間隔は 40ms 以上あけてください。
- コマンドの長さが所定より長い場合は余分なコードを無視し、短い場合は、《エラーコード = 15 h》をパソコンへ送信します。
- 本機の電源スイッチを入れたときやランプ点灯後に、本機からテスト用のデータが出力されますが、故障ではありません。
- ウォームアップ中、本機はコマンドを受信できません。

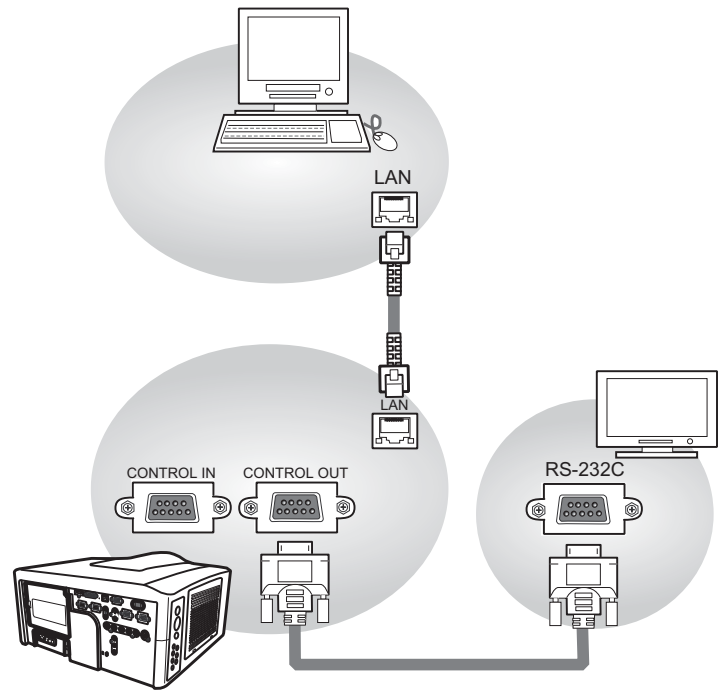
ネットワークブリッジ

本機はネットワークブリッジ機能を備えています。本機をパソコンへLAN通信で接続すると、本機へRS-232C通信で接続した別の機器を、パソコンからネットワーク端末と同様に制御することができます。

詳しくは【ネットワーク編】の「3.7 プロジェクターを経由して外部機器を制御する」(☞3-37)をご覧ください。

機器の接続

1. パソコンのLAN端子と本機のLAN端子を、LANケーブルで接続してください。
2. 本機のCONTROL OUT端子と制御したい機器のRS-232C端子を、RS-232Cケーブルで接続してください。



通信設定

本機の通信に関する設定には、主に「その他」メニュー、「特別な設定」の「通信設定」を使用します。通信ポートの設定については【ネットワーク編】をご覧ください。(☞3-38)

1. シリアル設定

通信速度(ボーレート)とパリティは、「通信設定」メニューの「シリアルアウト設定」を操作して設定してください。(☞2-29)

通信速度：4800bps/9600bps/19200bps/38400bps

データ長：8ビット(固定)

パリティ：無し/奇数/偶数

スタートビット：1ビット(固定)

ストップビット：1ビット(固定)

2. 通信タイプ

「通信設定」メニューの「通信タイプ」で「ネットワークブリッジ」を選択してください。(☞2-28)

3. 通信方式

通信タイプにネットワークブリッジが設定されると、「通信設定」メニューの「通信方式」で、「半二重通信」または「全二重通信」をお選びいただけます(☞2-29)。用途に合わせて選択してください(☞3-39)。

お知らせ

- 機器の接続については、各機器の説明書をよくお読みの上、適切なケーブルで正しく接続してください。
- ケーブルの接続は、本機および接続機器の電源が切れた状態で行ってください。

ダイジーチェーン

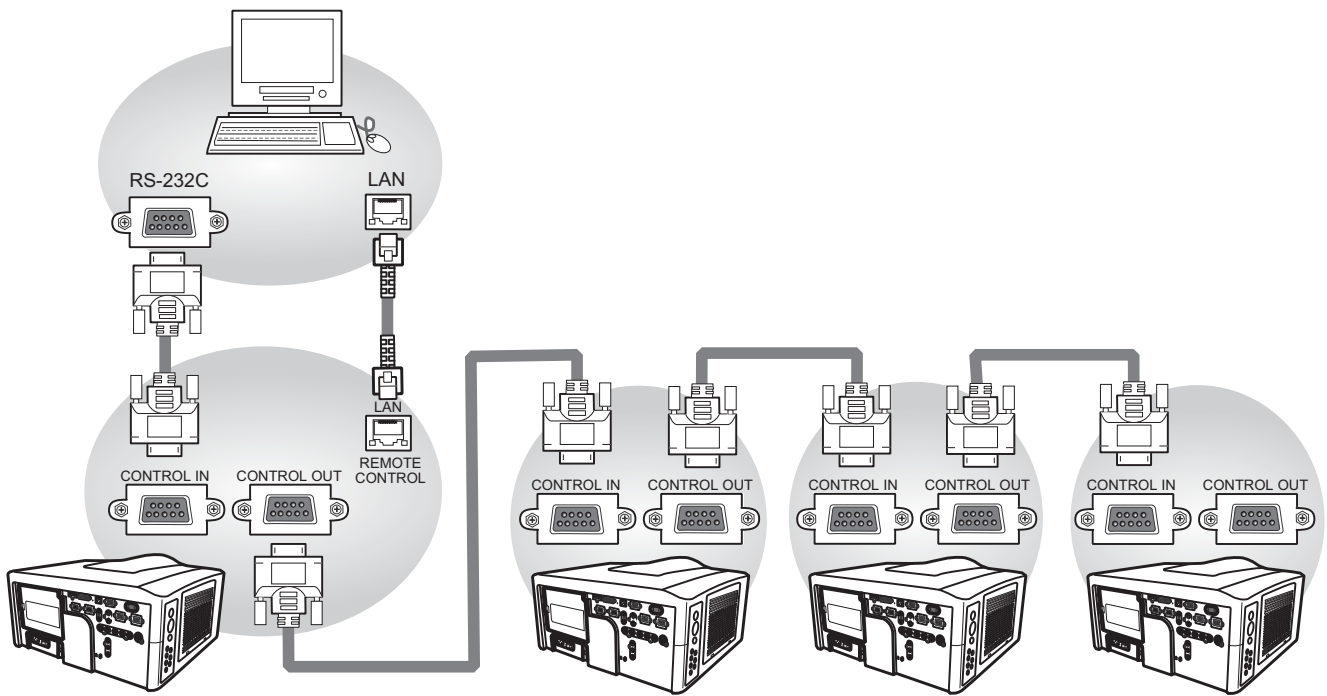
本機はダイジーチェーン機能を備えています。複数の本機を同時制御したいとき、そのうちの1台をパソコンに接続し、その他の本機をRS-232C通信で数珠つなぎにすると、つながれた全ての本機をパソコンから制御することができます。

詳しくは【ネットワーク編】の「3.8 複数のプロジェクターを一括制御する」(3-41)をご覧ください。

機器の接続

パソコンと、同時制御したい複数の本機を順次接続します。

1. パソコンのLAN 端子と本機1台目のLAN 端子をLAN ケーブルで接続してください。
または、パソコンのRS-232C 端子と本機1台目のCONTROL IN 端子をRS-232C(クロス) ケーブル (4-12) で、接続してください。
2. 本機1台目のCONTROL OUT 端子と、本機2台目のCONTROL IN 端子をRS-232C ケーブルで接続してください。
同様に、パソコンに近い方の本機のCONTROL OUT 端子と次の本機のCONTROL IN 端子をRS-232C ケーブルで、順次接続してください。



通信設定

本機の通信に関する設定は、「その他」メニュー、「特別な設定」の「通信設定」を操作して設定してください。通信ポートの設定については【ネットワーク編】をご覧ください。(3-42)

(次ページにつづく)

お知らせ

- 機器の接続については、各機器の説明書をよくお読みの上、適切なケーブルで正しく接続してください。
- ケーブルの接続は、本機および接続機器の電源が切れた状態で行ってください。

デジチェーン (つづき)

1. シリアル設定

通信速度 (ボーレート) とパリティは、「通信設定」メニューの「シリアルイン設定」または「シリアルアウト設定」を操作して設定してください。(☞2-29)

通信速度：4800bps/9600bps/19200bps/38400bps

データ長：8ビット (固定) パリティ：無し / 奇数 / 偶数

スタートビット：1ビット (固定) ストップビット：1ビット (固定)

2. 通信タイプ

「通信設定」メニューの「通信タイプ」で「デジチェーン」を選択してください。(☞2-28)

3. 通信グループ / 通信 ID 設定

デジチェーンで接続された複数の本機は、通信グループ別、通信 ID 別に制御することができます。通信グループおよび通信 ID は、プロジェクター毎に「通信設定」メニューの「通信グループ」、「通信 ID」で設定を行ってください。(☞2-30)

4. 通信コマンド ("h" は 16 進数を示します。)

バイト番号		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
機能	コマンド	ヘッダ						コマンドデータ							
		ヘッダコード		パケット	データサイズ	グループ	ID	チェックサム	アクション		タイプ		セッティング		
		L	H						L	H	L	H	L	H	
《設定》	通信グループ [(a)]、通信 ID[(b)] のプロジェクターの、項目 [(dL)(dH)] を [(eL)(eH)] に従って設定する。	BEh	EFh	83h	06h	(a)	(b)	(c)	01h	00h	(dL)	(dH)	(eL)	(eH)	
《取得》	通信グループ [(a)]、通信 ID[(b)] のプロジェクターの、項目 [(dL)(dH)] の設定値を、参照番号 [(eL)] で問い合わせる。	BEh	EFh	83h	06h	(a)	(b)	(c)	02h	00h	(dL)	(dH)	(eL)	00h	
《増加》	通信グループ [(a)]、通信 ID[(b)] のプロジェクターの、項目 [(dL)(dH)] の設定値を 1 上げる。	BEh	EFh	83h	06h	(a)	(b)	(c)	04h	00h	(dL)	(dH)	00h	00h	
《減少》	通信グループ [(a)]、通信 ID[(b)] のプロジェクターの、項目 [(dL)(dH)] の設定値を 1 下げる。	BEh	EFh	83h	06h	(a)	(b)	(c)	05h	00h	(dL)	(dH)	00h	00h	
《実行》	通信グループ [(a)]、通信 ID[(b)] のプロジェクターの、機能 [(dL)(dH)] を実行する。	BEh	EFh	83h	06h	(a)	(b)	(c)	06h	00h	(dL)	(dH)	00h	00h	
《取得》	最終接続機の接続順位 (= 接続台数) と、最終接続機の通信グループおよび通信 ID を問い合わせる。	BEh	EFh	84h	06h	00h	00h	(c)	02h	00h	00h	00h	(eL)	00h	
《設定》	接続順位 [(dL)(dH)] のプロジェクターの、通信グループを [(a)] に、通信 ID を [(b)] に設定する。	BEh	EFh	85h	06h	(a)	(b)	(c)	01h	00h	(dL)	(dH)	00h	00h	
《取得》	接続順位 [(dL)(dH)] のプロジェクターの、通信グループと通信 ID を問い合わせる。	BEh	EFh	86h	06h	00h	00h	(c)	02h	00h	(dL)	(dH)	(eL)	00h	

(1) [ヘッダコード]、[データサイズ]

バイト番号 0, 1 には [BEh, EFh]、バイト番号 3 には [06h] を設定してください。

(2) [パケット]

バイト番号 2 には、上表に従って [83h]、[84h]、[85h]、[86h] のいずれかを設定してください。

(次ページにつづく)

(3) [グループ][ID]

バイト番号 4 には制御するプロジェクターの通信グループ (☑2-30) を設定します。通信グループの A ~ P を 01h ~ 10h (10 進の 1 ~ 16) の数値に置き換えて設定してください。

バイト番号 5 には制御するプロジェクターの通信 ID (☑2-30) を指定します。通信 ID の 1 ~ 64 (01h ~ 40h) の数値を設定してください。

通信グループ、通信 ID および接続順位を問い合わせるコマンドでは [00h, 00h] を設定してください。

例) 通信グループ B、通信 ID=10 のプロジェクターを制御する場合 ⇒ [02h, 0Ah]

グループ	ID	制御対象
00h	00h	全ての通信グループの、全ての通信 ID のプロジェクターを制御します。
00h	01h ~ 40h	全ての通信グループの、[ID] で指定する通信 ID のプロジェクターを制御します。
01h ~ 10h	00h	[グループ] で指定する通信グループの、全ての通信 ID のプロジェクターを制御します。
01h ~ 10h	01h ~ 40h	[グループ] で指定する通信グループの、[ID] で指定する通信 ID のプロジェクターを制御します。

(4) [アクション]

バイト番号 7, 8 には、機能別コードを設定してください。

《設定》=[01h, 00h]、《取得》=[02h, 00h]、

《増加》=[04h, 00h]、《減少》=[05h, 00h]、《実行》=[06h, 00h]、

前頁の表をご参照ください。

(5) [タイプ]

[パケット]=[83h] のコマンドでは、バイト番号 9, 10 には通常の RS-232C 通信と同様に、制御する項目や機能を指定します。「RS-232C コマンド一覧」(☑4-19) をご参照ください。

[パケット]=[84h]、[85h]、[86h] のコマンドでは、バイト番号 9, 10 には制御するプロジェクターの接続順位 (パソコンに近い方から何番目に接続されているかの順位) を指定します。本機のデジチェーンでは最大 65535 台までプロジェクターが接続可能です。1 ~ 65535 の範囲で指定してください。

接続順位を問い合わせる [パケット]=[84h] のコマンドでは、[00h, 00h] を設定してください。

(6) [セッティング]

[パケット]=[83h]、[アクション]=[01h] のコマンドでは、バイト番号 11, 12 には通常の RS-232C 通信と同様に、設定内容を指定します。「RS-232C コマンド一覧」(☑4-19) をご参照ください。

《取得》コマンド ([アクション]=[02h]) では、バイト番号 11 には参照番号を設定することができます。01h ~ FF h (1 ~ 255) の範囲で指定してください。このとき、バイト番号 12 には 00h を設定してください。《取得》コマンドの応答にはこの参照番号が添付されます。

その他のコマンドでは、バイト番号 11, 12 には [00h, 00h] を設定してください。

(7) [チェックサム]

コマンド 13 バイトのうち、[チェックサム] (1 バイト) を除く 12 バイトのデータを合計し、その下位 1 バイトのビット反転した値に 1 を足した値を設定します。

例) 通信グループ = A、通信 ID=1 のプロジェクターをスタンバイ状態からオンにする場合、

コマンド = [BEh, EFh, 83h, 06h, 01h, 01h, [チェックサム], 01h, 00h, 00h, 60h, 01h, 00h]
各バイトの合計値 = [029Ah] (0000 0010 **1001 1010**)

下位バイト反転値 + 1 ⇒ (0110 0101) + 1 = (0110 0110) = 66h

デジチェーン (つづき)

5. 応答コードおよびエラーコード ("h" は 16 進数を示します。)

デジチェーン接続での RS-232C 通信では、本機は《取得》コマンドにのみ応答します。

(1) 本機の状態を問い合わせた場合の応答 《取得》

コマンドの パケット	0	1	2	3	4	5	6	7
83h	9Dh	02h	[参照番号]	00h	[※ 設定値]	-	-	-
84h	9Eh	04h	[参照番号]	00h	[※ 接続台数]	[※最終 接続機の グループ]	[※最終 接続機 のID]	-
86h	90h	04h	[参照番号]	00h	[接続順位]	[※ グループ]	[※ ID]	-

[※] の項目が《取得》コマンドの問い合わせに対する回答です (図4-16)。[参照番号] と、[パケット]=[86h] のコマンドの [接続順位] には、《取得》コマンドで指定された値を返信します。

(2) 本機が受信したコマンドを理解できない場合の応答

コマンドの パケット	0	1	2	3	4	5	6	7
83h	95h	02h	[参照番号]	00h	00h	00h	-	-
84h	96h	04h	[参照番号]	00h	00h	00h	00h	00h
86h	97h	04h	[参照番号]	00h	00h	00h	00h	00h

[参照番号] には、《取得》コマンドで指定された値を返信します。これらの応答があった場合は、送信したコマンドを確認し、正しいコマンドを送信し直してください。

(3) 本機が受信したコマンドを実行できない場合の応答

コマンドの パケット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
83h	9Ch	02h	[参照番号]	00h	[エラー コード]	00h	-	-	-	-
84h	9Fh	06h	[参照番号]	00h	[エラー検出機の 接続順位]	[エラー 検出機の グループ]	[エラー 検出機の ID]	[エラー コード]	00h	-
86h	91h	06h	[参照番号]	00h	[エラー検出機の 接続順位]	[エラー 検出機の グループ]	[エラー 検出機の ID]	[エラー コード]	00h	-

[参照番号] には、《取得》コマンドで指定された値を返信します。[エラーコード] は以下の通りです。

エラーコード	エラーの内容
00h	接続順位 1 のプロジェクター (パソコンに直接接続しているプロジェクター) が通信処理に失敗した場合
01h	プロジェクターとプロジェクターの間で通信処理に失敗した場合
02h	指定されたプロジェクターが無い場合

これらの応答があった場合は、送信したコマンドや各プロジェクターの設定状態をご確認ください。

お知らせ

- 本機が未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。
- 応答コードと他のコードの間隔は 40ms 以上あけてください。
- 本機の電源スイッチを入れたとき、およびランプ点灯後に本機からテスト用のデータが出力されますが、無視してください。
- 接続している間、2 回目以降のコマンドデータ送信では認証データを省略できます。
- ウォームアップ中、本機はコマンドを受信できません。

RS-232C コマンド一覧

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
パワー	Set	オフ	BE EF	03	06 00	2A D3	01 00	00 60	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	BA D2	01 00	00 60	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	19 D3	02 00	00 60	00 00
			回答コード data(2 bytes) 例						
			00 00	01 00	02 00				
			[オフ]	[オン]	[冷却動作中]				
入力切替	Set	COMPUTER1	BE EF	03	06 00	FE D2	01 00	00 20	00 00
		COMPUTER2	BE EF	03	06 00	3E D0	01 00	00 20	04 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	0E D2	01 00	00 20	03 00
		VIDEO1	BE EF	03	06 00	6E D3	01 00	00 20	01 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	9E D3	01 00	00 20	02 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	AE D1	01 00	00 20	05 00
		BNC	BE EF	03	06 00	CE D0	01 00	00 20	07 00
		DVI-D	BE EF	03	06 00	AE D4	01 00	00 20	09 00
	VIDEO2	BE EF	03	06 00	5E D4	01 00	00 20	0A 00	
	Get	BE EF	03	06 00	CD D2	02 00	00 20	00 00	
エラーステータス	Get	BE EF	03	06 00	D9 D8	02 00	20 60	00 00	
		回答コード data(2 bytes) 例							
		00 00	01 00	02 00	03 00				
			[正常]	[ランプカバーエラー]	[ファンエラー]	[ランプエラー]			
			04 00	05 00	07 00	08 00			
			[温度エラー]	[吸気エラー]	[低温エラー]	[フィルターエラー]			
			0F 00	10 00					
			[シャッターエラー]	[レンズシフトエラー]					
拡大	Get	BE EF	03	06 00	7C D2	02 00	07 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	1A D2	04 00	07 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	CB D3	05 00	07 30	00 00	
静止	Set	通常表示	BE EF	03	06 00	83 D2	01 00	02 30	00 00
		静止	BE EF	03	06 00	13 D3	01 00	02 30	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	B0 D2	02 00	02 30	00 00
明るさ	Get	BE EF	03	06 00	89 D2	02 00	03 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	EF D2	04 00	03 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	3E D3	05 00	03 20	00 00	
明るさ リセット	Execute	BE EF	03	06 00	58 D3	06 00	00 70	00 00	
コントラスト	Get	BE EF	03	06 00	FD D3	02 00	04 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	9B D3	04 00	04 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	4A D2	05 00	04 20	00 00	
コントラスト リセット	Execute	BE EF	03	06 00	A4 D2	06 00	01 70	00 00	

RS-232C 通信 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ																																										
	設定内容						CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード																																							
映像モード	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	23 F6	01 00	BA 30	00 00																																								
		シネマ	BE EF	03	06 00	B3 F7	01 00	BA 30	01 00																																								
		ダイナミック	BE EF	03	06 00	E3 F4	01 00	BA 30	04 00																																								
		黒板(黒)	BE EF	03	06 00	E3 EF	01 00	BA 30	20 00																																								
		黒板(緑)	BE EF	03	06 00	73 EE	01 00	BA 30	21 00																																								
		ホワイトボード	BE EF	03	06 00	83 EE	01 00	BA 30	22 00																																								
		デイトム	BE EF	03	06 00	E3 C7	01 00	BA 30	40 00																																								
	カスタム	BE EF	03	06 00	E3 FB	01 00	BA 30	10 00																																									
		Get	BE EF	03	06 00	10 F6	02 00	BA 30	00 00																																								
	回答コード data(2 bytes) 例																																																
<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="text-align:center;">00 00</td> <td style="text-align:center;">01 00</td> <td style="text-align:center;">04 00</td> <td style="text-align:center;">10 00</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">[ノーマル]</td> <td style="text-align:center;">[シネマ]</td> <td style="text-align:center;">[ダイナミック]</td> <td style="text-align:center;">[カスタム]</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">20 00</td> <td style="text-align:center;">21 00</td> <td style="text-align:center;">22 00</td> <td style="text-align:center;">40 00</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">[黒板(黒)]</td> <td style="text-align:center;">[黒板(緑)]</td> <td style="text-align:center;">[ホワイトボード]</td> <td style="text-align:center;">[デイトム]</td> <td colspan="6"></td> </tr> </table>										00 00	01 00	04 00	10 00							[ノーマル]	[シネマ]	[ダイナミック]	[カスタム]							20 00	21 00	22 00	40 00							[黒板(黒)]	[黒板(緑)]	[ホワイトボード]	[デイトム]						
00 00	01 00	04 00	10 00																																														
[ノーマル]	[シネマ]	[ダイナミック]	[カスタム]																																														
20 00	21 00	22 00	40 00																																														
[黒板(黒)]	[黒板(緑)]	[ホワイトボード]	[デイトム]																																														
ガンマ	Set	デフォルト-1	BE EF	03	06 00	07 E9	01 00	A1 30	20 00																																								
		カスタム-1	BE EF	03	06 00	07 FD	01 00	A1 30	10 00																																								
		デフォルト-2	BE EF	03	06 00	97 E8	01 00	A1 30	21 00																																								
		カスタム-2	BE EF	03	06 00	97 FC	01 00	A1 30	11 00																																								
		デフォルト-3	BE EF	03	06 00	67 E8	01 00	A1 30	22 00																																								
		カスタム-3	BE EF	03	06 00	67 FC	01 00	A1 30	12 00																																								
		デフォルト-4	BE EF	03	06 00	F7 E9	01 00	A1 30	23 00																																								
		カスタム-4	BE EF	03	06 00	F7 FD	01 00	A1 30	13 00																																								
		デフォルト-5	BE EF	03	06 00	C7 EB	01 00	A1 30	24 00																																								
		カスタム-5	BE EF	03	06 00	C7 FF	01 00	A1 30	14 00																																								
	デフォルト-6	BE EF	03	06 00	57 EA	01 00	A1 30	25 00																																									
カスタム-6	BE EF	03	06 00	57 FE	01 00	A1 30	15 00																																										
	Get	BE EF	03	06 00	F4 F0	02 00	A1 30	00 00																																									
ガンマ カスタム パターン	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FB FA	01 00	80 30	00 00																																								
		9ステップ グレイスケール	BE EF	03	06 00	6B FB	01 00	80 30	01 00																																								
		15ステップ グレイスケール	BE EF	03	06 00	9B FB	01 00	80 30	02 00																																								
	ランプ波形	BE EF	03	06 00	0B FA	01 00	80 30	03 00																																									
	Get	BE EF	03	06 00	C8 FA	02 00	80 30	00 00																																									
カスタムガンマ ポイント-1	Get	BE EF	03	06 00	08 FE	02 00	90 30	00 00																																									
	Increment	BE EF	03	06 00	6E FE	04 00	90 30	00 00																																									
	Decrement	BE EF	03	06 00	BF FF	05 00	90 30	00 00																																									
カスタムガンマ ポイント-1 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	58 C2	06 00	50 70	00 00																																									
カスタムガンマ ポイント-2	Get	BE EF	03	06 00	F4 FF	02 00	91 30	00 00																																									
	Increment	BE EF	03	06 00	92 FF	04 00	91 30	00 00																																									
	Decrement	BE EF	03	06 00	43 FE	05 00	91 30	00 00																																									
カスタムガンマ ポイント-2 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	A4 C3	06 00	51 70	00 00																																									
カスタムガンマ ポイント-3	Get	BE EF	03	06 00	B0 FF	02 00	92 30	00 00																																									
	Increment	BE EF	03	06 00	D6 FF	04 00	92 30	00 00																																									
	Decrement	BE EF	03	06 00	07 FE	05 00	92 30	00 00																																									
カスタムガンマ ポイント-3 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	E0 C3	06 00	52 70	00 00																																									

項目名	オペレーションタイプ	ヘッダコード			コマンドデータ				
	設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード	
カスタムガンマ ポイント-4	Get	BE EF	03	06 00	4C FE	02 00	93 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	2A FE	04 00	93 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	FB FF	05 00	93 30	00 00	
カスタムガンマ ポイント-4 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	1C C2	06 00	53 70	00 00	
カスタムガンマ ポイント-5	Get	BE EF	03	06 00	38 FF	02 00	94 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	5E FF	04 00	94 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	8F FE	05 00	94 30	00 00	
カスタムガンマ ポイント-5 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	68 C3	06 00	54 70	00 00	
カスタムガンマ ポイント-6	Get	BE EF	03	06 00	C4 FE	02 00	95 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	A2 FE	04 00	95 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	73 FF	05 00	95 30	00 00	
カスタムガンマ ポイント-6 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	94 C2	06 00	55 70	00 00	
カスタムガンマ ポイント-7	Get	BE EF	03	06 00	80 FE	02 00	96 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	E6 FE	04 00	96 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	37 FF	05 00	96 30	00 00	
カスタムガンマ ポイント-7 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	D0 C2	06 00	56 70	00 00	
カスタムガンマ ポイント-8	Get	BE EF	03	06 00	7C FF	02 00	97 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	1A FF	04 00	97 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	CB FE	05 00	97 30	00 00	
カスタムガンマ ポイント-8 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	2C C3	06 00	57 70	00 00	
色温度	Set	高	BE EF	03	06 00	0B F5	01 00	B0 30	03 00
		カスタム-1(高)	BE EF	03	06 00	CB F8	01 00	B0 30	13 00
		中	BE EF	03	06 00	9B F4	01 00	B0 30	02 00
		カスタム-2(中)	BE EF	03	06 00	5B F9	01 00	B0 30	12 00
		低	BE EF	03	06 00	6B F4	01 00	B0 30	01 00
		カスタム-3(低)	BE EF	03	06 00	AB F9	01 00	B0 30	11 00
		ハイブライト-1	BE EF	03	06 00	3B F2	01 00	B0 30	08 00
		カスタム-4 (ハイブライト-1)	BE EF	03	06 00	FB FF	01 00	B0 30	18 00
		ハイブライト-2	BE EF	03	06 00	AB F3	01 00	B0 30	09 00
		カスタム-5 (ハイブライト-2)	BE EF	03	06 00	6B FE	01 00	B0 30	19 00
		ハイブライト-3	BE EF	03	06 00	5B F3	01 00	B0 30	0A 00
カスタム-6 (ハイブライト-3)	BE EF	03	06 00	9B FE	01 00	B0 30	1A 00		
Get	BE EF	03	06 00	C8 F5	02 00	B0 30	00 00		
色温度 ゲイン-R	Get	BE EF	03	06 00	34 F4	02 00	B1 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	52 F4	04 00	B1 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	83 F5	05 00	B1 30	00 00	
色温度 ゲイン-R リセット	Execute	BE EF	03	06 00	10 C6	06 00	46 70	00 00	
色温度 ゲイン-G	Get	BE EF	03	06 00	70 F4	02 00	B2 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	16 F4	04 00	B2 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	C7 F5	05 00	B2 30	00 00	
色温度 ゲイン-G リセット	Execute	BE EF	03	06 00	EC C7	06 00	47 70	00 00	

RS-232C 通信 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード			コマンドデータ			
	設定内容					CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
色温度 ゲイン -B	Get		BE EF	03	06 00	8C F5	02 00	B3 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	EA F5	04 00	B3 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	3B F4	05 00	B3 30	00 00
色温度ゲイン-B リセット	Execute		BE EF	03	06 00	F8 C4	06 00	48 70	00 00
色温度 オフセット -R	Get		BE EF	03	06 00	04 F5	02 00	B5 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	62 F5	04 00	B5 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	B3 F4	05 00	B5 30	00 00
色温度 オフセット -R リセット	Execute		BE EF	03	06 00	40 C5	06 00	4A 70	00 00
色温度オフセット-G	Get		BE EF	03	06 00	40 F5	02 00	B6 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	26 F5	04 00	B6 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	F7 F4	05 00	B6 30	00 00
色温度オフセット-G リセット	Execute		BE EF	03	06 00	BC C4	06 00	4B 70	00 00
色温度 オフセット -B	Get		BE EF	03	06 00	BC F4	02 00	B7 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	DA F4	04 00	B7 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	0B F5	05 00	B7 30	00 00
色温度 オフセット -B リセット	Execute		BE EF	03	06 00	C8 C5	06 00	4C 70	00 00
色の濃さ	Get		BE EF	03	06 00	B5 72	02 00	02 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	D3 72	04 00	02 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	02 73	05 00	02 22	00 00
色の濃さ リセット	Execute		BE EF	03	06 00	80 D0	06 00	0A 70	00 00
色あい	Get		BE EF	03	06 00	49 73	02 00	03 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	2F 73	04 00	03 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	FE 72	05 00	03 22	00 00
色あい リセット	Execute		BE EF	03	06 00	7C D1	06 00	0B 70	00 00
画質	Get		BE EF	03	06 00	F1 72	02 00	01 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	97 72	04 00	01 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	46 73	05 00	01 22	00 00
画質 リセット	Execute		BE EF	03	06 00	C4 D0	06 00	09 70	00 00
アクティブアイリス	Set	プレゼンテーション	BE EF	03	06 00	5B 2E	01 00	04 33	11 00
		シアター	BE EF	03	06 00	CB 2F	01 00	04 33	10 00
		マニュアル	BE EF	03	06 00	CB 3B	01 00	04 33	20 00
	Get		BE EF	03	06 00	38 22	02 00	04 33	00 00
マニュアルアイリス	Get		BE EF	03	06 00	B0 22	02 00	02 33	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	D6 22	04 00	02 33	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	07 23	05 00	02 33	00 00
マイメモリー ロード	Set	1	BE EF	03	06 00	0E D7	01 00	14 20	00 00
		2	BE EF	03	06 00	9E D6	01 00	14 20	01 00
		3	BE EF	03	06 00	6E D6	01 00	14 20	02 00
		4	BE EF	03	06 00	FE D7	01 00	14 20	03 00
マイメモリー セーブ	Set	1	BE EF	03	06 00	F2 D6	01 00	15 20	00 00
		2	BE EF	03	06 00	62 D7	01 00	15 20	01 00
		3	BE EF	03	06 00	92 D7	01 00	15 20	02 00
		4	BE EF	03	06 00	02 D6	01 00	15 20	03 00

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
	設定内容					CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
プログレッシブ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	4A 72	01 00	07 22	00 00
		TV	BE EF	03	06 00	DA 73	01 00	07 22	01 00
		フィルム	BE EF	03	06 00	2A 73	01 00	07 22	02 00
		Get	BE EF	03	06 00	79 72	02 00	07 22	00 00
VIDEO NR	Set	弱	BE EF	03	06 00	26 72	01 00	06 22	01 00
		中	BE EF	03	06 00	D6 72	01 00	06 22	02 00
		強	BE EF	03	06 00	46 73	01 00	06 22	03 00
		Get	BE EF	03	06 00	85 73	02 00	06 22	00 00
三次元 YC 分離	Set	静止画	BE EF	03	06 00	86 71	01 00	0A 22	02 00
		映画	BE EF	03	06 00	76 71	01 00	0A 22	01 00
		オフ	BE EF	03	06 00	E6 70	01 00	0A 22	00 00
		Get	BE EF	03	06 00	D5 70	02 00	0A 22	00 00
アスペクト	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	5E DD	01 00	08 20	10 00
		4:3	BE EF	03	06 00	9E D0	01 00	08 20	00 00
		16:9	BE EF	03	06 00	0E D1	01 00	08 20	01 00
		16:10 (* 3)	BE EF	03	06 00	3E D6	01 00	08 20	0A 00
		14:9	BE EF	03	06 00	CE D6	01 00	08 20	09 00
		スモール (* 1)	BE EF	03	06 00	FE D1	01 00	08 20	02 00
		リアル (* 2)	BE EF	03	06 00	5E D7	01 00	08 20	08 00
		フル (* 3)	BE EF	03	06 00	5E C9	01 00	08 20	20 00
	Get	BE EF	03	06 00	AD D0	02 00	08 20	00 00	
オーバースキャン		Get	BE EF	03	06 00	91 70	02 00	09 22	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	F7 70	04 00	09 22	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	26 71	05 00	09 22	00 00
オーバースキャン リセット		Execute	BE EF	03	06 00	EC D9	06 00	27 70	00 00
垂直位置		Get	BE EF	03	06 00	0D 83	02 00	00 21	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	6B 83	04 00	00 21	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	BA 82	05 00	00 21	00 00
垂直位置 リセット		Execute	BE EF	03	06 00	E0 D2	06 00	02 70	00 00
水平位置		Get	BE EF	03	06 00	F1 82	02 00	01 21	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	97 82	04 00	01 21	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	46 83	05 00	01 21	00 00
水平位置 リセット		Execute	BE EF	03	06 00	1C D3	06 00	03 70	00 00
クロック位相		Get	BE EF	03	06 00	49 83	02 00	03 21	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	2F 83	04 00	03 21	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	FE 82	05 00	03 21	00 00
水平サイズ		Get	BE EF	03	06 00	B5 82	02 00	02 21	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	D3 82	04 00	02 21	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	02 83	05 00	02 21	00 00
水平サイズ リセット		Execute	BE EF	03	06 00	68 D2	06 00	04 70	00 00
オートアジャスト 実行		Execute	BE EF	03	06 00	91 D0	06 00	0A 20	00 00
色空間	Set	オート	BE EF	03	06 00	0E 72	01 00	04 22	00 00
		RGB	BE EF	03	06 00	9E 73	01 00	04 22	01 00
		SMPTE240	BE EF	03	06 00	6E 73	01 00	04 22	02 00
		REC709	BE EF	03	06 00	FE 72	01 00	04 22	03 00
		REC601	BE EF	03	06 00	CE 70	01 00	04 22	04 00
		Get	BE EF	03	06 00	3D 72	02 00	04 22	00 00

(* 1) CP-X10000,CP-SX12000 のみ。 (* 2) CP-SX12000 のみ。 (* 3) CP-WX11000 のみ。

RS-232C 通信 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
COMPONENT	Set	COMPONENT	BE EF	03	06 00	4A D7	01 00	17 20	00 00
		SCART RGB	BE EF	03	06 00	DA D6	01 00	17 20	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	79 D7	02 00	17 20	00 00
ビデオフォーマット -S-VIDEO	Set	オート	BE EF	03	06 00	E6 70	01 00	12 22	0A 00
		NTSC	BE EF	03	06 00	86 74	01 00	12 22	04 00
		PAL	BE EF	03	06 00	16 75	01 00	12 22	05 00
		SECAM	BE EF	03	06 00	16 70	01 00	12 22	09 00
		NTSC4.43	BE EF	03	06 00	26 77	01 00	12 22	02 00
		M-PAL	BE EF	03	06 00	86 71	01 00	12 22	08 00
	N-PAL	BE EF	03	06 00	76 74	01 00	12 22	07 00	
	Get	BE EF	03	06 00	75 76	02 00	12 22	00 00	
ビデオフォーマット -VIDEO 1	Set	オート	BE EF	03	06 00	A2 70	01 00	11 22	0A 00
		NTSC	BE EF	03	06 00	C2 74	01 00	11 22	04 00
		PAL	BE EF	03	06 00	52 75	01 00	11 22	05 00
		SECAM	BE EF	03	06 00	52 70	01 00	11 22	09 00
		NTSC4.43	BE EF	03	06 00	62 77	01 00	11 22	02 00
		M-PAL	BE EF	03	06 00	C2 71	01 00	11 22	08 00
	N-PAL	BE EF	03	06 00	32 74	01 00	11 22	07 00	
	Get	BE EF	03	06 00	31 76	02 00	11 22	00 00	
ビデオフォーマット -VIDEO 2	Set	オート	BE EF	03	06 00	86 72	01 00	1A 22	0A 00
		NTSC	BE EF	03	06 00	E6 76	01 00	1A 22	04 00
		PAL	BE EF	03	06 00	76 77	01 00	1A 22	05 00
		SECAM	BE EF	03	06 00	76 72	01 00	1A 22	09 00
		NTSC4.43	BE EF	03	06 00	46 75	01 00	1A 22	02 00
		M-PAL	BE EF	03	06 00	E6 73	01 00	1A 22	08 00
	N-PAL	BE EF	03	06 00	16 76	01 00	1A 22	07 00	
	Get	BE EF	03	06 00	15 74	02 00	1A 22	00 00	
デジタルフォーマット -HDMI	Set	オート	BE EF	03	06 00	BA 77	01 00	13 22	00 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	2A 76	01 00	13 22	01 00
		COMPUTER	BE EF	03	06 00	DA 76	01 00	13 22	02 00
	Get	BE EF	03	06 00	89 77	02 00	13 22	00 00	
デジタルフォーマット -DVI-D	Set	オート	BE EF	03	06 00	62 74	01 00	19 22	00 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	F2 75	01 00	19 22	01 00
		COMPUTER	BE EF	03	06 00	02 75	01 00	19 22	02 00
	Get	BE EF	03	06 00	51 74	02 00	19 22	00 00	
デジタルレンジ -HDMI	Set	オート	BE EF	03	06 00	86 D8	01 00	22 20	00 00
		ノーマル	BE EF	03	06 00	16 D9	01 00	22 20	01 00
		拡張	BE EF	03	06 00	E6 D9	01 00	22 20	02 00
	Get	BE EF	03	06 00	B5 D8	02 00	22 20	00 00	
デジタルレンジ -DVD-I	Set	オート	BE EF	03	06 00	FE D4	01 00	20 20	10 00
		ノーマル	BE EF	03	06 00	3E D9	01 00	20 20	00 00
		拡張	BE EF	03	06 00	AE D8	01 00	20 20	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	0D D9	02 00	20 20	00 00	
COMPUTER- イン -COMPUTER1	Set	SYNC ON G オフ	BE EF	03	06 00	5E D7	01 00	10 20	02 00
		オート	BE EF	03	06 00	CE D6	01 00	10 20	03 00
		Get	BE EF	03	06 00	0D D6	02 00	10 20	00 00
COMPUTER- イン -COMPUTER2	Set	SYNC ON G オフ	BE EF	03	06 00	A2 D6	01 00	11 20	02 00
		オート	BE EF	03	06 00	32 D7	01 00	11 20	03 00
		Get	BE EF	03	06 00	F1 D7	02 00	11 20	00 00

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
COMPUTER- イン -BNC	Set	SYNC ON G オフ	BE EF	03	06 00	86 D4	01 00	1A 20	02 00
		オート	BE EF	03	06 00	16 D5	01 00	1A 20	03 00
		Get	BE EF	03	06 00	D5 D5	02 00	1A 20	00 00
フレームロック - COMPUTER IN1	Set	無効	BE EF	03	06 00	3B C2	01 00	50 30	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	AB C3	01 00	50 30	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	08 C2	02 00	50 30	00 00
フレームロック - COMPUTER IN2	Set	無効	BE EF	03	06 00	0B C3	01 00	54 30	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	9B C2	01 00	54 30	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	38 C3	02 00	54 30	00 00
フレームロック - BNC	Set	無効	BE EF	03	06 00	4F C3	01 00	57 30	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	DF C2	01 00	57 30	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	7C C3	02 00	57 30	00 00
フレームロック - HDMI	Set	無効	BE EF	03	06 00	7F C2	01 00	53 30	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	EF C3	01 00	53 30	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	4C C2	02 00	53 30	00 00
フレームロック - DVI-D	Set	無効	BE EF	03	06 00	A7 C1	01 00	59 30	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	37 C0	01 00	59 30	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	94 C1	02 00	59 30	00 00
垂直キーストン		Get	BE EF	03	06 00	B9 D3	02 00	07 20	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	DF D3	04 00	07 20	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	0E D2	05 00	07 20	00 00
垂直キーストン リセット		Execute	BE EF	03	06 00	08 D0	06 00	0C 70	00 00
オートキーストン実行		Execute	BE EF	03	06 00	E5 D1	06 00	0D 20	00 00
水平キーストン		Get	BE EF	03	06 00	E9 D0	02 00	0B 20	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	8F D0	04 00	0B 20	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	5E D1	05 00	0B 20	00 00
水平キーストン リセット		Execute	BE EF	03	06 00	98 D8	06 00	20 70	00 00
エコモード	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	3B 23	01 00	00 33	00 00
		エコ	BE EF	03	06 00	AB 22	01 00	00 33	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	08 23	02 00	00 33	00 00
反転表示	Set	通常表示	BE EF	03	06 00	C7 D2	01 00	01 30	00 00
		左右反転	BE EF	03	06 00	57 D3	01 00	01 30	01 00
		上下反転	BE EF	03	06 00	A7 D3	01 00	01 30	02 00
		上下左右反転	BE EF	03	06 00	37 D2	01 00	01 30	03 00
		Get	BE EF	03	06 00	F4 D2	02 00	01 30	00 00
モニターアウト - COMPUTER IN1	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	3E F4	01 00	B0 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	FE F6	01 00	B0 20	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	0E F6	01 00	B0 20	07 00
		オフ	BE EF	03	06 00	CE B5	01 00	B0 20	FF 00
		Get	BE EF	03	06 00	0D F4	02 00	B0 20	00 00
モニターアウト - COMPUTER IN2	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	0E F5	01 00	B4 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	CE F7	01 00	B4 20	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	3E F7	01 00	B4 20	07 00
		オフ	BE EF	03	06 00	FE B4	01 00	B4 20	FF 00
		Get	BE EF	03	06 00	3D F5	02 00	B4 20	00 00

RS-232C 通信 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
モニターアウト - BNC	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	4A F5	01 00	B7 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	8A F7	01 00	B7 20	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	7A F7	01 00	B7 20	07 00
		オフ	BE EF	03	06 00	BA B4	01 00	B7 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	79 F5	02 00	B7 20	00 00
モニターアウト - HDMI	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	7A F4	01 00	B3 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	BA F6	01 00	B3 20	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	4A F6	01 00	B3 20	07 00
		オフ	BE EF	03	06 00	8A B5	01 00	B3 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	49 F4	02 00	B3 20	00 00
モニターアウト - DVI-D	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	A2 F7	01 00	B9 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	62 F5	01 00	B9 20	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	92 F5	01 00	B9 20	07 00
		オフ	BE EF	03	06 00	52 B6	01 00	B9 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	91 F7	02 00	B9 20	00 00
モニターアウト - COMPONENT	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	F2 F4	01 00	B5 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	32 F6	01 00	B5 20	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	C2 F6	01 00	B5 20	07 00
		オフ	BE EF	03	06 00	02 B5	01 00	B5 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	C1 F4	02 00	B5 20	00 00
モニターアウト - S-VIDEO	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	86 F5	01 00	B2 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	46 F7	01 00	B2 20	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	B6 F7	01 00	B2 20	07 00
		オフ	BE EF	03	06 00	76 B4	01 00	B2 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	B5 F5	02 00	B2 20	00 00
モニターアウト - VIDEO1	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	C2 F5	01 00	B1 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	02 F7	01 00	B1 20	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	F2 F7	01 00	B1 20	07 00
		オフ	BE EF	03	06 00	32 B4	01 00	B1 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	F1 F5	02 00	B1 20	00 00
モニターアウト - VIDEO2	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	E6 F7	01 00	BA 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	26 F5	01 00	BA 20	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	D6 F5	01 00	BA 20	07 00
		オフ	BE EF	03	06 00	16 B6	01 00	BA 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	D5 F7	02 00	BA 20	00 00
モニターアウト - スタンバイ	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	2A F7	01 00	BF 20	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	EA F5	01 00	BF 20	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	1A F5	01 00	BF 20	07 00
		オフ	BE EF	03	06 00	DA B6	01 00	BF 20	FF 00
	Get		BE EF	03	06 00	19 F7	02 00	BF 20	00 00

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
	設定内容						CRC フラグ	アクション	タイプ
表示言語	Set	ENGLISH	BE EF	03	06 00	F7 D3	01 00	05 30	00 00
		FRANÇAIS	BE EF	03	06 00	67 D2	01 00	05 30	01 00
		DEUTSCH	BE EF	03	06 00	97 D2	01 00	05 30	02 00
		ESPAÑOL	BE EF	03	06 00	07 D3	01 00	05 30	03 00
		ITALIANO	BE EF	03	06 00	37 D1	01 00	05 30	04 00
		NORSK	BE EF	03	06 00	A7 D0	01 00	05 30	05 00
		NEDERLANDS	BE EF	03	06 00	57 D0	01 00	05 30	06 00
		PORTUGUÊS	BE EF	03	06 00	C7 D1	01 00	05 30	07 00
		日本語	BE EF	03	06 00	37 D4	01 00	05 30	08 00
		簡体中文	BE EF	03	06 00	A7 D5	01 00	05 30	09 00
		繁體中文	BE EF	03	06 00	37 DE	01 00	05 30	10 00
		한글	BE EF	03	06 00	57 D5	01 00	05 30	0A 00
		SVENSKA	BE EF	03	06 00	C7 D4	01 00	05 30	0B 00
		РУССКИЙ	BE EF	03	06 00	F7 D6	01 00	05 30	0C 00
		SUOMI	BE EF	03	06 00	67 D7	01 00	05 30	0D 00
		POLSKI	BE EF	03	06 00	97 D7	01 00	05 30	0E 00
		TÜRKÇE	BE EF	03	06 00	07 D6	01 00	05 30	0F 00
		DANSK	BE EF	03	06 00	A7 DF	01 00	05 30	11 00
		ČEŠTINA	BE EF	03	06 00	57 DF	01 00	05 30	12 00
		اللغة العربية	BE EF	03	06 00	37 DB	01 00	05 30	1C 00
فارسی	BE EF	03	06 00	A7 DA	01 00	05 30	1D 00		
メニュー垂直位置	Get	BE EF	03	06 00	C4 D3	02 00	05 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	40 D7	02 00	16 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	26 D7	04 00	16 30	00 00	
メニュー垂直位置 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	F7 D6	05 00	16 30	00 00	
メニュー水平位置	Get	BE EF	03	06 00	A8 C7	06 00	44 70	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	04 D7	02 00	15 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	62 D7	04 00	15 30	00 00	
メニュー水平位置 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	B3 D6	05 00	15 30	00 00	
ブランク	Set	マイスクリーン	BE EF	03	06 00	DC C6	06 00	43 70	00 00
		オリジナル	BE EF	03	06 00	FB CA	01 00	00 30	20 00
		青	BE EF	03	06 00	FB E2	01 00	00 30	40 00
		白	BE EF	03	06 00	CB D3	01 00	00 30	03 00
		黒	BE EF	03	06 00	6B D0	01 00	00 30	05 00
ブランク オン/オフ	Set	Get	BE EF	03	06 00	9B D0	01 00	00 30	06 00
		オフ	BE EF	03	06 00	08 D3	02 00	00 30	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	FB D8	01 00	20 30	00 00
シャッター	Set	Get	BE EF	03	06 00	6B D9	01 00	20 30	01 00
		オフ	BE EF	03	06 00	C8 D8	02 00	20 30	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	F3 93	01 00	05 24	00 00
初期画面	Set	Get	BE EF	03	06 00	63 92	01 00	05 24	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	C0 93	02 00	05 24	00 00
		マイスクリーン	BE EF	03	06 00	CB CB	01 00	04 30	20 00
		オリジナル	BE EF	03	06 00	0B D2	01 00	04 30	00 00
		表示しない	BE EF	03	06 00	9B D3	01 00	04 30	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	38 D2	02 00	04 30	00 00

RS-232C 通信 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
マイスクリーンロック	Set	無効	BE EF	03	06 00	3B EF	01 00	C0 30	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	AB EE	01 00	C0 30	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	08 EF	02 00	C0 30	00 00
メッセージ	Set	表示しない	BE EF	03	06 00	8F D6	01 00	17 30	00 00
		表示する	BE EF	03	06 00	1F D7	01 00	17 30	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	BC D6	02 00	17 30	00 00
テンプレート	Set	テストパターン	BE EF	03	06 00	43 D9	01 00	22 30	00 00
		点線 1	BE EF	03	06 00	D3 D8	01 00	22 30	01 00
		点線 2	BE EF	03	06 00	23 D8	01 00	22 30	02 00
		点線 3	BE EF	03	06 00	B3 D9	01 00	22 30	03 00
		点線 4	BE EF	03	06 00	83 DB	01 00	22 30	04 00
	Get	BE EF	03	06 00	70 D9	02 00	22 30	00 00	
テンプレート オン/オフ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	BF D8	01 00	23 30	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	2F D9	01 00	23 30	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	8C D8	02 00	23 30	00 00
チャンネルスキップ COMPUTER IN1	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	FE 78	01 00	20 22	00 00
		スキップ	BE EF	03	06 00	6E 79	01 00	20 22	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	CD 78	02 00	20 22	00 00
チャンネルスキップ COMPUTER IN2	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	CE 79	01 00	24 22	00 00
		スキップ	BE EF	03	06 00	5E 78	01 00	24 22	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	FD 79	02 00	24 22	00 00
チャンネルスキップ BNC	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	8A 79	01 00	27 22	00 00
		スキップ	BE EF	03	06 00	1A 78	01 00	27 22	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	B9 79	02 00	27 22	00 00
チャンネルスキップ HDMI	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	BA 78	01 00	23 22	00 00
		スキップ	BE EF	03	06 00	2A 79	01 00	23 22	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	89 78	02 00	23 22	00 00
チャンネルスキップ DVI-D	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	62 7B	01 00	29 22	00 00
		スキップ	BE EF	03	06 00	F2 7A	01 00	29 22	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	51 7B	02 00	29 22	00 00
チャンネルスキップ COMPONENT	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	32 78	01 00	25 22	00 00
		スキップ	BE EF	03	06 00	A2 79	01 00	25 22	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	01 78	02 00	25 22	00 00
チャンネルスキップ S-VIDEO	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	46 79	01 00	22 22	00 00
		スキップ	BE EF	03	06 00	D6 78	01 00	22 22	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	75 79	02 00	22 22	00 00
チャンネルスキップ VIDEO1	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	02 79	01 00	21 22	00 00
		スキップ	BE EF	03	06 00	92 78	01 00	21 22	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	31 79	02 00	21 22	00 00
チャンネルスキップ VIDEO2	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	26 7B	01 00	2A 22	00 00
		スキップ	BE EF	03	06 00	B6 7A	01 00	2A 22	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	15 7B	02 00	2A 22	00 00
オートサーチ	Set	無効	BE EF	03	06 00	B6 D6	01 00	16 20	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	26 D7	01 00	16 20	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	85 D6	02 00	16 20	00 00
オートキーストン	Set	無効	BE EF	03	06 00	EA D1	01 00	0F 20	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	7A D0	01 00	0F 20	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	D9 D1	02 00	0F 20	00 00

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
	設定内容						CRC フラグ	アクション	タイプ
ダイレクトオン	Set	無効	BE EF	03	06 00	3B 89	01 00	20 31	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	AB 88	01 00	20 31	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 89	02 00	20 31	00 00
オートオフ	Get		BE EF	03	06 00	08 86	02 00	10 31	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	6E 86	04 00	10 31	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	BF 87	05 00	10 31	00 00
シャッタータイマー	Set	1h	BE EF	03	06 00	27 92	01 00	06 24	01 00
		3h	BE EF	03	06 00	47 93	01 00	06 24	03 00
		6h	BE EF	03	06 00	17 90	01 00	06 24	06 00
	Get		BE EF	03	06 00	84 93	02 00	06 24	00 00
ランプ時間 下位	Get		BE EF	03	06 00	C2 FF	02 00	90 10	00 00
ランプ時間 上位	Get		BE EF	03	06 00	2A FD	02 00	9E 10	00 00
ランプ時間 リセット	Execute		BE EF	03	06 00	58 DC	06 00	30 70	00 00
フィルター時間 下位	Get		BE EF	03	06 00	C2 F0	02 00	A0 10	00 00
フィルター時間 上位	Get		BE EF	03	06 00	D6 FC	02 00	9F 10	00 00
フィルター時間 リセット	Execute		BE EF	03	06 00	98 C6	06 00	40 70	00 00
マイボタン -1	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	3A 33	01 00	00 36	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	FA 31	01 00	00 36	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	0A 31	01 00	00 36	07 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	CA 33	01 00	00 36	03 00
		DVI-D	BE EF	03	06 00	6A 35	01 00	00 36	09 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	6A 30	01 00	00 36	05 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	5A 32	01 00	00 36	02 00
		VIDEO1	BE EF	03	06 00	AA 32	01 00	00 36	01 00
		VIDEO2	BE EF	03	06 00	9A 35	01 00	00 36	0A 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	FA 3E	01 00	00 36	10 00
		オートキーストン実行	BE EF	03	06 00	6A 3F	01 00	00 36	11 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	9A 3F	01 00	00 36	12 00
		アクティブアイリス	BE EF	03	06 00	AA 3D	01 00	00 36	15 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	0A 3E	01 00	00 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	3A 3C	01 00	00 36	14 00
		テンプレート	BE EF	03	06 00	CA 39	01 00	00 36	1B 00
		2画面左右入れ換え	BE EF	03	06 00	5A 38	01 00	00 36	1A 00
		レンズメモリー 1	BE EF	03	06 00	CA 27	01 00	00 36	33 00
		レンズメモリー 2	BE EF	03	06 00	FA 25	01 00	00 36	34 00
		レンズメモリー 3	BE EF	03	06 00	6A 24	01 00	00 36	35 00
マイイメージ	BE EF	03	06 00	5A 3D	01 00	00 36	16 00		
Get		BE EF	03	06 00	09 33	02 00	00 36	00 00	

RS-232C 通信 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
	設定内容						CRC フラグ	アクション	タイプ
マイボタン-2	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	C6 32	01 00	01 36	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	06 30	01 00	01 36	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	F6 30	01 00	01 36	07 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	36 32	01 00	01 36	03 00
		DVI-D	BE EF	03	06 00	96 34	01 00	01 36	09 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	96 31	01 00	01 36	05 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	A6 33	01 00	01 36	02 00
		VIDEO1	BE EF	03	06 00	56 33	01 00	01 36	01 00
		VIDEO2	BE EF	03	06 00	66 34	01 00	01 36	0A 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	06 3F	01 00	01 36	10 00
		オートキーストン実行	BE EF	03	06 00	96 3E	01 00	01 36	11 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	66 3E	01 00	01 36	12 00
		アクティブアイリス	BE EF	03	06 00	56 3C	01 00	01 36	15 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	F6 3F	01 00	01 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	C6 3D	01 00	01 36	14 00
		テンプレート	BE EF	03	06 00	36 38	01 00	01 36	1B 00
		2画面左右入れ換え	BE EF	03	06 00	A6 39	01 00	01 36	1A 00
		レンズメモリー 1	BE EF	03	06 00	36 26	01 00	01 36	33 00
		レンズメモリー 2	BE EF	03	06 00	06 24	01 00	01 36	34 00
	レンズメモリー 3	BE EF	03	06 00	96 25	01 00	01 36	35 00	
マイイメージ	BE EF	03	06 00	A6 3C	01 00	01 36	16 00		
Get	BE EF	03	06 00	F5 32	02 00	01 36	00 00		
マイボタン-3	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	82 32	01 00	02 36	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	42 30	01 00	02 36	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	B2 30	01 00	02 36	07 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	72 32	01 00	02 36	03 00
		DVI-D	BE EF	03	06 00	D2 34	01 00	02 36	09 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	D2 31	01 00	02 36	05 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	E2 33	01 00	02 36	02 00
		VIDEO1	BE EF	03	06 00	12 33	01 00	02 36	01 00
		VIDEO2	BE EF	03	06 00	22 34	01 00	02 36	0A 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	42 3F	01 00	02 36	10 00
		オートキーストン実行	BE EF	03	06 00	D2 3E	01 00	02 36	11 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	22 3E	01 00	02 36	12 00
		アクティブアイリス	BE EF	03	06 00	12 3C	01 00	02 36	15 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	B2 3F	01 00	02 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	82 3D	01 00	02 36	14 00
		テンプレート	BE EF	03	06 00	72 38	01 00	02 36	1B 00
		2画面左右入れ換え	BE EF	03	06 00	E2 39	01 00	02 36	1A 00
		レンズメモリー 1	BE EF	03	06 00	72 26	01 00	02 36	33 00
		レンズメモリー 2	BE EF	03	06 00	42 24	01 00	02 36	34 00
	レンズメモリー 3	BE EF	03	06 00	D2 25	01 00	02 36	35 00	
マイイメージ	BE EF	03	06 00	E2 3C	01 00	02 36	16 00		
Get	BE EF	03	06 00	B1 32	02 00	02 36	00 00		

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
マイボタン -4	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	7F 33	01 00	03 36	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	BE 31	01 00	03 36	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	4E 31	01 00	03 36	07 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	8E 33	01 00	03 36	03 00
		DVI-D	BE EF	03	06 00	2E 35	01 00	03 36	09 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	2E 30	01 00	03 36	05 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	1E 32	01 00	03 36	02 00
		VIDEO1	BE EF	03	06 00	EE 32	01 00	03 36	01 00
		VIDEO2	BE EF	03	06 00	DE 35	01 00	03 36	0A 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	BE 3E	01 00	03 36	10 00
		オートキーストン実行	BE EF	03	06 00	2E 3F	01 00	03 36	11 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	DE 3F	01 00	03 36	12 00
		アクティブアイリス	BE EF	03	06 00	EE 3D	01 00	03 36	15 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	4E 3E	01 00	03 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	7E 3C	01 00	03 36	14 00
		テンプレート	BE EF	03	06 00	8E 39	01 00	03 36	1B 00
		2画面左右入れ換え	BE EF	03	06 00	1E 38	01 00	03 36	1A 00
		レンズメモリー 1	BE EF	03	06 00	8E 27	01 00	03 36	33 00
		レンズメモリー 2	BE EF	03	06 00	BE 25	01 00	03 36	34 00
レンズメモリー 3	BE EF	03	06 00	2E 24	01 00	03 36	35 00		
マイイメージ	BE EF	03	06 00	1E 3D	01 00	03 36	16 00		
Get	BE EF	03	06 00	4D 33	02 00	03 36	00 00		
マイソース	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	FA 38	01 00	20 36	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	3A 3A	01 00	20 36	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	CA 3A	01 00	20 36	07 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	0A 38	01 00	20 36	03 00
		DVI-D	BE EF	03	06 00	AA 3E	01 00	20 36	09 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	AA 3B	01 00	20 36	05 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	9A 39	01 00	20 36	02 00
		VIDEO1	BE EF	03	06 00	6A 39	01 00	20 36	01 00
		VIDEO2	BE EF	03	06 00	5A 3E	01 00	20 36	0A 00
Get	BE EF	03	06 00	C9 38	02 00	20 36	00 00		
リモコン受光部 - 前面	Set	無効	BE EF	03	06 00	FF 32	01 00	00 26	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	6F 33	01 00	00 26	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	CC 32	02 00	00 26	00 00	
リモコン受光部 - 上面	Set	無効	BE EF	03	06 00	47 33	01 00	02 26	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	D7 32	01 00	02 26	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	74 33	02 00	02 26	00 00	
リモコン受光部 - 背面	Set	無効	BE EF	03	06 00	03 33	01 00	01 26	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	93 32	01 00	01 26	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	30 33	02 00	01 26	00 00	
リモコン周波数 - 標準	Set	無効	BE EF	03	06 00	FF 3D	01 00	30 26	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	6F 3C	01 00	30 26	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	CC 3D	02 00	30 26	00 00	
リモコン周波数 - 高	Set	無効	BE EF	03	06 00	03 3C	01 00	31 26	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	93 3D	01 00	31 26	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	30 3C	02 00	31 26	00 00	

RS-232C 通信 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
リモコン ID	Set	全 ID	BE EF	03	06 00	9F 30	01 00	08 26	00 00
		1	BE EF	03	06 00	0F 31	01 00	08 26	01 00
		2	BE EF	03	06 00	FF 31	01 00	08 26	02 00
		3	BE EF	03	06 00	6F 30	01 00	08 26	03 00
	4	BE EF	03	06 00	5F 32	01 00	08 26	04 00	
	Get	BE EF	03	06 00	AC 30	02 00	08 26	00 00	
マイ イメージ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	3A C3	01 00	00 35	00 00
		画像 -1	BE EF	03	06 00	AA C2	01 00	00 35	01 00
		画像 -2	BE EF	03	06 00	5A C2	01 00	00 35	02 00
		画像 -3	BE EF	03	06 00	CA C3	01 00	00 35	03 00
	画像 -4	BE EF	03	06 00	FA C1	01 00	00 35	04 00	
	Get	BE EF	03	06 00	09 C3	02 00	00 35	00 00	
マイ イメージ 画像 -1 削除		Execute	BE EF	03	06 00	71 C3	06 00	01 35	00 00
マイ イメージ 画像 -2 削除		Execute	BE EF	03	06 00	35 C3	06 00	02 35	00 00
マイ イメージ 画像 -3 削除		Execute	BE EF	03	06 00	C9 C2	06 00	03 35	00 00
マイ イメージ 画像 -4 削除		Execute	BE EF	03	06 00	BD C3	06 00	04 35	00 00
C.C. ディスプレイ	Set	無効	BE EF	03	06 00	FA 62	01 00	00 37	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	6A 63	01 00	00 37	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	C9 62	02 00	00 37	00 00
C.C. モード	Set	キャプション	BE EF	03	06 00	06 63	01 00	01 37	00 00
		テキスト	BE EF	03	06 00	96 62	01 00	01 37	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	35 63	02 00	01 37	00 00
C.C. チャンネル	Set	1	BE EF	03	06 00	D2 62	01 00	02 37	01 00
		2	BE EF	03	06 00	22 62	01 00	02 37	02 00
		3	BE EF	03	06 00	B2 63	01 00	02 37	03 00
		4	BE EF	03	06 00	82 61	01 00	02 37	04 00
		Get	BE EF	03	06 00	71 63	02 00	02 37	00 00
フォーカス		Increment	BE EF	03	06 00	6A 93	04 00	00 24	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	BB 92	05 00	00 24	00 00
ズーム		Increment	BE EF	03	06 00	96 92	04 00	01 24	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	47 93	05 00	01 24	00 00
レンズシフト - V		Increment	BE EF	03	06 00	D2 92	04 00	02 24	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	03 93	05 00	02 24	00 00
レンズシフト - H		Increment	BE EF	03	06 00	2E 93	04 00	03 24	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	FF 92	05 00	03 24	00 00
レンズシフト - センタリング		Execute	BE EF	03	06 00	B8 93	06 00	04 24	00 00
レンズメモリー インデックス	Set	1	BE EF	03	06 00	4B 92	01 00	07 24	00 00
		2	BE EF	03	06 00	DB 93	01 00	07 24	01 00
		3	BE EF	03	06 00	2B 93	01 00	07 24	02 00
		Get	BE EF	03	06 00	78 92	02 00	07 24	00 00

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード			コマンドデータ			
	設定内容					CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
レンズメモリー ロード	Execute		BE EF	03	06 00	E8 90	06 00	08 24	00 00
レンズメモリー セーブ	Execute		BE EF	03	06 00	14 91	06 00	09 24	00 00
レンズメモリー クリア	Execute		BE EF	03	06 00	50 91	06 00	0A 24	00 00
レンズメモリー フォーカス	Get		BE EF	03	06 00	28 91	02 00	0B 24	00 00
レンズメモリー ズーム	Get		BE EF	03	06 00	5C 90	02 00	0C 24	00 00
レンズメモリー レンズシフト-V	Get		BE EF	03	06 00	A0 91	02 00	0D 24	00 00
レンズメモリー レンズシフト-H	Get		BE EF	03	06 00	E4 91	02 00	0E 24	00 00
レンズメモリー レンズタイプ	Get		BE EF	03	06 00	18 90	02 00	0F 24	00 00
拡大	Get		BE EF	03	06 00	7C D2	02 00	07 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	1A D2	04 00	07 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	CB D3	05 00	07 30	00 00
静止	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	83 D2	01 00	02 30	00 00
		静止	BE EF	03	06 00	13 D3	01 00	02 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	B0 D2	02 00	02 30	00 00
2画面表示	Set	オフ	BE EF	03	06 00	3E 26	01 00	10 23	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	AE 27	01 00	10 23	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	0D 26	02 00	10 23	00 00
2画面表示 右入力	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	86 27	01 00	12 23	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	46 25	01 00	12 23	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	B6 25	01 00	12 23	07 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	76 27	01 00	12 23	03 00
		DVI-D	BE EF	03	06 00	D6 21	01 00	12 23	09 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	D6 24	01 00	12 23	05 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	E6 26	01 00	12 23	02 00
		VIDEO1	BE EF	03	06 00	16 26	01 00	12 23	01 00
	VIDEO2	BE EF	03	06 00	26 21	01 00	12 23	0A 00	
Get		BE EF	03	06 00	B5 27	02 00	12 23	00 00	
2画面表示 メイン	Set	左	BE EF	03	06 00	7A 26	01 00	13 23	00 00
		右	BE EF	03	06 00	EA 27	01 00	13 23	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	49 26	02 00	13 23	00 00
2画面表示 左入力	Set	COMPUTER IN1	BE EF	03	06 00	F2 26	01 00	15 23	00 00
		COMPUTER IN2	BE EF	03	06 00	32 24	01 00	15 23	04 00
		BNC	BE EF	03	06 00	C2 24	01 00	15 23	07 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	02 26	01 00	15 23	03 00
		DVI-D	BE EF	03	06 00	A2 20	01 00	15 23	09 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	A2 25	01 00	15 23	05 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	92 27	01 00	15 23	02 00
		VIDEO1	BE EF	03	06 00	62 27	01 00	15 23	01 00
	VIDEO2	BE EF	03	06 00	52 20	01 00	15 23	0A 00	
Get		BE EF	03	06 00	C1 26	02 00	15 23	00 00	
2画面左右入れ換え	Execute		BE EF	03	06 00	01 27	06 00	16 23	00 00

故障かなと思ったら

警告

●異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする、などの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。その後、煙やにおい、音などが止まったことを確認し、販売店にご連絡ください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

●次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店に相談する

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

また、**お客様による修理は危険です**ので絶対におやめください。


- ▶内部に異物や液体（金属や水）が入った
- ▶落とした、強い衝撃をあたえた
- ▶本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある

ご使用のまえに、必ず「正しくお使いいただくために」（1-2～10）をお読みください。


異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

その他の問題が起きた場合は、修理を依頼される前に、以下の「一括して初期設定にもどす」、「メッセージ表示について」、「インジケータ表示について」、「シャットダウンスイッチを使う」、「故障と間違えやすい現象について」をご確認いただき、必要と思われる処置を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

一括して初期設定にもどす

誤って本機のメニュー設定を行い、元に戻せなくなったときには、一括初期化機能をご使用ください。「その他」メニューの「特別な設定」－「工場出荷設定」（2-30）で「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。

お知らせ

- マイスクリーンパスワード（2-37）が設定されていない場合は、マイスクリーン画像もクリアされます。
- マイスクリーンパスワードが設定されている場合は、「初期画面」、「マイスクリーンロック」は初期化されません。
- 「ランプ時間」、「フィルター時間」、「フィルター掃除通知」、「表示言語」および「ネットワーク」、また「セキュリティ」メニューの各項目は、一括初期化機能では初期化されません。「ランプ時間」、「フィルター時間」、「フィルター掃除通知」を初期化するには、個別に RESET ボタンを押すなどの初期化操作を行ってください。

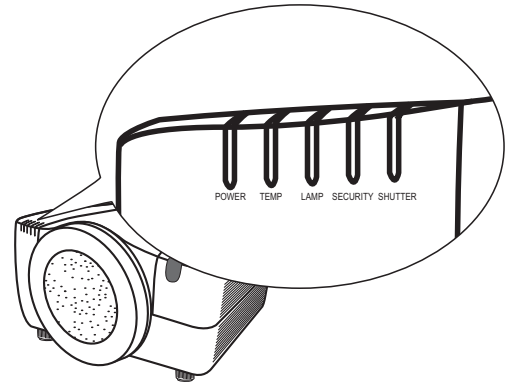
メッセージ表示について

本機の電源を入れたときに、下表のようなメッセージは表示されることがあります。メッセージが表示されたら下表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店にご相談ください。

メッセージ	内容
<p>信号が入力されていません ***</p>	<p>入力信号が見つかりません。以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？ (☞1-16、17) ・信号源（ビデオ、パソコンなど）は正しく動作していますか？
<p>信号は同期範囲外です *** fH ** kHz fV ** Hz</p>	<p>入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力している信号は本機の仕様 (☞4-4) に合っていますか？ ・信号源（DVD、ビデオ、パソコンなど）は正しく動作していますか？
<p>入力信号が不安定です ***</p>	<p>入力信号の水平又は垂直周波数が安定していません。以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力している信号は本機の仕様 (☞4-4) に合っていますか？ ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？ (☞1-16、17) ・信号源（DVD、ビデオ、パソコンなど）は正しく動作していますか？ <p>信号入力切替機を介して信号源と本機を接続している場合は、信号源と本機を直接接続してみてください。左記のメッセージが表示されなくなる場合は、ご使用の信号入力切替機の仕様をご確認ください。</p>
<p>吸気口をチェックしてください</p>	<p>内部の温度が上昇しています。すぐに本機の電源を抜き、20分以上冷ましてから、以下のことを確認のうえ、もう一度電源を入れてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吸気口、排気口はふさがっていませんか？ (☞1-12) ・エアフィルターは汚れていませんか？ (☞1-38) ・周囲温度が 35℃を超えていませんか？ <p>再度電源を入れたときに左記のメッセージがまだ表示される場合は、「その他」メニューの「特別な設定」→「ファン速度」(☞2-25) を「高速」に設定してみてください。</p>
<p>ご注意 前回のエアフィルター交換から *** 時間経過しました。 エアフィルターの交換をお願いします。 エアフィルター交換後、 フィルター時間をリセットしてください。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。</p>	<p>フィルターユニットの交換時期です。すぐに電源を切って電源プラグを抜きしばらく待って十分冷ましてから、フィルターユニットを交換 (☞1-38) したら、「その他」メニューの「フィルター時間」(☞2-23) を使って、忘れずにフィルター時間を初期化してください。</p>
<p>操作できないボタンが入力されました。</p>	<p>ボタン操作が拒否されました。以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンズシフトまたはセンタリング実行中は、ボタン操作は無効です。レンズシフトのインジケータの点滅が止まるまでお待ちください。 ・入力切替ボタンを押した時に、「オプション」メニューの「チャンネルスキップ」でそのボタンに属する信号が全て「スキップ」に設定されていると、そのボタン操作は無効になります。

インジケータ表示について

POWER、TEMP、LAMP、SECURITY、SHUTTER
インジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。なんらかの問題がある場合は下表に従って処置してください。処置後もインジケータが同様に点灯、点滅したり、下表に記載されていない点灯や点滅が見られた場合は、販売店にご相談ください。



POWER	TEMP	LAMP	SECURITY	SHUTTER	内 容
橙色の点灯	消 灯	消 灯	—	—	本機はスタンバイ状態です。 この状態で電源を入れる（ランプを点灯させる）、または電源スイッチを切ることができます。（ 1-25、26 ）
緑色の点滅	消 灯	消 灯	—	—	本機はウォームアップ中です。 POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
緑色の点灯	消 灯	消 灯	—	—	本機は通常の動作状態です。
橙色の点滅	消 灯	消 灯	—	—	本機は冷却動作中です。 POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
—	—	—	赤色の点滅	—	暗証コードロックまたは状態監視が有効に設定されています。 各機能のページをご覧ください。（ 2-38、39 ）
—	—	—	—	黄色の点滅	レンズシャッターが閉じられています。 「表示を隠す（シャッター）」をご確認ください。（ 1-34 ）
赤色の点滅	—	—	—	—	不具合が見つかったため、本機は冷却動作中です。 POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちになり、LAMP インジケータおよび TEMP インジケータの状態により、以下に従って処置してください。
赤色の点灯または赤色の点滅	消 灯	赤色の点灯	—	—	ランプが点灯しない、または本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことを確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・吸気口、排気口はふさがっていませんか？（ 1-12 ） ・エアフィルターは汚れていませんか？（ 1-38 ） ・周囲温度が 35℃を超えていませんか？ ・ランプは正しく取り付けられていますか？ 再度電源を入れたときにインジケータ表示が変わらない場合は、ランプを交換してください。（ 1-36,37 ）
赤色の点灯または赤色の点滅	消 灯	赤色の点滅	—	—	ランプまたはランプカバーがはずれているか、取付けが不完全です。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、45分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからランプまたはランプカバーの取付け状態をご確認（ 1-36 ）のうえ、もう一度電源を入れてください。

インジケータ表示について（つづき）

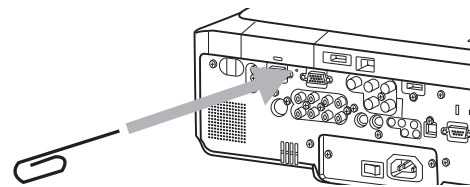
POWER	TEMP	LAMP	SECURITY	SHUTTER	内 容
赤色の点灯または赤色の点滅	赤色の点滅	消 灯	—	—	冷却ファンが動作しません。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・ファンに異物がかさまったりしていませんか？ ・本機の周辺に磁気を発生するものはありませんか？
赤色の点灯または赤色の点滅	赤色の点 灯	消 灯	—	—	本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・吸気口、排気口はふさがっていませんか？（ 図1-12 ） ・エアフィルターは汚れていませんか？（ 図1-38 ） ・周囲温度が35℃を超えていませんか？ 再度電源を入れたときにインジケータ表示が変わらない場合は、「その他」メニューの「特別な設定」－「ファン速度」（ 図2-25 ）を「高速」に設定してみてください。
緑色の点灯	LAMP インジケータと TEMP インジケータが 同時に赤色の点滅		—	—	エアフィルターが汚れている可能性があります。エアフィルターのお手入れ時期です。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからエアフィルターを掃除または交換（ 図1-38 ）し、もう一度電源を入れてください。エアフィルターを掃除または交換したら、「その他」メニューの「フィルター時間」（ 図2-23 ）を使って、忘れずにフィルター時間を初期化してください。
緑色の点灯	LAMP インジケータと TEMP インジケータが 交互に赤色の点滅		—	—	内部温度が下がりすぎている可能性があります。 適切な温度環境（5～35℃）でご使用ください。本機の電源を切り、周囲の気温をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。
緑色の点灯 (約3秒間隔)	消 灯	消 灯	—	—	少なくとも1つの“電源入”スケジュールが設定されています。 詳細は【ネットワーク編】「3.1 WEBコントロール」－「Schedule Settings」をご参照ください。

お知らせ

●本機内部の温度が上がりすぎたときには、安全のため、自動的に本機の電源が切れます。インジケータが全て消灯した場合は、電源スイッチを切って電源プラグを抜いて45分以上待ち、もう一度電源をいれてください。

シャットダウンスイッチを使う

内蔵マイコンの誤作動などで、正常な操作で本機の電源を切る（[1-25](#)）ことができない場合があります。この場合シャットダウンスイッチを押すと本機の動作を終了し、ランプを消灯することができます。



シャットダウンスイッチは、細い棒状のものを差し込んで押ししてください。シャットダウンスイッチを押した後は、電源スイッチを切って電源プラグを抜き、本機を十分に冷ましてください。再起動する場合は、電源プラグを抜いてから 10 分以上待って行ってください。

お守りください

- シャットダウンスイッチは、正しい手順で電源を切れない場合にだけご使用ください。シャットダウンスイッチで電源を切ったときは、電源スイッチを切って電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。

故障と間違えやすい現象について

以下のような現象は故障ではない場合があります。

修理をご依頼になるまえに、下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。

処置後も現象が改善しない場合は販売店にご相談ください。

現象	確認内容	参考頁
電源が入らない	電源コードは正しく接続されていますか？ 電源コードの接続状態を確認し、正しく接続してください。	1-20
	電源スイッチは入っていますか？ 電源スイッチの「 」と表示されている側を押してください。	1-24
	停電などで、動作中に電源が切れませんでしたか？ その場合は電源スイッチを切って 10 分以上待って冷まし、もう一度電源を入れてください。	1-25
	ランプおよびランプカバーは正しく取付けられていますか？ すぐに電源スイッチを切り、45 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからランプおよびランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。	1-36 1-25
音声は出るが映像が出ない	信号ケーブルは正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	1-16、17
	画面の明るさが極端に暗く調節されていませんか？ 「映像」メニューの「明るさ」を調節して明るくしてください。	2-6
	接続しているパソコンがプラグ&プレイ・モニターを検知できますか？ 他のプラグ・アンド・プレイ・モニターを使用して、パソコンがプラグ・アンド・プレイ・モニターを検知することができるか確認してください。	1-17
	ブランク画面になっていませんか？ BLANK ボタンを押して確認してください。	1-34
	レンズシャッターが閉じられていませんか？ SHUTTER ボタンを押して確認してください。	1-34

故障と間違えやすい現象について (つづき)

現象	確認内容	参考頁
映像が出ない または 映像が乱れる (HDMI 選択時)	信号ケーブルは正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	📖1-16、 17
	本機が対応している HDMI 出力機器を接続していますか？ 本機は HDMI および DVI 出力機器との接続ができますが、一部の機器では正常に動作しない場合があります。	📖1-17
	本機、および HDMI 出力機器がお互いを認識していない可能性があります。一度、本機及び HDMI 出力機器の電源を切り、再度電源を入れてみてください。	-
	本機が対応していない HDMI 信号が入力されていませんか？ ご使用の HDMI 出力機器の設定をご確認ください。	📖1-17
映像が動かない (静止している)	FREEZE ボタンで映像を静止させていませんか？ FREEZE ボタンを押して確認してください。	📖1-34
色が薄い、 色あいが悪い	色の濃さや色あいが正しく調節されていますか？ 「映像」メニューの「色の濃さ」、「色あい」を調節してください。	📖2-7
	色空間、信号方式は正しく選択されていますか？ 「入力」メニューの「色空間」、「ビデオフォーマット」の設定を変更してください。	📖2-1,11
映像が暗い	画面の明るさやコントラストが暗く設定されていませんか？ 「映像」メニューの、「明るさ」、「コントラスト」を調節して明るくしてください。	📖2-6
	エコモードが設定されていませんか？ 「設置メニュー」の「エコモード」を「ノーマルモード」にしてください。	📖2-16
	電源を入れたとき「ランプを交換してください」などのメッセージが出ていませんか？ ランプの寿命が近づいています。ランプを交換してください。	📖1-36、 37
映像がぼやける、 もやがかかって見える、 映像周辺が明るい	フォーカスは調節されていますか？クロック位相は調節されていますか？ フォーカス、および「表示」メニューの「クロック位相」を調節してください。	📖1-27 📖2-10
	レンズが汚れたり、くもったりしていませんか？ レンズをお手入れしてください。	📖1-39
映像がゆれる (陽炎)	排気口が何かでじゃまされていませんか？ 障害物を取り除いてください。	📖1-12

お知らせ

- 画面中に輝点や黒点がみられることがありますが、これは液晶特有の現象であり、故障ではありません。
- 静止画、動きの少ない映像や液晶パネルの仕様と異なる縦横比 (16:9 など) の映像を長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて残像が残ることがあります。この場合は白画面 (白い無地の映像) を 1 時間以上投映し続けるか、または電源を切って数時間放置してください。白画面表示には、ブランク機能 (📖1-34, 2-17) をご利用ください。

保証とアフターサービスについて(必ずお読みください。)

修理を依頼されるときは (出張修理)

(☞4-34～39)、に従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間については保証書をご覧ください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

補修用性能部品保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後6年です。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	液晶プロジェクター
本体型名	CP-X10000J CP-WX11000J CP-SX12000J
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
梱包材の有無	輸送いただく場合はお買い上げ時の梱包材をお使いください。梱包材が損傷していたり廃棄または紛失した場合はお知らせください。
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話 ()	年 月 日

長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリ、煙草の煙などの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検



このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- ランプが破裂した。



ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈り物で頂いたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに 関するご相談は

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

(受付時間) 365日 / 9:00 ~ 19:00

商品情報やお取り扱いに ついてのご相談は

TEL 0120-3121-19

FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00 ~ 17:30 / 携帯電話、PHS からも
ご利用できます。(日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など
弊社の休日は休ませていただきます。)

商標について：

- Microsoft®、Internet Explorer®、Windows® および Windows Vista® は、米国またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。
 - Mac® は Apple Inc. の登録商標です。
 - VESA および DDC (DDC/CI) は Video Electronics Standards Association の商標です。
 - HDMI、HDMI ロゴ及び High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標又は登録商標です。
 - DVI は Digital Display Working Group の商標です。
 - JavaScript® は Sun Microsystems, Inc. の登録商標です。
 - PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- その他の社名および商品名は各社の商標または登録商標です。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆インクを使用しています。
この取扱説明書は、再生紙を使用しています。



QR77801 (A)

Printed in Japan